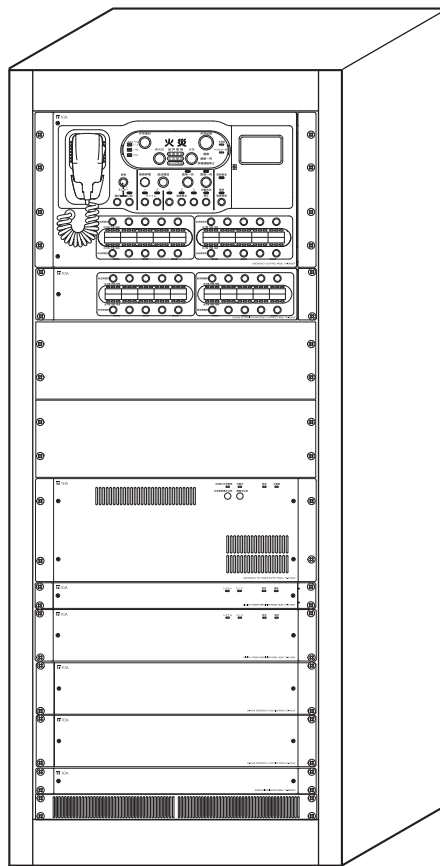


## キャビネットラック型非常用放送設備

型名 FS-2000

Ver. 3

**お知らせ**

本書は FS-2000EP の設定操作部を使って設定するときの説明書です。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-2000 Manager \* を使用して設定できます。

\* 設定支援ソフトウェア FS-2000 Manager は付属していません。

TOA 商品データダウンロードサイト (<http://www.toa-products.com/>) から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-2000 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。

設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の CF カードに保存した後、FS-2000EP の設定操作部を使って CF カードから FS-2000EP ヘデータ書き込みを行ってください。

このたびは、TOA キャビネットラック型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこのシステム設定説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

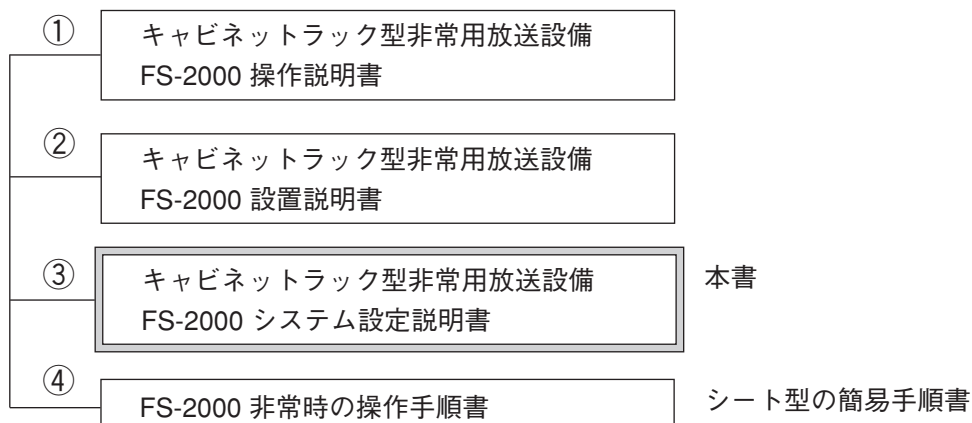
## 目次

付属説明書の構成 .....	4
設置工事とシステム設定の手順 .....	5
システム設定の前に .....	6
システム設定で使用するキー .....	6
システム設定キーの使いかた .....	7
メニュー構成 .....	9
システム設定のしかた .....	12
初期設定 (1-1) .....	13
機器構成設定 (1-2) .....	16
機器制御設定 (1-3) .....	27
非常放送設定 (1-4) .....	73
業務放送設定 (1-5) .....	86
システム設定の終了 (1-7) .....	98
メンテナンス .....	99
回線インピーダンスの測定 (2-1) .....	100
システム動作確認 (2-2) .....	103
自己診断 (2-3) .....	105
CF カード (2-4) .....	107
メンテナンスの終了 (2-5) .....	113
システム状態確認 .....	114
動作履歴の確認 (3-1) .....	115
故障履歴の確認 (3-2) .....	115
ユニットバージョンの確認 (3-3) .....	116
機器接続状態 (3-4) .....	118
制御入力状態の確認 (3-5) .....	119
システム状態確認の終了 (3-6) .....	120
記名カードの取り付け .....	121
業務用リモコンの表示ラベルの取り付け .....	124
緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け .....	128
データの初期化 .....	129
設定データの初期値 .....	130
設定表の記入方法 .....	136
スピーカー回線の構成例 .....	136
設定表の記入例 .....	137

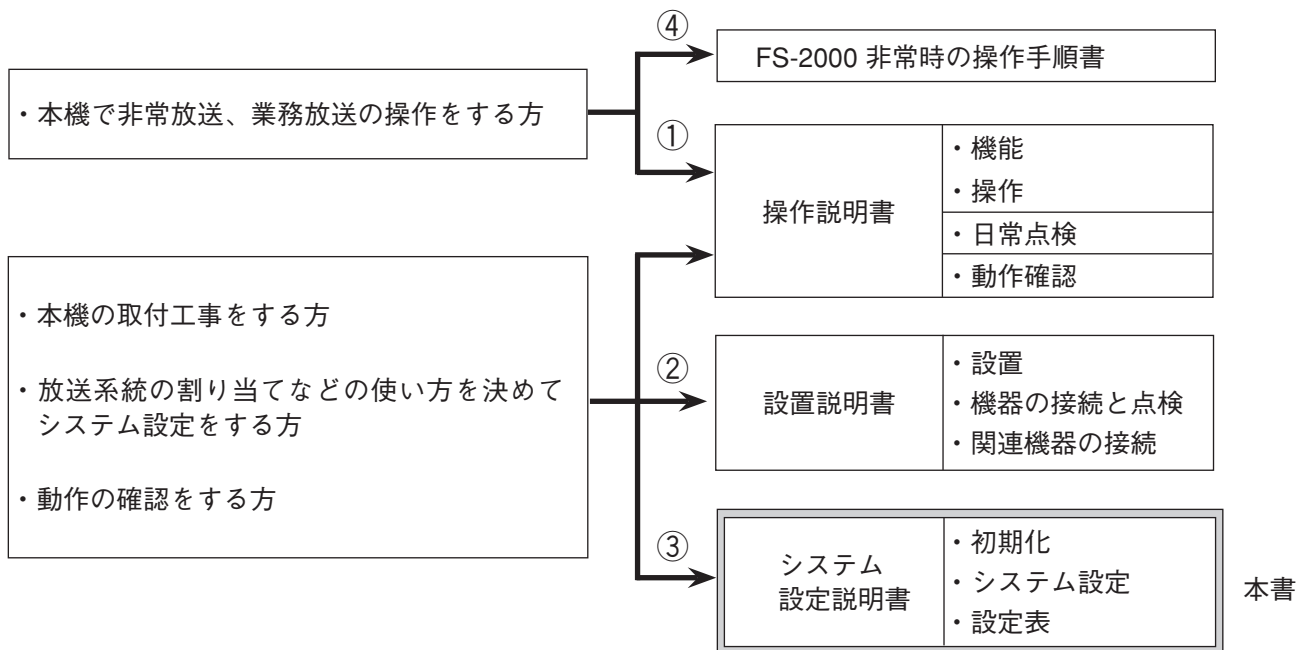
設定表 .....	147
付録：設定についての補足 .....	159
パワーアンプパネルの設定（1-2-5） .....	159
ジャンクションパネルの設定（1-2-6） .....	160
出力系統の設定（1-2-7） .....	162
付録：エラーダイアログ表示時の対処 .....	164

# 付属説明書の構成

この機器には次の説明書が付属しています。



お客様の目的により必要な説明書をお読みください。



## メモ

本書は FS-2000EP の設定操作部を使って設定するときの説明書です。

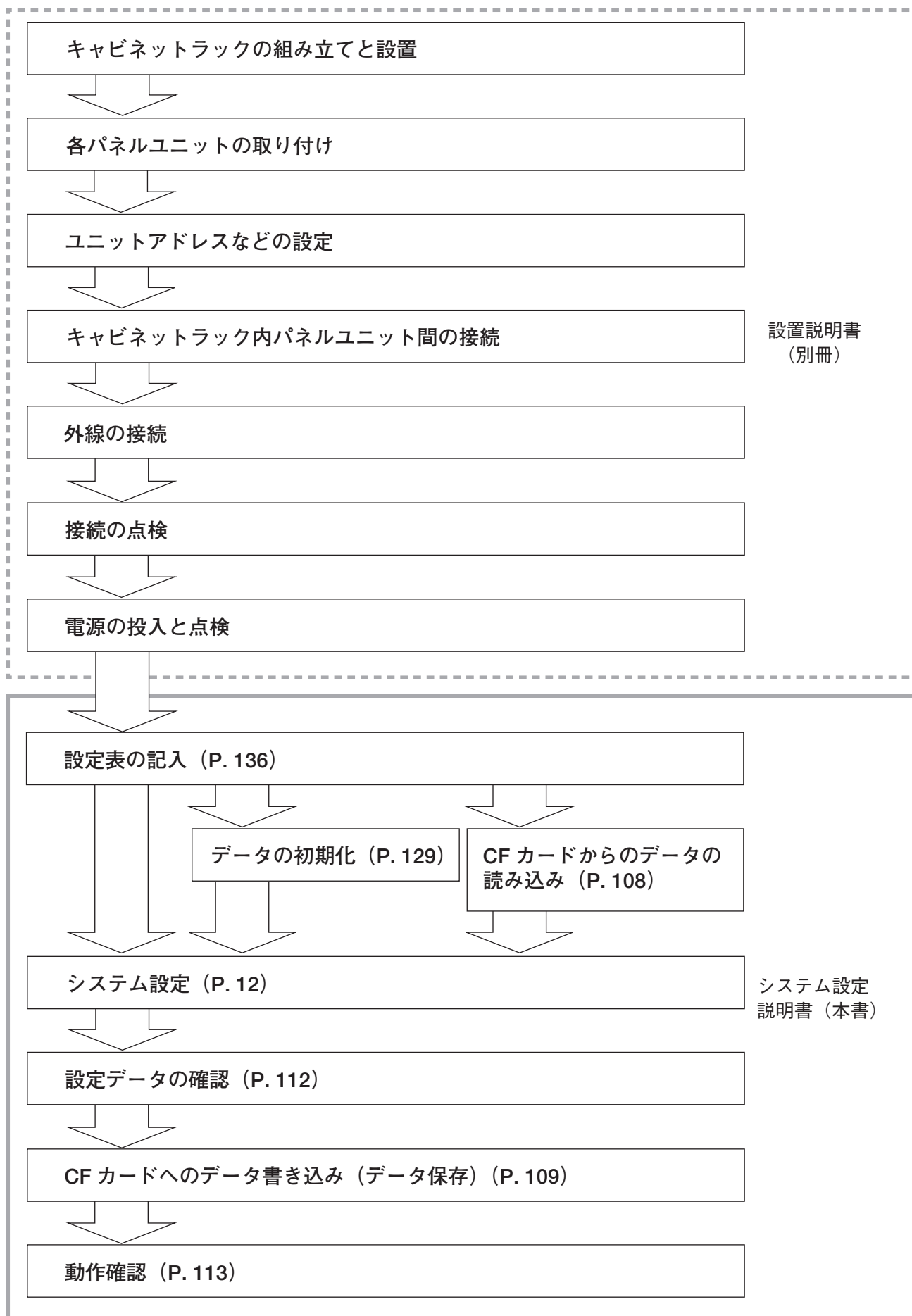
設定については、これ以外に、FS-2000 設定支援ソフトウェア FS-2000 Manager\* を使用して設定するときの FS-2000 設定支援ソフトウェア取扱説明書があります。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-2000 Manager\* を使用して設定できます。

\* 設定支援ソフトウェア FS-2000 Manager は付属していません。

TOA 商品データダウンロードサイト (<http://www.toa-products.com/>) から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-2000 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。

設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の CF カードに保存した後、FS-2000EP の設定操作部を使って CF カードから FS-2000EP ヘデータ書き込みを行ってください。

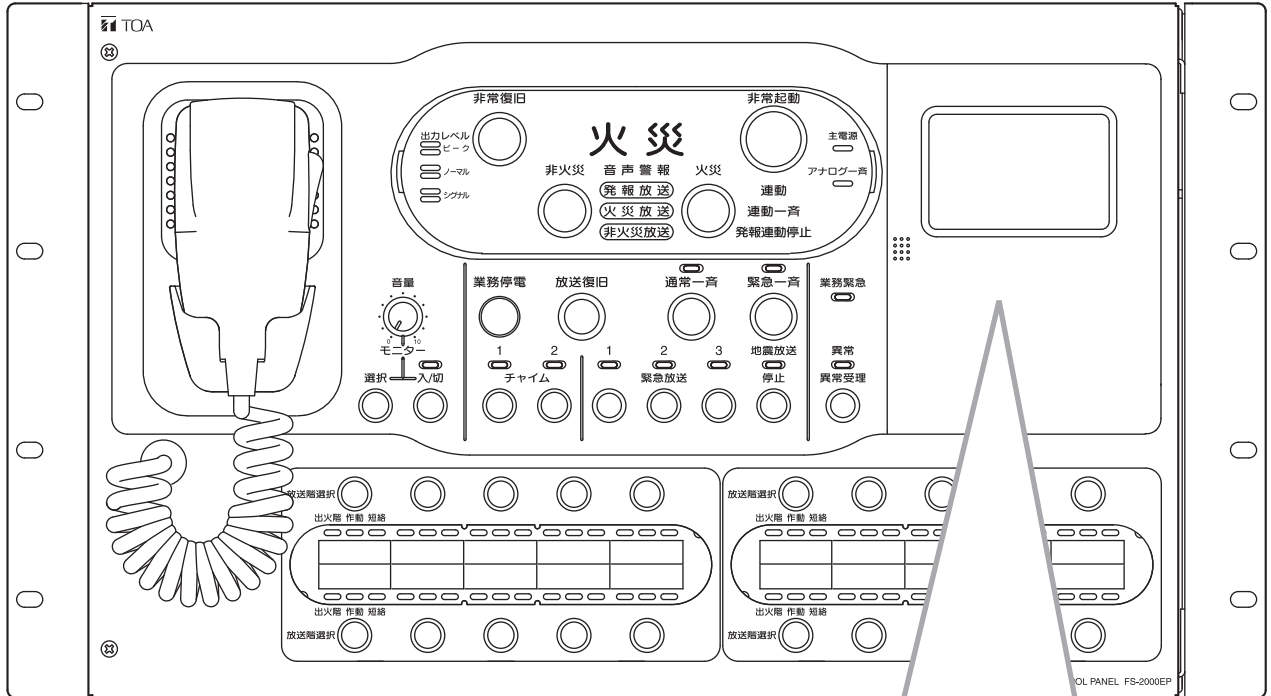
# 設置工事とシステム設定の手順



# システム設定の前に

## ■ システム設定で使用するキー

[FS-2000EP 操作部]



設定操作部 (拡大図)

### 液晶画面

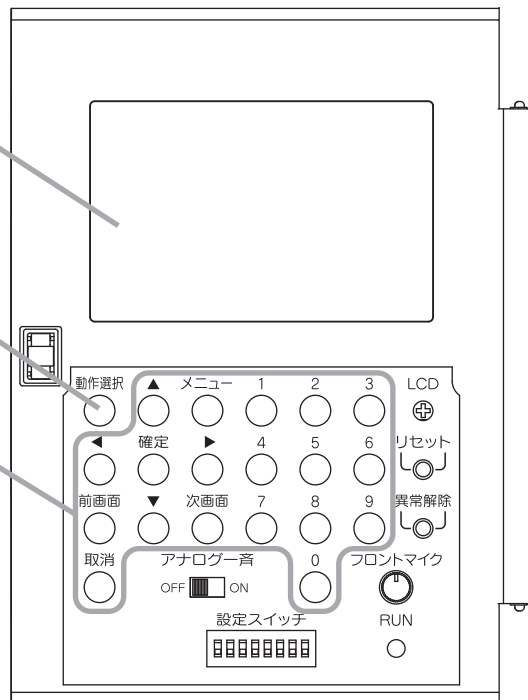
システム設定時の設定項目や設定内容を表示します。

### 動作選択キー

動作モードを切り換えるときに押すスイッチです。システム設定や、点検などのメンテナンス、システムの状態を確認するときに使用します。

### システム設定キー

システム設定時のカーソル移動や確定、取り消し、画面の移動、数字の入力などで使用します。





## ■ システム設定キーの使いかた


基本的な画面での各キーの使い方を説明します。


システム設定時以外での操作については、「メンテナンス」(P. 99)、「システム状態確認」(P. 114)の各項目をお読みください。


### ● メニュー選択画面での操作


 (上シフトキー)：カーソルを1つ上に移動します。


 (下シフトキー)：カーソルを1つ下に移動します。


 (左シフトキー)：1つ上の階層に移動します。

 (右シフトキー)：1つ下の階層に移動します。

取消  
 (取消キー)：1つ上の階層に移動します。

確定  
 (確定キー)：選択されているメニューを開始します。

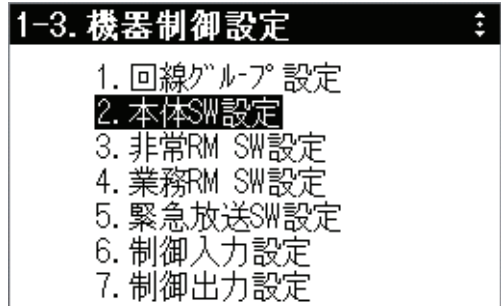
前画面  
 (前画面キー)：使用しません。

次画面  
 (次画面キー)：使用しません。


メニュー  
 (メニューキー)：システム設定メニュー画面に戻ります。


 (数字キー)：押した番号のメニューを開始します。

動作選択  
 (動作選択キー)：設定を保存して動作選択メニュー画面に戻ります。





### ● 暗証番号入力画面での操作


 (上シフトキー)：使用しません。


 (下シフトキー)：使用しません。


 (左シフトキー)：カーソルを1つ左の桁に移動します。

 (右シフトキー)：使用しません。

取消  
 (取消キー)：1つ上の階層に戻ります。


確定  
 (確定キー)：暗証番号を確定します。

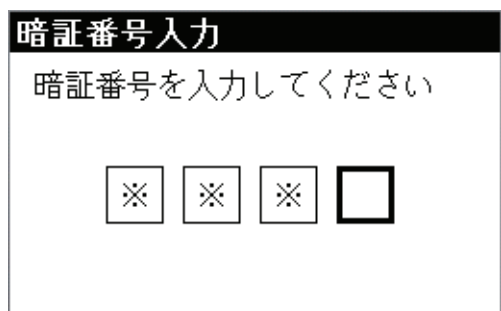
前画面  
 (前画面キー)：使用しません。

次画面  
 (次画面キー)：使用しません。

メニュー  
 (メニューキー)：使用しません。

 (数字キー)：カーソルのある桁に数字を入力します。

動作選択  
 (動作選択キー)：使用しません。



## ● 設定画面での操作

- (上シフトキー)：カーソルを1つ上に移動します。
- (下シフトキー)：カーソルを1つ下に移動します。
- (左シフトキー)：設定内容を選択します。  
数値を入力する項目では、値を1減らします。
- (右シフトキー)：設定内容を選択します。  
数値を入力する項目では、値を1増やします。

取消  
○ (取消キー) : メニュー画面に戻ります。

確定  
○ (確定キー) : 数値を入力する項目では、数字入力画面が表示されます。

前画面  
○ (前画面キー) : 前の設定メニューに移動します。

次画面  
○ (次画面キー) : 次の設定メニューに移動します。

メニュー  
○ (メニューキー)：システム設定メニュー画面に戻ります。

○<sup>0</sup>～○<sup>9</sup> (数字キー)：数値を入力する項目では、数字入力画面が表示され値が入力されます。

動作選択  
○ (動作選択キー)：設定を保存して動作選択メニュー画面に戻ります。

※上記は基本的な設定画面での操作です。それ以外の設定画面については、「システム設定」の各項目をご覧ください。

1-2-1 本体設定	
増設操作 <sup>パ</sup> 利	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源 <sup>パ</sup> 利	1台

## ● 数字入力画面での操作

- (上シフトキー)：使用しません。
- (下シフトキー)：使用しません。
- (左シフトキー)：直前の数字を1文字消去します。
- (右シフトキー)：使用しません。

取消  
○ (取消キー) : 数字入力画面を閉じ、設定メニュー画面へ戻ります。

確定  
○ (確定キー) : 数字を確定します。

前画面  
○ (前画面キー) : 前の設定メニューに移動します。

次画面  
○ (次画面キー) : 次の設定メニューに移動します。

メニュー  
○ (メニューキー)：システム設定メニュー画面に戻ります。

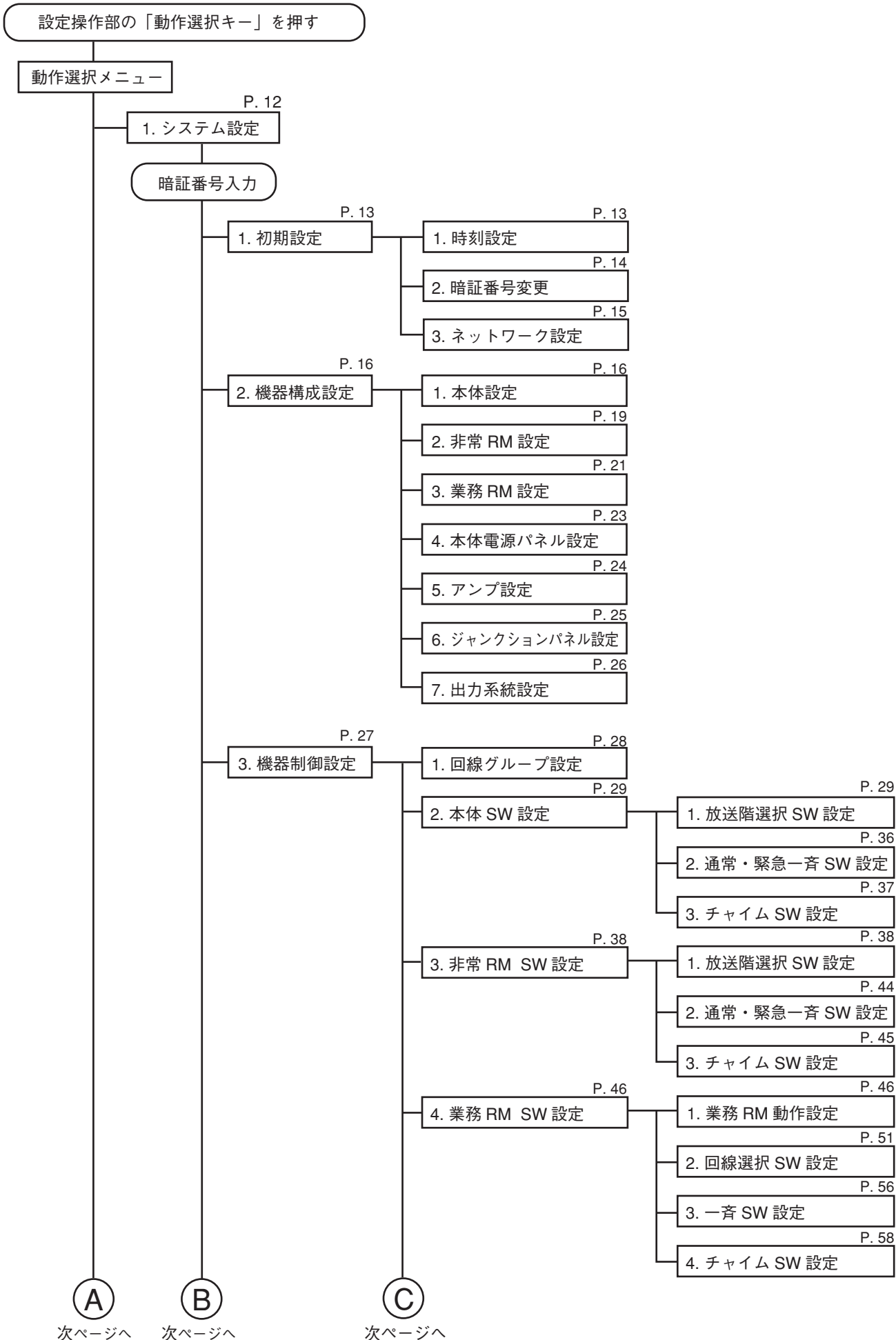
○<sup>0</sup>～○<sup>9</sup> (数字キー)：数字を入力します。

動作選択  
○ (動作選択キー)：設定を保存して動作選択メニュー画面に戻ります。





# ■ メニュー構成



前ページから

A

前ページから

B

前ページから

C

P. 59

5. 緊急放送 SW 設定

P. 64

6. 制御入力設定

P. 71

7. 制御出力設定

P. 73

4. 非常放送設定

P. 74

1. 音声警報設定

P. 78

2. 非常タイマー設定

P. 80

3. 放送階選択方法設定

P. 83

4. 階メッセージ設定

P. 85

5. 出火階連動システム設定

P. 86

5. 業務放送設定

P. 86

1. 業務放送動作設定

P. 88

1. ボイススイッチ設定

P. 92

2. 優先度設定

P. 93

3. 同一優先度動作設定

P. 94

4. 非常断 24 V 出力設定

P. 95

5. 音量設定

P. 129

6. 設定初期化

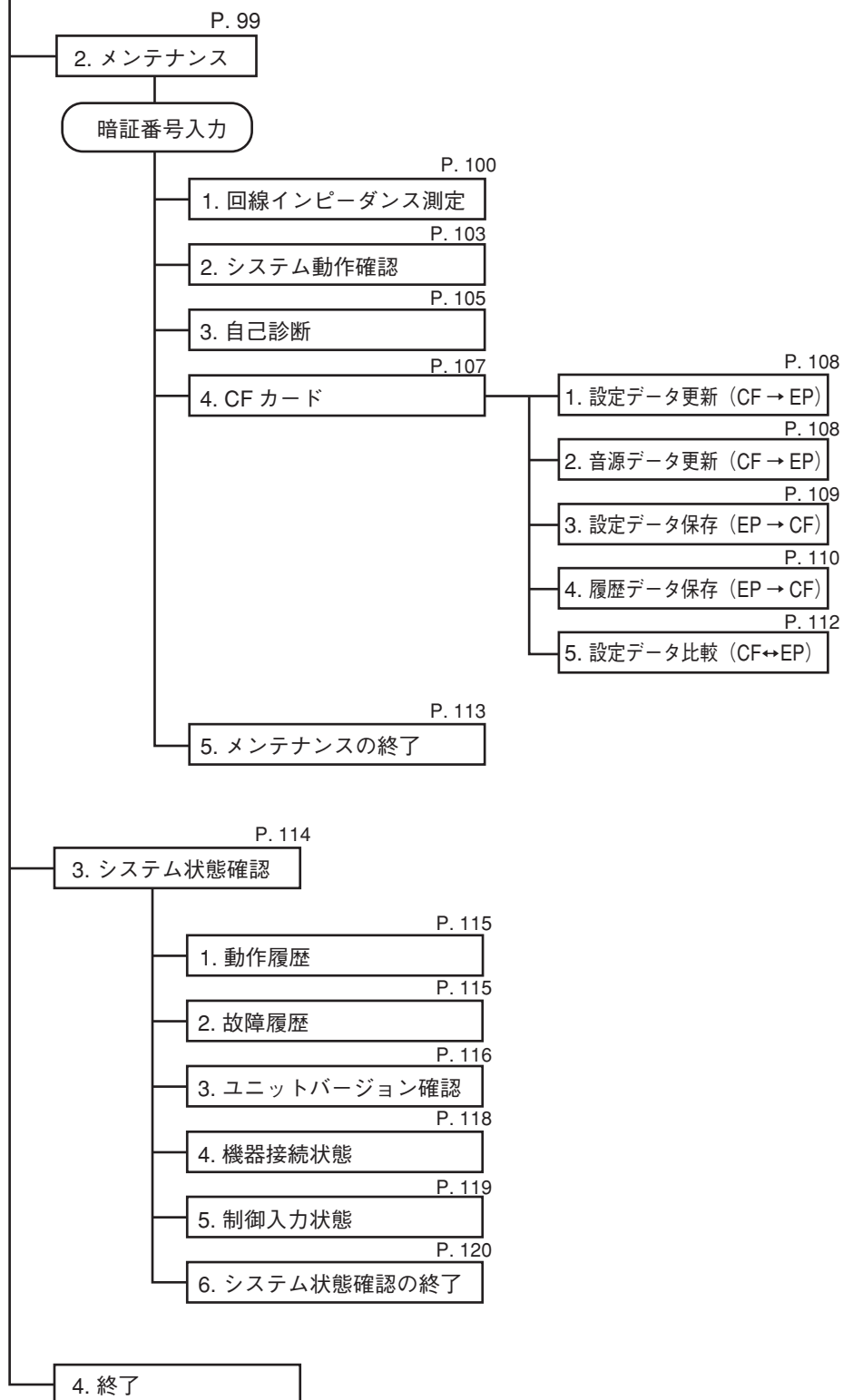
P. 98

7. システム設定の終了

D

次ページへ

D



# システム設定のしかた

別冊の設置説明書に従って機器の設置と接続、およびアドレススイッチなどの設定を完了し、電源を投入した後、システム設定をします。  
初めに設定が必要な項目は以下のとおりです。

**初期設定** : 時刻や暗証番号の設定、およびIPアドレスなどネットワークの設定をします。

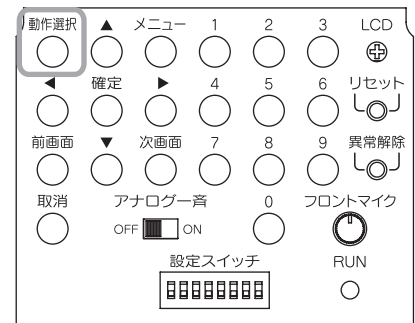
**機器構成設定** : 設置したシステムの機器構成を登録します。

**機器制御設定** : 各放送階選択スイッチや一斉放送スイッチ、チャイムスイッチ、緊急放送スイッチの設定をします。また、制御入出力端子の割り当てを登録します。

**非常放送設定** : 非常放送の音声警報放送や非常タイマーなど、非常放送について設定します。

**業務放送設定** : 各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。

FS-2000EP 設定操作部 (キーの部分)

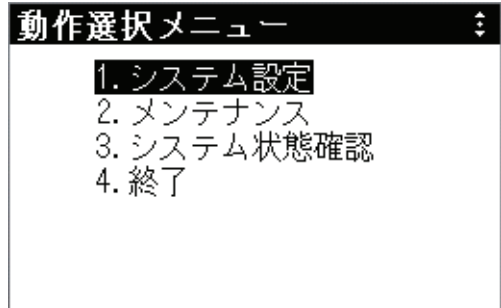


## メモ

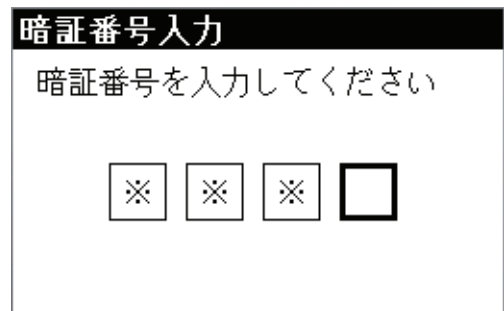
- システム設定中でも、システム設定前の設定内容をもとに業務放送および非常放送は通常通り行えます。
- 初めてシステム設定をするときは、「初期設定」からメニュー番号順に従って設定してください。

## [システム設定の開始のしかた]

- 1** 設定操作部の動作選択キーを押す。  
動作選択メニュー画面が表示されます。



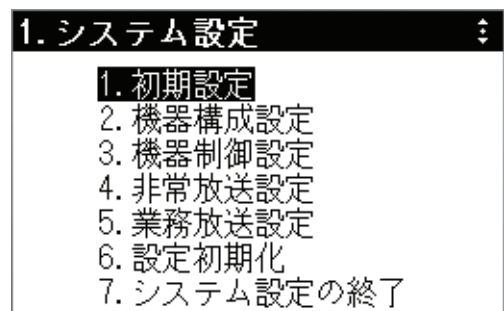
- 2** 上下シフトキーで「1. システム設定」を選択し、確定キーを押す。  
暗証番号入力画面が表示されます。



- 3** 数字キーで4桁の暗証番号を入力する。  
システム設定メニュー画面が表示されます。

## メモ

- 工場出荷時には、暗証番号は「5555」に設定されています。
- 暗証番号の変更はシステム設定の「初期設定」で行います。



## ■ 初期設定 (1-1)

初期設定では、時刻や暗証番号の設定や、IP アドレスなどのネットワークの設定をします。  
設定項目は以下のとおりです。

時刻設定 : 現在の時刻を登録します。

暗証番号変更 : 暗証番号を変更します。

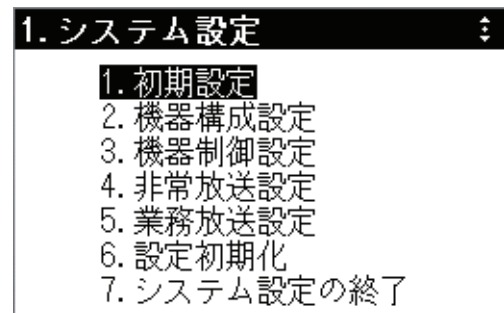
ネットワーク設定 : IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定をします。

### メモ

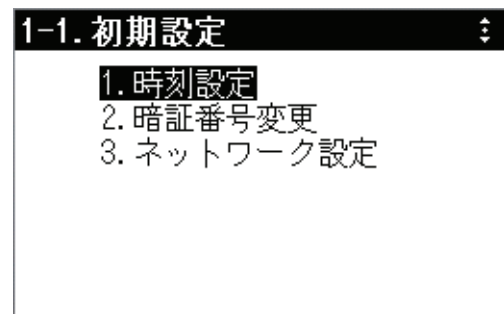
FS-2000 とパソコンを接続することで、設定支援ソフトウェアを使用することができます。  
FS-2000 とパソコンを接続して使用しないときは、ネットワーク設定は不要です。

[初期設定の開始のしかた]

- 1 システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 初期設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
初期設定メニュー画面が表示されます。

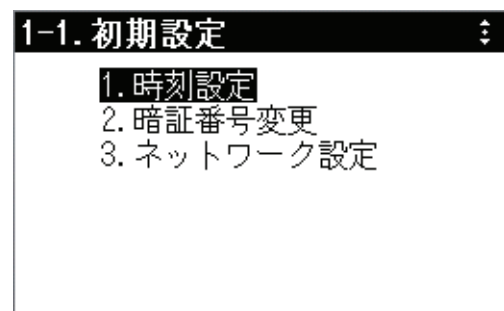


### ● 時刻の設定 (1-1-1)

機器に内蔵されている時計の時刻を合わせます。定期点検を実施したり、動作履歴・故障履歴の発生時刻を記録したりするために必要です。

[時刻設定のしかた]

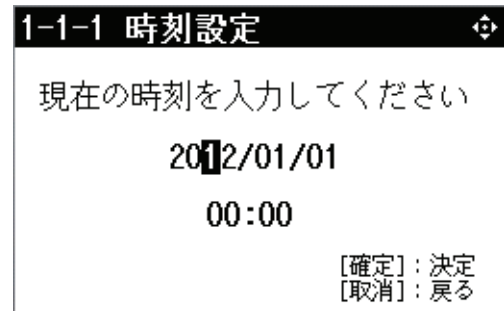
- 1 初期設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 時刻設定」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
時刻設定画面が表示されます。



- 3** 確定キーを押す。  
時刻を入力できるようになります。



- 4** 左右シフトキーでカーソルを移動させて、上下シフトキーまたは、数字キーを押して時刻を入力する。

メモ

- 設定する日時の年は、西暦の下2桁を入力してください。
- 時刻は1分単位で設定可能です。

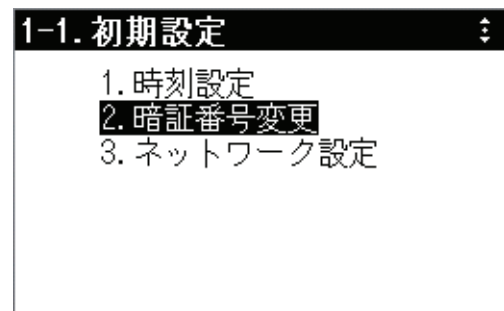
- 5** 確定キーを押す。  
入力した時刻が設定されます。

### ● 暗証番号の変更 (1-1-2)

4桁の暗証番号を登録します。

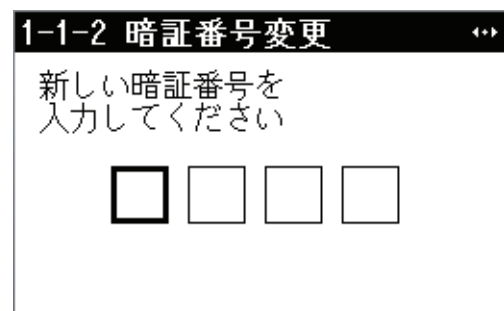
[暗証番号変更のしかた]

- 1** 初期設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 暗証番号変更」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
暗証番号変更画面が表示されます。

- 3** 数字キーで4桁の暗証番号を入力する。



- 4** 確定キーを押す。  
暗証番号が変更されます。

## ● ネットワークの設定 (1-1-3)

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定をします。

ネットワーク設定は、FS-2000 システムとパソコンをオンラインで接続するために必要です。接続するパソコンのネットワーク環境に合わせて設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

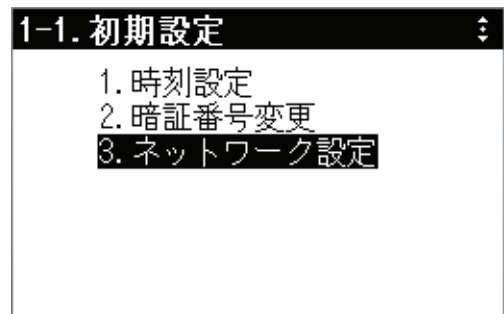
※デフォルトは、以下のとおりです。

- ・IP アドレス : 192.168.14.1
- ・サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

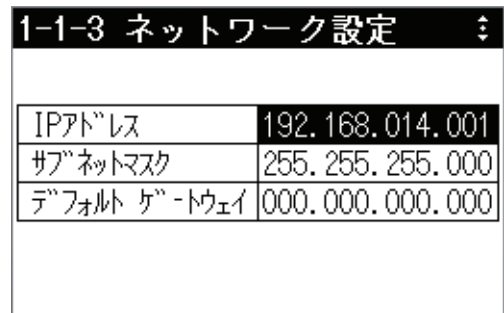
FS-2000 とパソコンを接続することで、FS-2000 設定支援ソフトウェアを使用して、パソコンと FS-2000 間で設定データや音源のアップロードをしたり、FS-2000 の動作履歴・故障履歴を取得することができます。FS-2000 とパソコンを接続して使用しないときは、この設定は不要です。

[ネットワーク設定のしかた]

- 1** 初期設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. ネットワーク設定」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
ネットワーク設定画面が表示されます。



- 3** 上下シフトキーで設定する項目を選択し、確定キーを押す。  
数字入力画面が表示されます。

- 4** 数字キーで値を入力する。



- 5** 確定キーを押す。  
入力した値に設定されます。

## ■ 機器構成設定 (1-2)

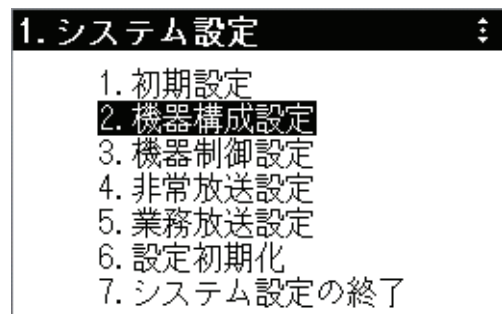
設置したシステムの機器構成を登録します。  
設定項目は以下のとおりです。

本体設定	: FS-2000 本体の機器構成および非常用リモコン・業務用リモコンの台数を登録します。
非常 RM 設定	: 非常用リモコンの機器構成を登録します。
業務 RM 設定	: 業務用リモコンの機器構成を登録します。
本体電源パネル設定	: FS-2000 本体の電源パネル構成を登録します。
アンプ設定	: FS-2000 本体のパワーアンプパネルの構成を登録します。
ジャンクションパネル設定	: FS-2000 本体のジャンクションパネルの機種を登録します。
出力系統設定	: 各出力系統*とスピーカー回線の接続を登録します。

\* 出力系統とは、「DA LINK OUT」のことです。

[機器構成設定の開始のしかた]

- 1 システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 機器構成設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
機器構成設定メニュー画面が表示されます。



### ● FS-2000 本体の設定 (1-2-1)

機器構成設定メニュー画面で「1. 本体設定」を選択し、FS-2000 本体の機器構成と、本体に接続される非常用リモコン・業務用リモコンの台数を登録します。  
設定項目は以下のとおりです。

増設操作パネル	: 増設操作パネルの局数を登録します。
非常 RM	: 非常用リモコンの台数を登録します。
業務 RM	: 業務用リモコンの台数を登録します。
業務停電	: 業務停電放送の有効/無効を設定します。
電源パネル	: 電源パネルの台数を登録します。



[本体設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 本体設定」を選択する。

1-2. 機器構成設定	
1. 本体設定	
2. 非常RM設定	
3. 業務RM設定	
4. 本体電源 <sup>パ</sup> 祉設定	
5. アンプ設定	
6. ジャンクション <sup>パ</sup> 祉設定	
7. 出力系統設定	

- 2 確定キーを押す。  
本体設定画面が表示されます。

1-2-1 本体設定	
増設操作 <sup>パ</sup> 祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源 <sup>パ</sup> 祉	1台

### ◎ 増設操作パネル局数の設定

FS-2000 本体に設置されている FS-2010EP/2020EP の合計局数（最大 160 局まで）を設定します。  
FS-2000EP の 20 局は含みません。

[設定のしかた]

- 1 本体設定画面で、上下シフトキーを押して「増設操作パネル」を選択する。

- 2 左右シフトキーで局数を選択する。

1-2-1 本体設定	
増設操作 <sup>パ</sup> 祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源 <sup>パ</sup> 祉	1台

### ◎ 非常用リモコン台数の設定

非常用リモコン FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の台数を登録します。  
非常用リモコンは最大 16 台まで登録可能です。

[設定のしかた]

- 1 本体設定画面で、上下シフトキーを押して「非常RM」を選択する。

- 2 左右シフトキーで台数を選択する。

メ モ

- 非常用リモコン I/F パネル FS-2000RF の台数登録は不要です。
- FS-2000RF に接続されている非常用リモコンおよび電源パネルの数も含めて登録してください。

1-2-1 本体設定	
増設操作 <sup>パ</sup> 祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源 <sup>パ</sup> 祉	1台

## ◎ 業務用リモコン台数の設定

FS-2000 本体に接続されている業務用リモコン RM-200F/200FW の合計台数（最大 4 台まで）を登録します。接点式リモコン RM-1100 の接続台数は含みません。

[設定のしかた]

**1** 本体設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM」を選択する。

**2** 左右シフトキーで台数を選択する。



1-2-1 本体設定	
増設操作パ°祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源パ°祉	1台

## ◎ 業務停電放送の有効／無効の設定

停電時に業務放送をするかどうかを設定します。するときは「有効」、しないときは「無効」を選択します。業務停電放送をするときは、業務用電源パネル FS-2050GS/2100GS または、FS-2006DS（業務用として設定）の設置が必要です。（別冊の設置説明書「業務停電放送を行うときの接続と設定」）

[設定のしかた]

**1** 本体設定画面で、上下シフトキーを押して「業務停電」を選択する。

**2** 左右シフトキーで「有効」または「無効」を選択する。



1-2-1 本体設定	
増設操作パ°祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源パ°祉	1台

## ◎ 電源パネル台数の設定

FS-2000 本体に設置されている非常用電源パネルおよび業務用電源パネルの合計台数\*を登録します。

\* 業務停電放送を行わない場合：非常用電源パネルを 16 台まで登録できます。

業務停電放送を行う場合：非常用電源パネル、業務用電源パネルをそれぞれ 8 台まで登録できます。

[設定のしかた]

**1** 本体設定画面で、上下シフトキーを押して「電源パネル」を選択する。

**2** 左右シフトキーで台数を選択する。



1-2-1 本体設定	
増設操作パ°祉	無し
非常RM	無し
業務RM	無し
業務停電	無効
電源パ°祉	1台

## ● 非常用リモコンの設定 (1-2-2)

機器構成設定メニュー画面で「2. 非常 RM 設定」を選択し、FS-2000 本体に接続されている各非常用リモコンの機器構成を登録します。非常用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

機種：非常用リモコンの機種を登録します。  
 増設：増設操作パネルの局数を登録します。  
 電源：電源パネル FS-2006DS の「有り／無し」を登録します。

[非常 RM 設定の開始のしかた]

**1** 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 非常 RM 設定」を選択する。

1-2. 機器構成設定	
1.	本体設定
2.	非常RM設定
3.	業務RM設定
4.	本体電源 <sup>パ</sup> 祉設定
5.	アンプ設定
6.	ジャンクション <sup>パ</sup> 祉設定
7.	出力系統設定

**2** 確定キーを押す。  
 非常 RM 設定画面が表示されます。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	無し	無し
3	FS-2000RM	02	無し	無し
4	FS-2000RM	03	無し	無し

## ◎ 機種の設定

非常用リモコンの機種を FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM から選択して登録します。

[設定のしかた]

**1** 非常 RM 設定画面で、左右シフトキーを押して「機種」にカーソルを合わせ、確定キーを押す。

メ モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	無し	無し
3	FS-2000RM	02	無し	無し
4	FS-2000RM	03	無し	無し

**2** 左右シフトキーで非常用リモコンの機種を選択する。

**3** 上下シフトキーで他の非常用リモコンを選択し、手順 2 と同様に左右シフトキーで機種を選択する。

**4** 確定キーを押す。  
 非常用リモコンの機種が設定されます。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	無し	無し
3	FS-1030RM	02	----	----
4	FS-1010RM	03	----	----

## ◎ 増設操作パネル局数の設定（機種が FS-2000RM の場合のみ）

非常用リモコンに設置されている FS-2010EP/2020EP の合計局数（最大 160 局まで）を登録します。FS-2000RM の 20 局は含みません。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 設定画面で、左右シフトキーを押して「増設」にカーソルを合わせ、確定キーを押す。

× モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	160局	有り
3	FS-1030RM	02	----	----
4	FS-1010RM	03	----	----

- 2 左右シフトキーで非常用リモコンに設置されている増設操作パネルの局数を選択する。

- 3 上下シフトキーで他の非常用リモコンを選択し、手順 2 と同様に左右シフトキーで増設操作パネルの局数を選択する。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	160局	有り
3	FS-1030RM	02	----	----
4	FS-1010RM	03	----	----

- 4 確定キーを押す。

非常用リモコンに設置されている増設操作パネルの局数が設定されます。

## ◎ 電源パネルの有り／無しの設定（機種が FS-2000RM の場合のみ）

非常用リモコンに設置されている電源パネル FS-2006DS の「有り／無し」を登録します。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 設定画面で、左右シフトキーを押して「電源」にカーソルを合わせ、確定キーを押す。

× モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	160局	有り
3	FS-1030RM	02	----	----
4	FS-1010RM	03	----	----

- 2 左右シフトキーを押して、非常用リモコンに設置されている FS-2006DS の「有り」または「無し」を選択する。

- 3 上下シフトキーで他の非常用リモコンを選択し、手順 2 と同様に左右シフトキーで、FS-2006DS の「有り」または「無し」を選択する。

1-2-2 非常RM設定				
No.	機種	ID	増設	電源
1	FS-2000RM	00	無し	無し
2	FS-2000RM	01	160局	有り
3	FS-1030RM	02	----	----
4	FS-1010RM	03	----	----

## 4 確定キーを押す。

非常用リモコンに設置されている電源パネルの有無が設定されます。

### ● 業務用リモコンの設定 (1-2-3)

機器構成設定メニュー画面で「3. 業務 RM 設定」を選択し、FS-2000 本体に接続されている各業務用リモコンの機器構成を登録します。

接点式リモコン RM-1100 は含みません。接点式リモコン RM-1100 の設定については、P. 64「制御入力の設定 (1-3-6)」をお読みください。

業務用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

機種：業務用リモコンの種類を登録します。

増設：拡張ユニットの局数を登録します。

[業務 RM 設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 業務 RM 設定」を選択する。



## 2 確定キーを押す。

業務 RM 設定画面が表示されます。

1-2-3 業務RM設定			
No.	機種	ID	増設
1	RM-200F	00	無し
2	RM-200F	01	無し
3	RM-200F	02	無し
4	RM-200F	03	無し

### ◎ 業務用リモコンの機種の設定

FS-2000 本体に接続されている業務用リモコン RM-200F (卓上型)、RM-200FW (壁掛型) の機種を登録します。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 設定画面で、左右シフトキーを押して「機種」にカーソルを合わせ、確定キーを押す。

メモ

「ID」は各機器の DIP スイッチで設定されたアドレスを表します。

1-2-3 業務RM設定			
No.	機種	ID	増設
1	RM-200F	00	無し
2	RM-200F	01	無し
3	RM-200F	02	無し
4	RM-200F	03	無し

2 左右シフトキーで接続されている機種を選択する。

3 上下シフトキーで他の業務用リモコンを選択し、手順2と同様に左右シフトキーで機種を選択する。

4 確定キーを押す。

業務用リモコンの機種が設定されます。

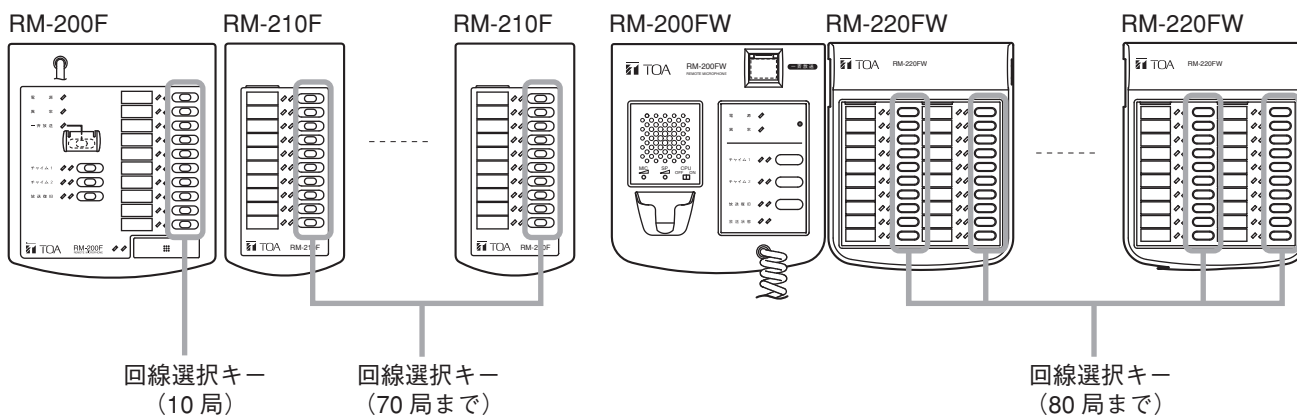
1-2-3 業務RM設定			
No.	機種	ID	増設
1	RM-200F	00	無し
2	RM-200FW	01	無し
3	RM-200F	02	70局
4	RM-200FW	03	80局

### ◎ 拡張ユニット局数の設定

業務用リモコンに接続されている拡張ユニット RM-210F/220FW で増設する合計局数を登録します。増設できる局数は、RM-200F のときは70局まで、RM-200FW のときは80局までです。

#### ご注意

RM-220FW を使用する場合は、局数の値に注意して、20局単位で設定を行ってください。



[設定のしかた]

1 業務 RM 設定画面で、左右シフトキーを押して「増設」にカーソルを合わせ、確定キーを押す。

1-2-3 業務RM設定			
No.	機種	ID	増設
1	RM-200F	00	無し
2	RM-200FW	01	無し
3	RM-200F	02	70局
4	RM-200FW	03	80局

2 左右シフトキーで業務用リモコンに接続されている拡張ユニットの局数を選択する。

3 上下シフトキーで他の業務用リモコンを選択し、手順2と同様に左右シフトキーで拡張ユニットの局数を選択する。

4 確定キーを押す。

業務用リモコンに接続された拡張ユニットの局数が設定されます。

1-2-3 業務RM設定			
No.	機種	ID	増設
1	RM-200F	00	無し
2	RM-200FW	01	無し
3	RM-200F	02	70局
4	RM-200FW	03	80局



## ● 本体電源パネルの設定 (1-2-4)

機器構成設定メニュー画面で「4. 本体電源パネル設定」を選択し、FS-2000 本体に設置されている電源パネル FS-2050DS/2100DS、FS-2006DS (非常) / (業務)、FS-2050GS/2100GS、の機種を登録します。

[本体電源パネル設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 本体電源パネル設定」を選択する。

1-2. 機器構成設定	
1.	本体設定
2.	非常RM設定
3.	業務RM設定
4.	本体電源パネル設定
5.	アンプ設定
6.	ジャンクションパネル設定
7.	出力系統設定

- 2 確定キーを押す。  
本体電源パネル設定画面が表示されます。

No.	機種	ID
1	FS-2050DS	00
2	FS-2050DS	01
3	FS-2050DS	02
4	FS-2050DS	03

[設定のしかた]

- 1 本体電源パネル設定画面で、左右シフトキーを押して設置されている電源パネルの機種を選択する。

- 2 上下シフトキーで他の電源パネルにカーソルを合わせ、手順1と同様に左右シフトキーで電源パネルの機種を選択する。

No.	機種	ID
1	FS-2050DS	00
2	FS-2050DS	01
3	FS-2050DS	02
4	FS-2050DS	03

メモ

- 機種を選択項目で、FS-2006DS には「FS-2006DS (非常)」と「FS-2006DS (業務)」があります。使用目的に合わせて設定してください。  
FS-2006DS (非常)：非常用の電源として設置している FS-2006DS。  
FS-2006DS (業務)：業務停電放送を行うときに、業務用の電源として設置している FS-2006DS。  
非常用と業務用では、FS-2006DS の業務停電放送設定スイッチの設定が異なります。(別冊の設置説明書「業務停電放送をするときの設定」)
- 「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

## ● アンプ設定 (1-2-5)

機器構成設定メニュー画面で「5. アンプ設定」を選択し、FS-2000 本体に設置されているパワーアンプパネルの構成を登録します。

機種 (×台数)：パワーアンプパネル FS-2109DA/2118DA/2136DA の機種と台数を登録します。

[アンプ設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. アンプ設定」を選択する。

1-2. 機器構成設定	
1. 本体設定	
2. 非常RM設定	
3. 業務RM設定	
4. 本体電源 <sup>0</sup> 補設定	
<b>5. アンプ設定</b>	
6. ジャンクション <sup>0</sup> 補設定	
7. 出力系統設定	

- 2 確定キーを押す。  
アンプ設定画面が表示されます。

1-2-5 アンプ設定		
出力系統	機種(×台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

[設定のしかた]

- 1 アンプ設定画面で、左右シフトキーを押して設置されているパワーアンプパネルの機種と台数を選択する。

- 2 上下シフトキーで他の出力系統にカーソルを合わせ、手順1と同様に左右シフトキーでパワーアンプパネルの機種と台数を選択する。

- 3 確定キーを押す。  
パワーアンプパネルの機種と台数が設定されます。

1-2-5 アンプ設定		
出力系統	機種(×台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	FS-2136DAx3	--
3	FS-2118DA	--
4	----	--

### メモ

- 機種を選択項目で、FS-2136DA には「FS-2136DA」、「FS-2136DA × 2」、「FS-2136DA × 3」があります。設置状態に合わせて設定してください。  
FS-2136DA : 出力に対して、パワーアンプを1台のみ使用するとき。  
FS-2136DA × 2 : 出力に対して、パワーアンプ2台を平行接続で使用するとき。  
FS-2136DA × 3 : 出力に対して、パワーアンプ3台を平行接続で使用するとき。
- 各パワーアンプパネルのIDは、決まり次第、自動で表示されます。また、「機器接続状態 (3-4)」のメニューで確認できます。(P. 118)
- 出力系統とは、「DA LINK OUT」のことです。
- 機種 (×台数) の入力 No. 1 から順に行ってください。
- 機種 (×台数) を削除するときは一番下から削除してください。
- アンプを増設または削除するときは、P. 159「付録:設定についての補足」および別冊の設置説明書「付録:パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続について」に従って、ジャンクションパネルや出力系統設定画面が自動的に調整されます。



## ● ジャンクションパネル設定 (1-2-6)

機器構成設定メニュー画面で「6. ジャンクションパネル設定」を選択し、FS-2000 本体に設置されているジャンクションパネルの構成を登録します。

機種：ジャンクションパネル FS-2420JP/2120JP/2110JP の機種を登録します。

### ご注意

FS-2120JP/2110JP を FS-2420JP と同じシステム内で使用するときは、FS-2120JP/2110JP のファームウェアバージョンが 3.00 以降のものを使用してください。それより前のバージョンでは短絡検知ができません。ファームウェアのバージョンについては、バージョン確認画面 (P. 116) でご確認ください。ファームウェアのバージョンアップについては、当社営業所にお問い合わせください。

[ジャンクションパネル設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「6. ジャンクションパネル設定」を選択する。

1-2. 機器構成設定	
1.	本体設定
2.	非常RM設定
3.	業務RM設定
4.	本体電源パル設定
5.	アンプ設定
6.	ジャンクションパル設定
7.	出力系統設定

- 2 確定キーを押す。  
ジャンクションパネル設定画面が表示されます。

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2420JP	02
4	----	--

[設定のしかた]

- 1 ジャンクションパネル設定画面で、左右シフトキーを押して設置されているジャンクションパネルの機種を選択する。

- 2 上下シフトキーで他の No. にカーソルを合わせ、手順 1 と同様に左右シフトキーでジャンクションパネルの機種を選択する。

- 3 確定キーを押す。  
ジャンクションパネルの機種が設定されます。

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2420JP	02
4	----	--

### メモ

- 機種の入力は No. 1 から順に入力してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- 出力系統数を超えて FS-2110JP を追加することはできません。
- ジャンクションパネルを増設または削除するときは、P. 159「付録：設定についての補足」および別冊の設置説明書「付録：パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続について」に従って、出力系統画面が自動的に調整されます。

## ● 出力系統設定 (1-2-7)

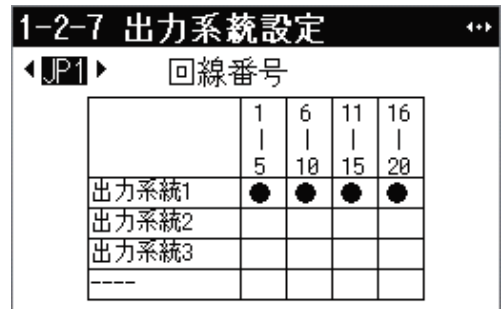
機器構成設定メニュー画面で「7. 出力系統設定」を選択し、出力系統への回線設定を登録します。この設定により、出力系統と回線を接続することができます。

[出力系統設定の開始のしかた]

- 1 機器構成設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「7. 出力系統設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
出力系統設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

- 1 出力系統設定画面で、左右シフトキーを押してジャンクションパネルを選択し、確定キーを押す。

- 2 上下シフトキーまたは左右シフトキーで追加したい回線にカーソルを合わせる。

- 3 確定キーを押す。  
出力系統と回線の接続を表す「●」マークが追加されます。

メ モ

- 各回線は1つの出力系統にしがつながりません。
- すでに別の出力系統に「●」マークが設定されている回線を選択し、確定キーを押したときは、別の出力系統に表示されていた「●」マークが削除され、新たに選択した出力系統に「●」マークが追加されます。
- 「●」マークが設定されている位置にカーソルを合わせて確定キーを押すと、クリアできます。
- 回線選択中に取消キーを押すと、ジャンクションパネルの選択に戻ります。
- 「●」の設定には決まりがあります。P. 159「付録：設定についての補足」をご確認ください。
- 正しく設定できていないときはエラーダイアログが表示されます。エラーダイアログが表示されたときは、P. 164「付録：エラーダイアログ表示時の対処」をご確認ください。

- 4 取消キーを押す。

ジャンクションパネルの選択に戻ります。手順1～3を繰り返して、すべてのジャンクションパネルの設定をしてください。

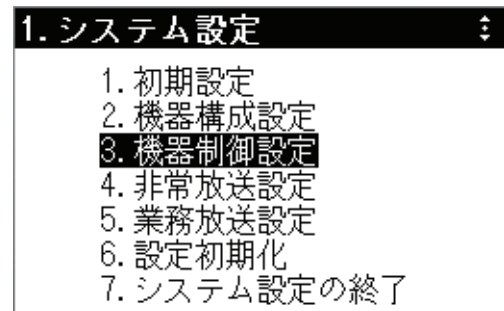
## ■ 機器制御設定 (1-3)

各放送階選択スイッチや一斉放送スイッチ、チャイムスイッチ、緊急放送スイッチの設定をします。また、制御入出力端子の割り当てを登録します。設定項目は以下のとおりです。

- 回線グループ設定 : 回線グループを登録します。
- 本体 SW 設定 : FS-2000 本体の放送階選択スイッチ、通常・緊急一斉放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。
- 非常 RM SW 設定 : 非常用リモコンの放送階選択スイッチ、通常・緊急一斉放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。
- 業務 RM SW 設定 : 非業務リモコンの動作設定および回線選択キー、一斉放送キー、チャイムキーの設定をします。
- 緊急放送 SW 設定 : FS-2000 本体または、非常用リモコンの緊急放送スイッチの設定をします。
- 制御入力設定 : FS-2000 本体の制御入力端子の設定をします。
- 制御出力設定 : FS-2000 本体の制御出力端子の設定をします。

[機器制御設定の開始のしかた]

- 1** システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 機器制御設定」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
機器制御設定メニュー画面が表示されます。

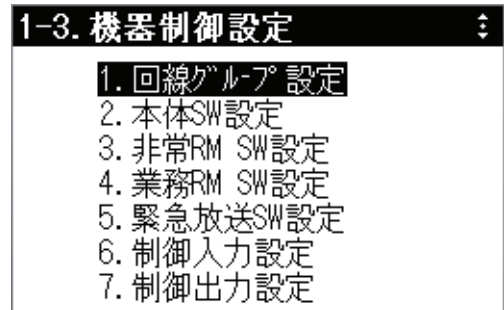


## ● 回線グループの設定 (1-3-1)

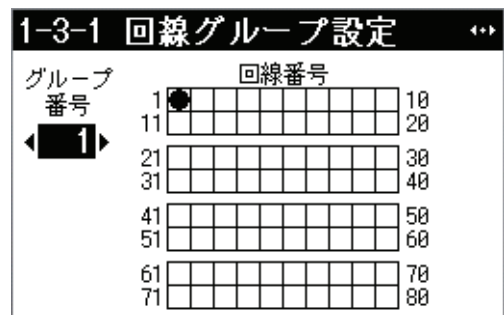
機器制御設定メニュー画面で「1. 回線グループ設定」を選択し、複数のスピーカー回線を1つのグループに登録します。ここで設定したグループを放送階選択スイッチ、通常・緊急一斉スイッチなどに割り当てることによって、登録されている複数回線に一斉に放送することができます。

[回線グループ設定の開始のしかた]

- 1 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 回線グループ設定」を選択する。

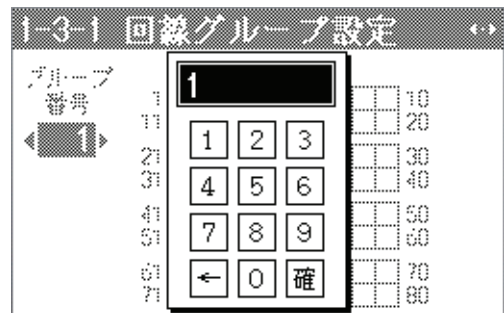


- 2 確定キーを押す。  
回線グループ設定画面が表示されます。

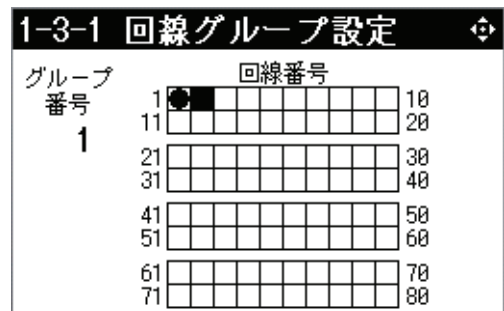


[設定のしかた]

- 1 回線グループ設定画面で、左右シフトキーまたは数字キーを押してグループ番号を入力し、確定キーを押す。



- 2 上下シフトキーまたは、左右シフトキーで追加/削除したい回線にカーソルを合わせ、確定キーを押す。  
放送される回線を表す「●」マークが追加されます。  
すでに「●」マークが設定されている回線番号を選択し、確定キーを押すと、「●」マークが削除されます。



メモ

- 登録できるグループ数は、100グループまでです。
- 1～80回線（JP1-4）は1画面目、81～160回線（JP5-8）は2画面目に表示されます。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれた場合、その直後の10回線は空き番号となります。空き番号には「●」マークを追加することができません。

## ● FS-2000 本体スイッチの設定 (1-3-2)

機器制御設定メニュー画面で「2. 本体 SW 設定」を選択し、FS-2000 本体の放送階選択スイッチや通常・緊急一斉放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。  
設定項目は以下のとおりです。

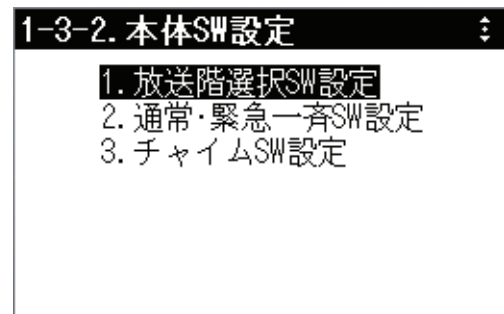
- 放送階選択 SW 設定 : 放送階選択スイッチについて設定します。  
通常・緊急一斉 SW 設定 : 通常一斉放送スイッチまたは、緊急一斉放送スイッチについて設定します。  
チャイム SW 設定 : チャイムスイッチ「1」「2」について設定します。

[本体 SW 設定の開始のしかた]

- 1** 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 本体 SW 設定」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
本体 SW 設定メニュー画面が表示されます。



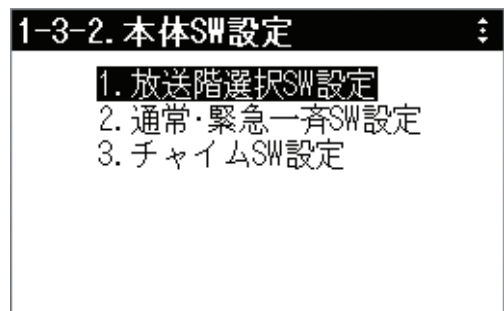
## ◎ 放送階選択スイッチの設定 (1-3-2-1)

FS-2000 本体の各放送階選択スイッチについて、用途や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線と非常システムを設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

- 用途 : 放送階選択スイッチの用途を設定します。  
業務緊急 : 業務放送について通常放送／業務緊急モードを選択します。  
出力回線 : 出力をする回線について個別／グループを選択します。  
回線番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。  
非常システム : 非常放送時の非常システム番号を設定します。

[放送階選択スイッチ設定の開始のしかた]

- 1** 本体 SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 放送階選択 SW 設定」を選択する。



## 2 確定キーを押す。

放送階選択 SW 設定画面が表示されます。

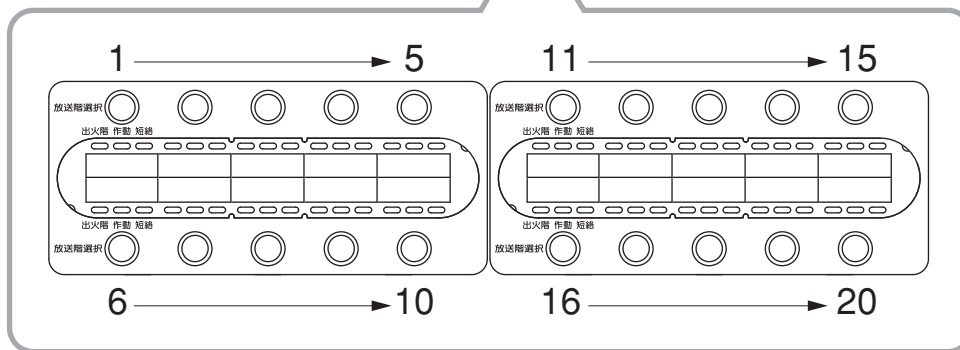
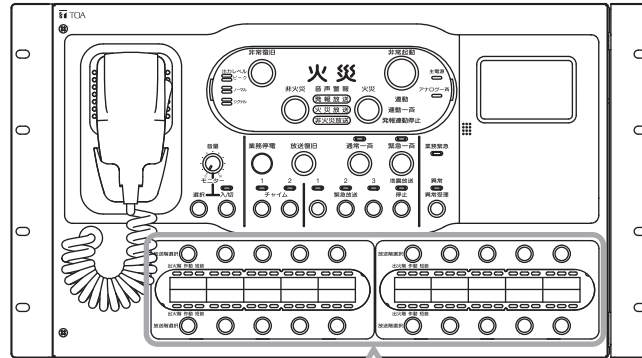
### 1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

メモ

放送階選択スイッチの番号 (SW 番号) は下図のとおりです。

FS-2000EP操作部



## ○ 放送階選択スイッチの用途の設定

各放送階選択スイッチの用途を、非常／業務／兼用／BGM／未使用のいずれかに設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

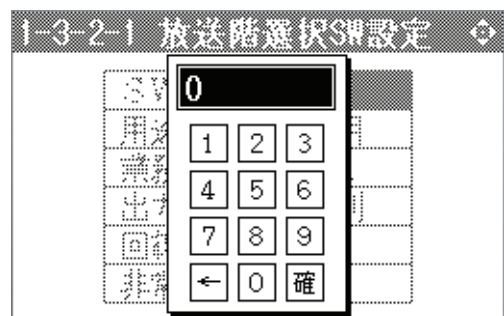
- 非常 : 放送階選択スイッチを非常放送用途で使用します。業務放送では使用できません。
- 業務 : 放送階選択スイッチを業務放送用途で使用します。非常放送では使用できません。BGM音源が流れます。
- 兼用 : 非常放送・業務放送の両方の用途で使用します。BGM音源が流れます。
- BGM : FS-2000EP 扉内側の BGM 音声入力端子に接続された演奏機器から BGM 音源のみの放送を行うときに使用します。非常放送では使用できません。
- 未使用 : 放送階選択スイッチを使用しません。

設定した機能により、必要な詳細設定の項目が異なります。放送階選択スイッチの機能と、必要な詳細設定の項目は、下表のとおりです。

設定機能	通常放送／業務緊急モードの設定 (P. 32)	出力回線の個別／グループ設定 (P. 33)	回線番号の設定 (P. 34)	非常系統の設定 (P. 35)
非常	×	○	○	○
業務	○	○	○	×
兼用	○	○	○	○
BGM	×	○	○	×
未使用	×	×	×	×

[設定のしかた]

- 1** 放送階選択 SW 設定画面で「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。



- 2** 上下シフトキーで「用途」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで放送階選択スイッチの用途を選択する。





## ○ 放送階選択スイッチの通常放送／業務緊急モードの設定

各放送階選択スイッチの用途を「業務」または「兼用」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。用途を非常／BGM／未使用に設定したときは、この設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

業務緊急無し：通常放送モードで放送します。

通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

業務緊急有り：業務緊急モードで放送します。

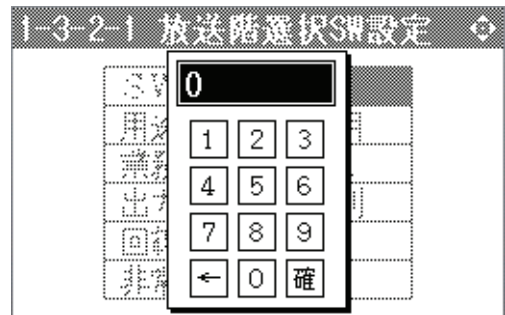
業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

[設定のしかた]

- 1 放送階選択 SW 設定画面で「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



- 2 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、放送階選択スイッチの業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



## ○ 放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定

各放送階選択スイッチの回線登録を個別／グループのどちらかに設定します。  
用途を「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。  
設定項目は以下のとおりです。

個別 : 放送階選択スイッチについて、スピーカー回線を1つ登録します。

グループ : 放送階選択スイッチについて、回線グループを登録します。

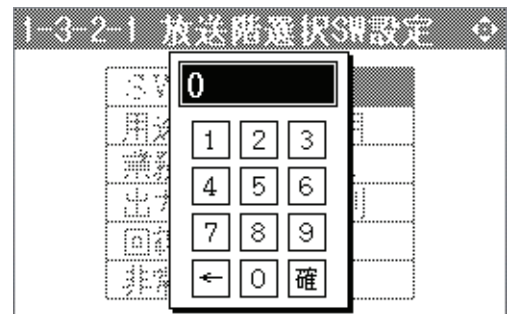
回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。( P. 28)

[設定のしかた]

- 1 放送階選択 SW 設定画面で「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



- 2 上下シフトキーで「出力回線」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、放送階選択スイッチの回線登録を「個別」または「グループ」に設定する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ○ 放送階選択スイッチの回線番号の設定

各放送階選択スイッチに回線番号または回線グループ番号を設定します。

出力回線を「個別」に設定したときは、スピーカー回線を1つ設定します。

出力回線を「グループ」に設定したときは、回線グループ設定（1-3-1）で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

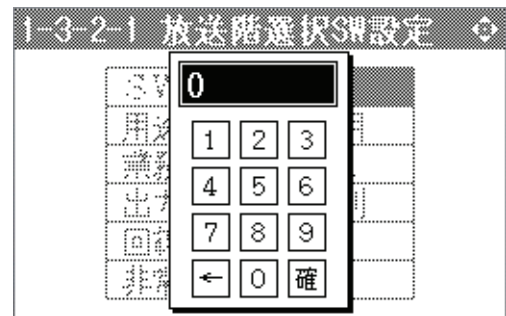
用途を「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。

回線番号は1番～160番、回線グループ番号は1番～100番のいずれかに設定します。

[設定のしかた]

- 1 放送階選択 SW 設定画面で「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



- 2 上下シフトキーで「回線番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの回線番号または、回線グループ番号を設定する。

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

× モ

- 設定可能な回線番号は各出力のジャンクションパネルの局数によって決まります。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれている場合、その直後 10 個の回線番号は割り当てられず、空き番号になります。

## ○ 放送階選択スイッチの非常系統の設定

各放送階選択スイッチの用途を「非常」または「兼用」に設定したとき、放送階選択スイッチについて非常系統番号を割り当てます。用途を業務／BGM／未使用に設定したときは、この設定は不要です。非常系統番号は1番～160番のいずれかに設定します。

メモ

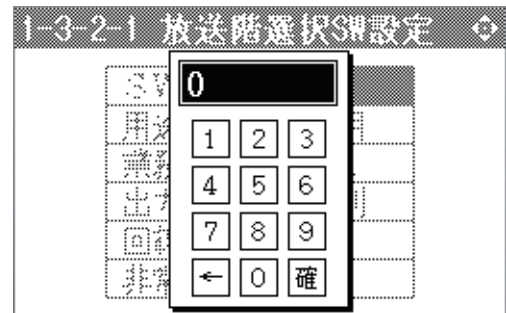
階別信号 (EL) の非常系統および階メッセージの設定は、階メッセージ設定 (1-4-4) で行います。(P. 83) 非常系統の例は、P. 140 を参照してください。

[設定のしかた]

- 1 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーで放送階選択スイッチの番号を選択する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



- 2 上下シフトキーで「非常系統」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの非常系統番号を設定する。

1-3-2-1 放送階選択SW設定

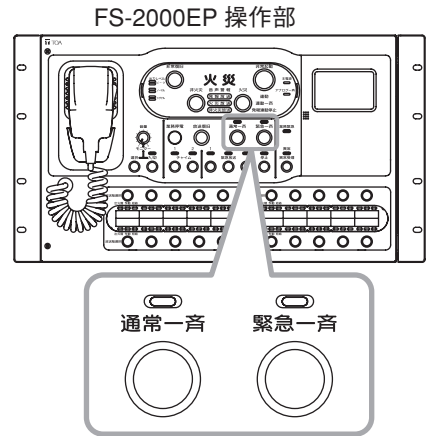
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ◎ 通常・緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-2-2)

FS-2000 本体の通常一斉放送スイッチおよび緊急一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。

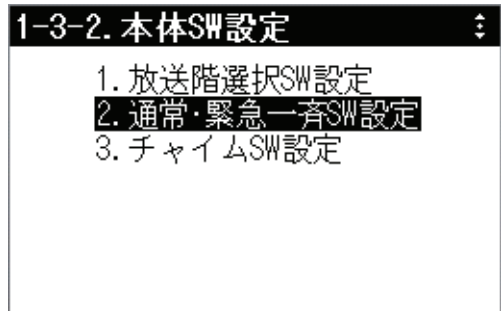
回線グループ設定 (1-3-1) で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

回線グループ番号は 1 番～ 100 番のいずれかに設定します。



[通常・緊急一斉放送スイッチ設定の開始のしかた]

- 1 本体 SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 通常・緊急一斉 SW 設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
本体一斉 SW 設定画面が表示されます。

[設定のしかた]

- 1 本体一斉 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「通常一斉」または「緊急一斉」にカーソルを合わせる。
- 2 左右シフトキーまたは数字キーを押して、通常・緊急一斉放送スイッチの回線グループ番号を設定する。



### メモ

通常一斉放送：アッテネーターによる音量の調節が可能です。

緊急一斉放送：アッテネーターの設定に関係なく、最大音量で放送が出力されます。

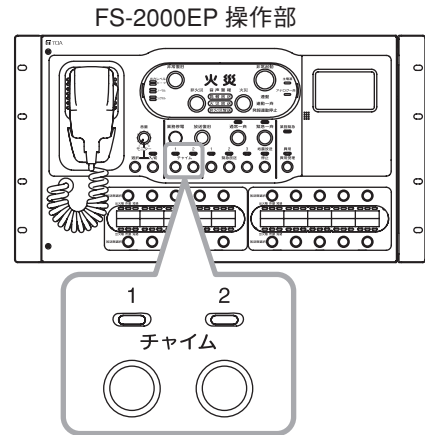
### ◎ チャイムスイッチの設定 (1-3-2-3)

FS-2000 本体のチャイムスイッチ1または、チャイムスイッチ2について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。チャイムの音源は以下のとおりです。

- チャイム1：上り4音
- チャイム2：下り4音
- チャイム3：2音
- チャイム4：ゴング

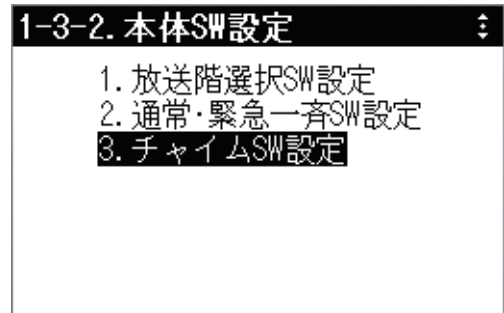
メ モ

チャイムスイッチ 1/2 を未使用に設定することもできます。



[チャイムスイッチ設定の開始のしかた]

- 1 本体 SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. チャイム SW 設定」を選択する。
- 2 確定キーを押す。  
本体チャイム設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

- 1 本体チャイム設定画面で、上下シフトキーを押してチャイムスイッチ「1」または「2」にカーソルを合わせる。
- 2 左右シフトキーでチャイムの音源を選択する。



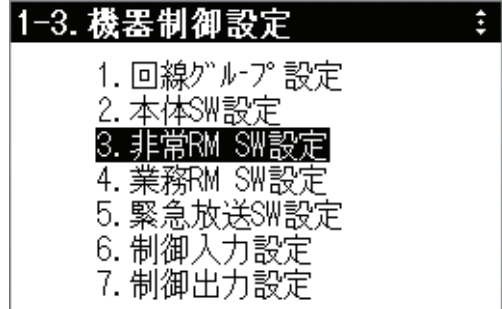
## ● 非常用リモコンのスイッチの設定 (1-3-3)

機器制御設定メニュー画面で「3. 非常 RM SW 設定」を選択し、非常用リモコンの放送階選択スイッチや通常・緊急一斉放送スイッチ、チャイムスイッチの設定をします。非常用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。

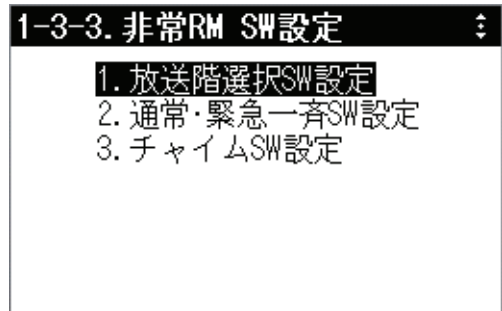
設定項目は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 29 「FS-2000 本体スイッチの設定 (1-3-2)」)

[非常 RM SW 設定の開始のしかた]

- 1 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 非常 RM SW 設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
非常 RM SW 設定メニュー画面が表示されます。

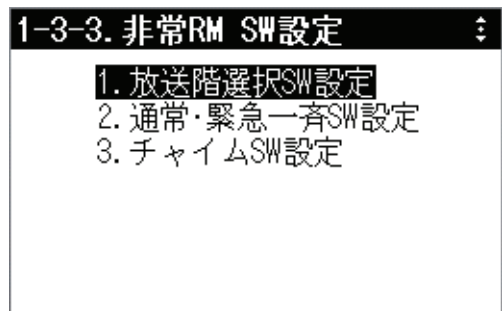


### ◎ 放送階選択スイッチの設定 (1-3-3-1)

設定内容は、FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 29 「放送階選択スイッチの設定 (1-3-2-1)」)

[放送階選択スイッチ設定の開始のしかた]

- 1 非常 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 放送階選択 SW 設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
非常 RM 放送階選択 SW 設定画面が表示されます。

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ○ 放送階選択スイッチの用途の設定

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 31 「放送階選択スイッチの用途の設定」)

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メ モ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定された以下の ID に対応します。

非常 RM 番号	ID (アドレススイッチの設定)
1	00
2	01
⋮	⋮
10	09
11	0A
⋮	⋮
16	0F

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 3 上下シフトキーで「用途」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで放送階選択スイッチの用途を選択する。

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ○ 放送階選択スイッチの通常放送／業務緊急モードの設定

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。

( P. 32 「放送階選択スイッチの通常放送／業務緊急モードの設定」)

用途を非常／BGM／未使用に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メモ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 3 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、放送階選択スイッチの業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

### 1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1



## ○ 放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。  
 ( P. 33 「放送階選択スイッチの出力回線の個別／グループ設定」)  
 用途を未使用に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メモ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 3 上下シフトキーで「出力回線」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、放送階選択スイッチの回線登録を「個別」または「グループ」に設定する。

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ○ 放送階選択スイッチの回線番号の設定

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 34 「放送階選択スイッチの回線番号の設定」)  
用途を未使用に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メモ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW	
非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW	
非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW	
非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

- 3 上下シフトキーで「回線番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの回線番号または、回線グループ番号を設定する。

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW	
非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

メモ

- 設定可能な回線番号は各出力のジャンクションパネルの局数によって決まります。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれている場合、その直後 10 個の回線番号は割り当てられず、空き番号になります。

## ○ 放送階選択スイッチの非常系統の設定

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 35 「放送階選択スイッチの非常系統の設定」)  
用途を業務 / BGM / 未使用に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 非常 RM 放送階選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メ モ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの番号を選択する。

- 3 上下シフトキーで「非常系統」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して放送階選択スイッチの非常系統番号を設定する。

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

1-3-3-1 非常RM放送階選択SW

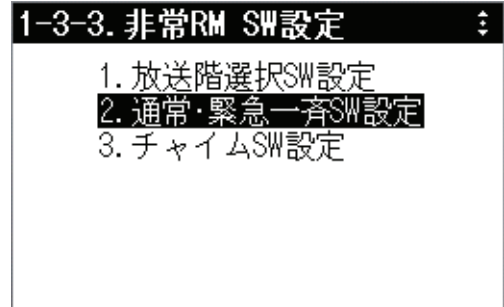
非常RM番号	1
SW番号	1
用途	兼用
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1
非常系統	1

## ◎ 通常・緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-3-2)

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。  
( P. 36 「通常・緊急一斉放送スイッチの設定 (1-3-2-2)」)

[通常・緊急一斉放送スイッチ設定の開始のしかた]

- 1 非常 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 通常・緊急一斉 SW 設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
非常 RM 一斉 SW 設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

- 1 非常 RM 一斉 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メ モ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「通常一斉 Gr」または「緊急一斉 Gr」にカーソルを合わせる。



- 3 左右シフトキーまたは数字キーを押して、通常・緊急一斉放送スイッチの回線グループ番号を設定する。



メ モ

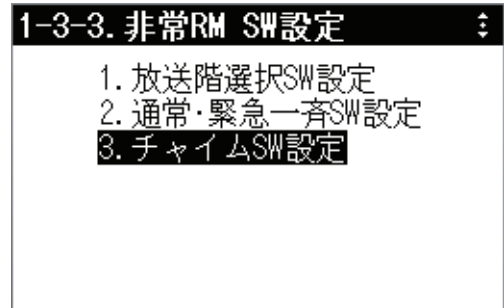
通常一斉放送：アッテネーターによる音量の調節が可能です。  
緊急一斉放送：アッテネーターの設定に関係なく、最大音量で放送が出力されます。

## ◎ チャイムスイッチの設定 (1-3-3-3)

設定内容は FS-2000 本体スイッチの設定と同様です。( P. 37 「チャイムスイッチの設定 (1-3-2-3)」)

[チャイムスイッチ設定の開始のしかた]

- 1 非常 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. チャイム SW 設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
非常 RM チャイム SW 設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

- 1 非常 RM チャイム SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「非常 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

メモ

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定されています。



- 2 上下シフトキーで「チャイム1」または「チャイム2」にカーソルを合わせる。

- 3 左右シフトキーでチャイムの音源を選択する。



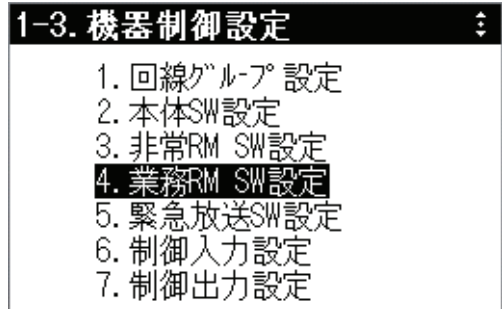
## ● 業務用リモコンのスイッチの設定 (1-3-4)

機器制御設定メニュー画面で「4. 業務 RM SW 設定」を選択し、業務用リモコンの動作を設定します。また、回線選択キー、一斉放送キー、チャイムキーの設定をします。業務用リモコンを使用しないときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

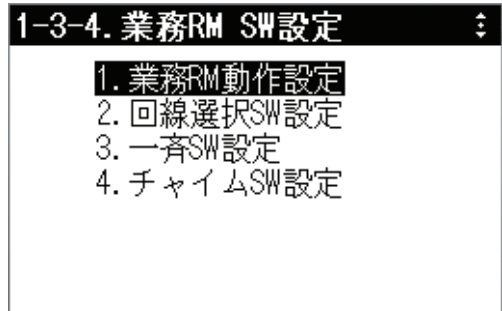
業務 RM 動作設定：トークキーを押したときの動作や、チャイム音量、待ち時間を設定します。  
回線選択 SW 設定：回線選択キーについて設定します。  
一斉 SW 設定：一斉放送キーについて設定します。  
チャイム SW 設定：チャイムキー「1」「2」について設定します。

[業務 RM SW 設定の開始のしかた]

**1** 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 業務 RM SW 設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
業務 RM SW 設定メニュー画面が表示されます。



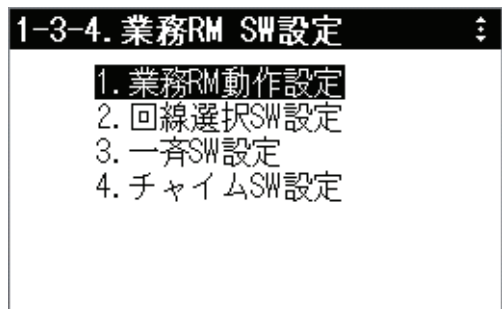
## ◎ 業務用リモコンの動作の設定 (1-3-4-1)

業務用リモコンのトークキーを押したときの動作方式や、チャイム音量、待ち時間、AUX を設定します。設定項目は以下のとおりです。

PTT/LOCK：トークキーを押したときの動作方式を設定します。  
タイムアウト：放送をタイムアウトさせる時間を設定します。  
チャイム音量：チャイム音量を設定します。  
待ち時間：トークキーを押してから放送を開始するまでの時間を設定します。  
AUX：AUX 入力を使用するかどうかを設定します。(RM-200F のみ設定可)

[業務 RM 動作設定の開始のしかた]

**1** 業務 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 業務 RM 動作設定」を選択する。



## 2 確定キーを押す。

業務 RM 動作設定画面が表示されます。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

### ○ 業務用リモコン RM-200F のトークキーの PTT/LOCK の設定

RM-200F のトークキーを押したときの動作方式を PTT/LOCK のどちらかに設定します。

RM-200F を使用しないときは、この設定は不要です。

RM-200FW は PTT のみの設定になります。

設定項目は以下のとおりです。

PTT : トークキーを押している間だけ放送することができます。キーを離すと放送が終了します。

LOCK : トークキーを押すと放送が開始され、もう一度押すと放送が終了します。

[設定のしかた]

1 業務 RM 動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メモ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定された以下の ID に対応します。(別冊の設置説明書「アドレスの設定」)

業務 RM 番号	ID (DIP スイッチで設定されたアドレス)
1	00
2	01
3	02
4	03

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

2 上下シフトキーで「PTT/LOCK」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、「PTT」または「LOCK」を選択する。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない



## ○ 業務用リモコン RM-200F のタイムアウト時間の設定

RM-200F のトークキーの動作方式を「LOCK」に設定した場合に、放送終了時にトークキーを押し忘れたと  
きのために、自動的に放送を終了させる時間を分単位で設定します。(1 ~ 20 分の範囲で設定可能です。)

自動的にタイムアウトさせないときは、「連続」に設定します。

RM-200F のトークキーの動作方式を「PTT」に設定した場合は、この設定は不要です。

RM-200FW を使用する場合は、トークキーが「PTT」固定のため、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メ モ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

- 2 上下シフトキーで「タイムアウト」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押してタイムアウト時間を設定する。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

## ○ 業務用リモコンのチャイム音量の設定

業務用リモコンのチャイムキーまたは、トークキーの連動チャイムについて、チャイム音量を設定します。  
音量は -20 dB ~ 0 dB の間で、2 dB 間隔で設定可能です。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メ モ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない



- 2** 上下シフトキーで「チャイム音量」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで音量を設定する。

1-3-4-1 業務RM動作設定	
業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

### ○ 待ち時間の設定

トークキーを押してから放送を開始するまでの時間を設定します。

マイク放送の開始チャイムを「未使用」に設定しているときは、マイク放送が始まるまでの時間になり、開始チャイムを「上り4音」「下り4音」「2音」「ゴング」のいずれかに設定しているときはチャイムが流れるまでの時間になります。(開始チャイムの設定 P.91)

待ち時間は0秒、0.5秒、1秒、1.5秒、2秒、3秒、4秒のいずれかに設定可能です。

(工場出荷時の設定：0秒)

[設定のしかた]

- 1** 業務RM動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務RM番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務RM番号を選択する。

メモ

業務RM番号は業務用リモコンのDIPスイッチで設定されています。

1-3-4-1 業務RM動作設定	
業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

- 2** 上下シフトキーで「待ち時間」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで待ち時間を設定する。

1-3-4-1 業務RM動作設定	
業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャイム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

## ○ AUX の設定

AUX 入力に接続した機器からの放送をするかどうかの設定をします。

業務用リモコン RM-200F の EXTERNAL MIC IN 端子を AUX 入力として使用する場合に設定します。

業務用リモコンが RM-200FW のときは、「使用しない」固定になるので、設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

使用する : AUX 入力に接続した機器からの放送ができます。

使用しない : AUX 入力に接続した機器からの放送はできません。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メ モ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「AUX」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、「使用する」または「使用しない」を選択する。

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用しない

### 1-3-4-1 業務RM動作設定

業務RM番号	1
PTT/LOCK	LOCK
タイムアウト	連続
チャム音量	-6dB
待ち時間	0秒
AUX	使用する

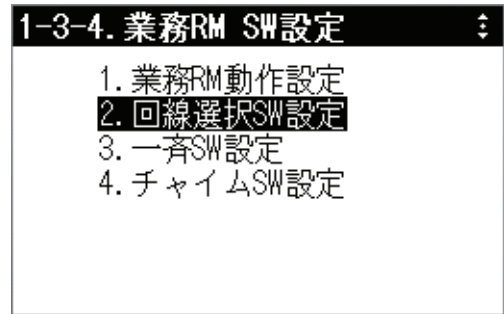
## ◎ 回線選択キーの設定 (1-3-4-2)

業務用リモコンの各回線選択キーについて、用途や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線を設定します。設定項目は以下のとおりです。

- 用途 : 回線選択キーの用途を設定します。
- 業務緊急 : 通常放送／業務緊急モードを選択します。
- 出力回線 : 出力をする回線について個別／グループを選択します。
- 回線番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。

[回線選択 SW 設定の開始のしかた]

**1** 業務 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 回線選択 SW 設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。

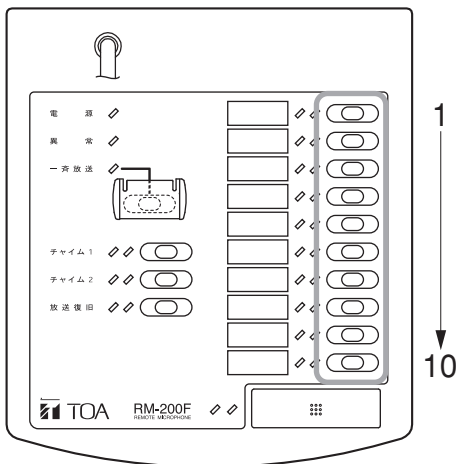
業務 RM 回線選択 SW 設定画面が表示されます。

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

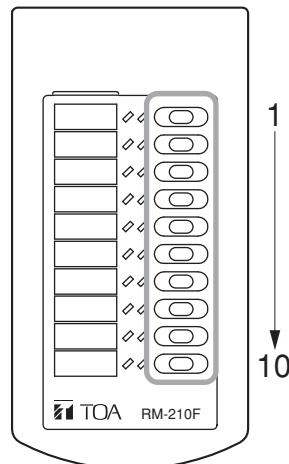
メモ

回線選択キーの番号 (SW 番号) は下図のとおりです。

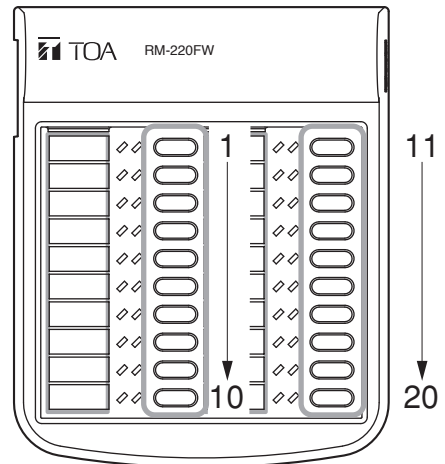
RM-200F



RM-210F



RM-220FW



## ○ 回線選択キーの用途の設定

回線選択キーの用途を業務／未使用のどちらかに設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

業務：回線選択キーを業務放送用途で使用します。

未使用：回線選択キーを使用しません。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 回線選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メ モ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して回線選択キーの番号を選択する。

- 3 上下シフトキーで「用途」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、回線選択キーの用途を「業務」または「未使用」に設定する。

1-3-4-2 業務RM回線選択SW ◀▶

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

1-3-4-2 業務RM回線選択SW ◀▶

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

1-3-4-2 業務RM回線選択SW ◀▶

業務RM番号	1	
SW	1	2
用途	4	5
業務緊急	7	8
出力	←	0
回線	確	

1-3-4-2 業務RM回線選択SW ◀▶

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

## ○ 回線選択キーの通常放送／業務緊急モードの設定

回線選択キーの用途を「業務」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。用途を「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

業務緊急無し：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

業務緊急有り：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 回線選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メ モ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して回線選択キーの番号を選択する。

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

- 3 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して回線選択キーの業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

## ○ 回線選択キーの出力回線の個別／グループ設定

回線選択キーの回線登録を個別／グループのどちらかに設定します。  
用途を「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。  
設定項目は以下のとおりです。

個別 : 回線選択キーについて、スピーカー回線を1つ登録します。  
グループ : 回線選択キーについて、回線グループを登録します。

回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。( P. 28)

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 回線選択 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メモ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

- 2 上下シフトキーで「SW 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して回線選択キーの番号を選択する。

- 3 上下シフトキーで「出力回線」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して回線選択キーの回線登録を「個別」または「グループ」に設定する。

1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

## ○ 回線選択キーの回線番号の設定

回線選択キーに回線番号または回線グループ番号を設定します。

出力回線を「個別」に設定したときは、スピーカー回線番号を1つ設定します。

出力回線を「グループ」に設定したときは、回線グループ設定（1-3-1）で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

用途を「未使用」に設定したときは、この設定は不要です。

回線番号は1番～160番、回線グループ番号は1番～100番のいずれかに設定します。

[設定のしかた]

- 1 業務RM回線選択SW設定画面で、上下シフトキーを押して「業務RM番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務RM番号を選択する。

メモ

業務RM番号は業務用リモコンのDIPスイッチで設定されています。

### 1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

- 2 上下シフトキーで「SW番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して回線選択キーの番号を選択する。

### 1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

### 1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

- 3 上下シフトキーで「回線番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは、数字キーを押して回線選択キーの回線番号または、回線グループ番号を設定する。

### 1-3-4-2 業務RM回線選択SW

業務RM番号	1
SW番号	1
用途	業務
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

メモ

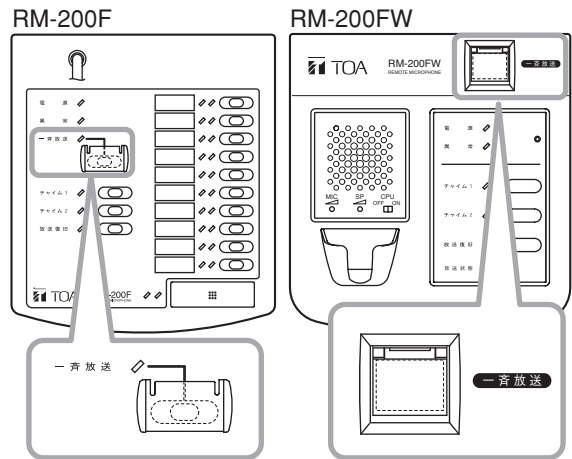
- 設定可能な回線番号は各出力のジャンクションパネルの局数によって決まります。
- 各出力のジャンクションパネルにFS-2110JPが含まれている場合、その直後10個の回線番号は割り当てられず、空き番号になります。



## ◎ 一斉放送キーの設定 (1-3-4-3)

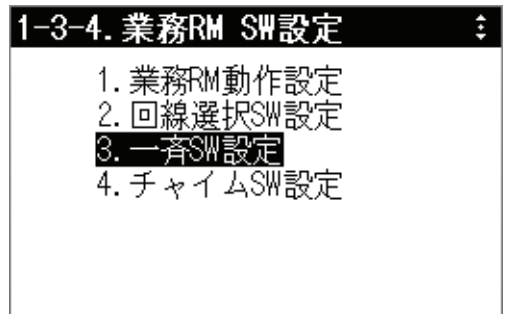
業務用リモコンの一斉放送キーについて、通常放送／業務緊急モードの選択、回線グループ番号を設定します。設定項目は以下のとおりです。

業務緊急：通常放送／業務緊急モードを選択します。  
回線グループ：回線グループ番号を登録します。



[一斉 SW 設定の開始のしかた]

**1** 業務 RM パネル SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 一斉 SW 設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
業務 RM 一斉 SW 設定画面が表示されます。



## ○ 一斉放送キーの通常放送／業務緊急モードの設定

一斉放送キーについて、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。

設定項目は以下のとおりです。

業務緊急無し：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

業務緊急有り：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。



[設定のしかた]

- 1 業務 RM 一斉 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メモ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

1-3-4-3 業務RM一斉SW設定	
業務RM番号	1
業務緊急	無し
回線グループ	100

- 2 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して一斉放送キーの業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

1-3-4-3 業務RM一斉SW設定	
業務RM番号	1
業務緊急	無し
回線グループ	100

### ○ 一斉放送キーの回線グループの設定

一斉放送キーに、回線グループ設定（1-3-1）で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。回線グループ番号は1番～100番のいずれかに設定します。

[設定のしかた]

- 1 業務 RM 一斉 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

メモ

業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。

1-3-4-3 業務RM一斉SW設定	
業務RM番号	1
業務緊急	無し
回線グループ	100

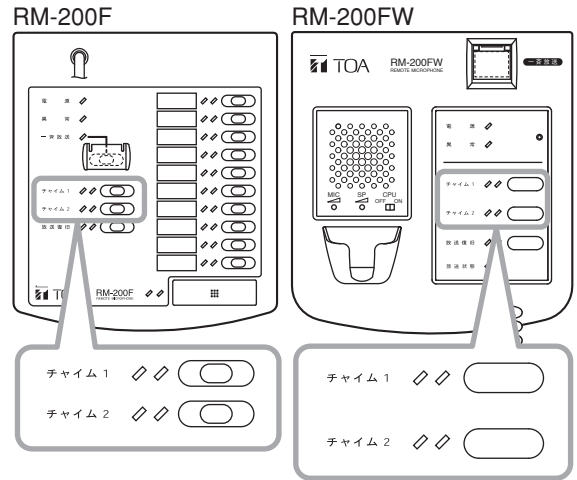
- 2 上下シフトキーで「回線グループ」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して一斉放送キーの回線グループ番号を選択する。

1-3-4-3 業務RM一斉SW設定	
業務RM番号	1
業務緊急	無し
回線グループ	100

## ◎ チャイムキーの設定 (1-3-4-4)

業務用リモコンのチャイムキー1または、チャイムキー2について、キーを押したときに鳴る音源を設定します。チャイムの音源は以下のとおりです。

- チャイム1：上り4音
- チャイム2：下り4音
- チャイム3：2音
- チャイム4：ゴング



[チャイムキー設定の開始のしかた]

- 1** 業務 RM SW 設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. チャイム SW 設定」を選択する。
- 2** 確定キーを押す。  
業務 RM チャイム SW 設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

- 1** 業務 RM チャイム SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「業務 RM 番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。  
メモ  
業務 RM 番号は業務用リモコンの DIP スイッチで設定されています。



- 2** 上下シフトキーで「チャイム1」または「チャイム2」にカーソルを合わせる。
- 3** 左右シフトキーでチャイム音源を選択する。



## ● 緊急放送スイッチの設定 (1-3-5)

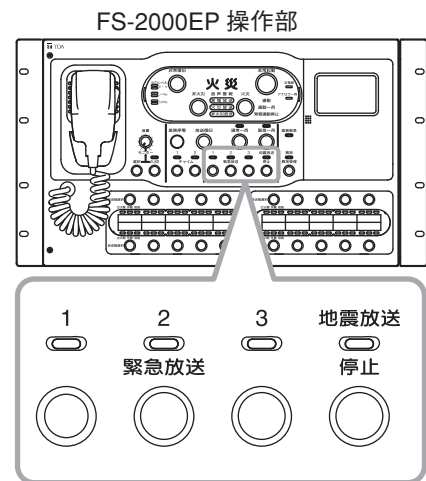
機器制御設定メニュー画面で「5. 緊急放送 SW 設定」を選択し、FS-2000 本体および非常用リモコンの緊急放送スイッチ 1～3 の設定をします。

また、本システムから緊急地震放送を行わないときは、地震放送停止スイッチを緊急放送スイッチ 4 として使用することができます。緊急地震放送を行わないときは、緊急地震放送停止スイッチに緊急放送スイッチ 4 用ラベルを取り付けてください。

( P. 128 「緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け」)

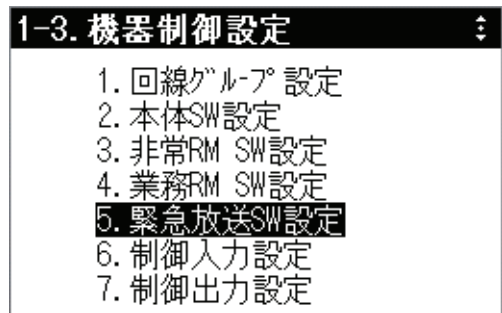
設定項目は以下のとおりです。

- 用途 : 緊急放送スイッチの用途を設定します。
- 音源 : 緊急メッセージを設定します。
- 業務緊急 : 通常放送／業務緊急モードを選択します。
- 出力回線 : 出力をする回線について個別／グループを選択します。
- 回線番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。



[緊急放送 SW 設定の開始のしかた]

**1** 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 緊急放送 SW 設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
緊急放送 SW 設定画面が表示されます。



## ◎ 緊急放送スイッチの用途の設定

FS-2000 本体および非常用リモコンの緊急放送スイッチ 1～3 の用途を、緊急放送／未使用のどちらかに設定します。また、地震放送停止スイッチ（緊急放送スイッチ 4）の用途を地震停止／緊急放送／未使用のいずれかに設定します。

設定項目は以下のとおりです。

緊急放送：緊急放送スイッチとして使用します。

地震停止：緊急地震放送を停止するスイッチとして使用します。4 番のスイッチのみこの設定を選択できます。

未使用：緊急放送スイッチを使用しません。

### ご注意

緊急地震放送を行う場合は、緊急放送スイッチ 4 の用途は必ず「地震停止」にしてください。

緊急地震放送を行わない場合は「地震停止」以外に設定してください。

用途を「地震停止」に設定すると、1-3-6 の緊急地震放送接点入力端子の設定は、自動的に「緊急地震放送」用途になります。（☞ P. 64 「制御入力の設定（1-3-6）」）

### [設定のしかた]

- 1 緊急放送 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「緊急放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで緊急放送スイッチの番号を選択する。

※ 4 番は地震放送停止スイッチを表します。

緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「用途」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して緊急放送スイッチの用途を選択する。

緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

## ◎ 緊急放送スイッチの音源の設定

緊急放送スイッチの用途を「緊急放送」に設定したときは、スイッチを押したときに流れる緊急メッセージを登録します。用途を地震停止／未使用に設定したときは、この設定は不要です。  
工場出荷時の緊急メッセージの種類は下表「工場出荷時の緊急メッセージ一覧」の10種類です。

[設定のしかた]

- 1 緊急放送 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「緊急放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで緊急放送スイッチの番号を選択する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「音源」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して緊急メッセージ番号（下表参照）を設定する。

メ モ

「音源」にカーソルを合わせ、確定キーを押すと、内蔵音源を試聴できます。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

[確定]  
再生

[工場出荷時の緊急メッセージ一覧]

番号	名称	内容
1	チャイム	ウエストミンスターの鐘
2	火災訓練 [男声]	訓練放送です。【第1シグナル】火事です、火事です、火災が発生しました。落ち着いて避難してください。【第2シグナル】
3	地震訓練 [男声]	訓練放送です。【NHKチャイム音】地震です。落ち着いて身を守ってください。(2回繰り返し)
4	防犯(学校) [男声]	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。
5	放課後(学校) [女声]	まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付けをして早く帰りましょう。
6	防犯(一般) [男声]	【防犯警報音】緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってください。
7	蛍の光	蛍の光
8	開店(店舗) [女声]	本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許しになる限り、どうぞゆっくりお買い物をお楽しみください。
9	閉店(店舗) [女声]	本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越しを従業員一同、こころよりお待ち申し上げます。
10	省エネ(一般) [女声]	リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょう。また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。

## ◎ 緊急放送スイッチの通常放送／業務緊急モードの設定

緊急放送スイッチの用途を「緊急放送」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。用途を地震停止／未使用に設定したときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

業務緊急無し：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

業務緊急有り：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

[設定のしかた]

- 1 緊急放送 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「緊急放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで緊急放送スイッチの番号を選択する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して緊急放送スイッチの業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

## ◎ 緊急放送スイッチの出力回線の個別／グループ設定

緊急放送スイッチの用途を「緊急放送」に設定したとき、回線登録を個別／グループのどちらかに設定します。用途を地震停止／未使用に設定したときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

個別：緊急放送スイッチについて、いずれか1つのスピーカー回線を登録します。

グループ：緊急放送スイッチについて、回線グループを登録します。

回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定（1-3-1）で行います。（P. 28）

[設定のしかた]

- 1 緊急放送 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「緊急放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して緊急放送スイッチの番号を選択する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「出力回線」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで緊急放送スイッチの回線登録を個別／グループのどちらかを選択する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

### ○ 緊急放送スイッチの回線番号の設定

緊急放送スイッチの用途を「緊急放送」に設定したときは、回線番号または回線グループ番号を設定します。出力回線を「個別」に設定したときは、スピーカー回線番号を1つ設定します。

出力回線を「グループ」に設定したときは、回線グループ設定（1-3-1）で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

回線番号は1番～160番、回線グループ番号は1番～100番のいずれかに設定します。

用途を「地震停止」または「未使用」に設定した場合は、この設定は不要です。

[設定のしかた]

- 1 緊急放送 SW 設定画面で、上下シフトキーを押して「緊急放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して緊急放送スイッチの番号を選択する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「回線番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して緊急放送スイッチの回線番号または、回線グループ番号を設定する。

1-3-5 緊急放送SW設定	
緊急放送	1
用途	緊急放送
音源	1
業務緊急	有り
出力回線	グループ
回線番号	100

メモ

- 設定可能な回線番号は各出力のジャンクションパネルの局数によって決まります。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれている場合、その直後 10 個の回線番号は割り当てられず、空き番号になります。



## ● 制御入力の設定 (1-3-6)

機器制御設定メニュー画面で「6. 制御入力設定」を選択し、FS-2000EP 端子部の制御入力端子 (1～10)、接点式 RM 接続端子 (1～10、一斉、チャイム1～2)、緊急地震放送接点入力端子、電話ページング接点入力端子、タイマー接点入力端子、外部マイク接点入力端子の設定をします。  
設定項目は以下のとおりです。

機能 : 放送の種類を設定します。

番号 : 設定された機能に応じたチャイム音の番号や緊急放送スイッチの番号などを指定します。  
( P. 67 「制御入力の機能の詳細設定」)

業務緊急 : 通常放送／業務緊急モードを設定します。

出力回線 : 出力をする回線について個別／グループを設定します。

回線番号 : 回線番号または、回線グループの番号を設定します。

[制御入力設定の開始のしかた]

- 1 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「6. 制御入力設定」を選択する。

**1-3. 機器制御設定**

1. 回線グループ設定
2. 本体SW設定
3. 非常RM SW設定
4. 業務RM SW設定
5. 緊急放送SW設定
- 6. 制御入力設定**
7. 制御出力設定

- 2 確定キーを押す。

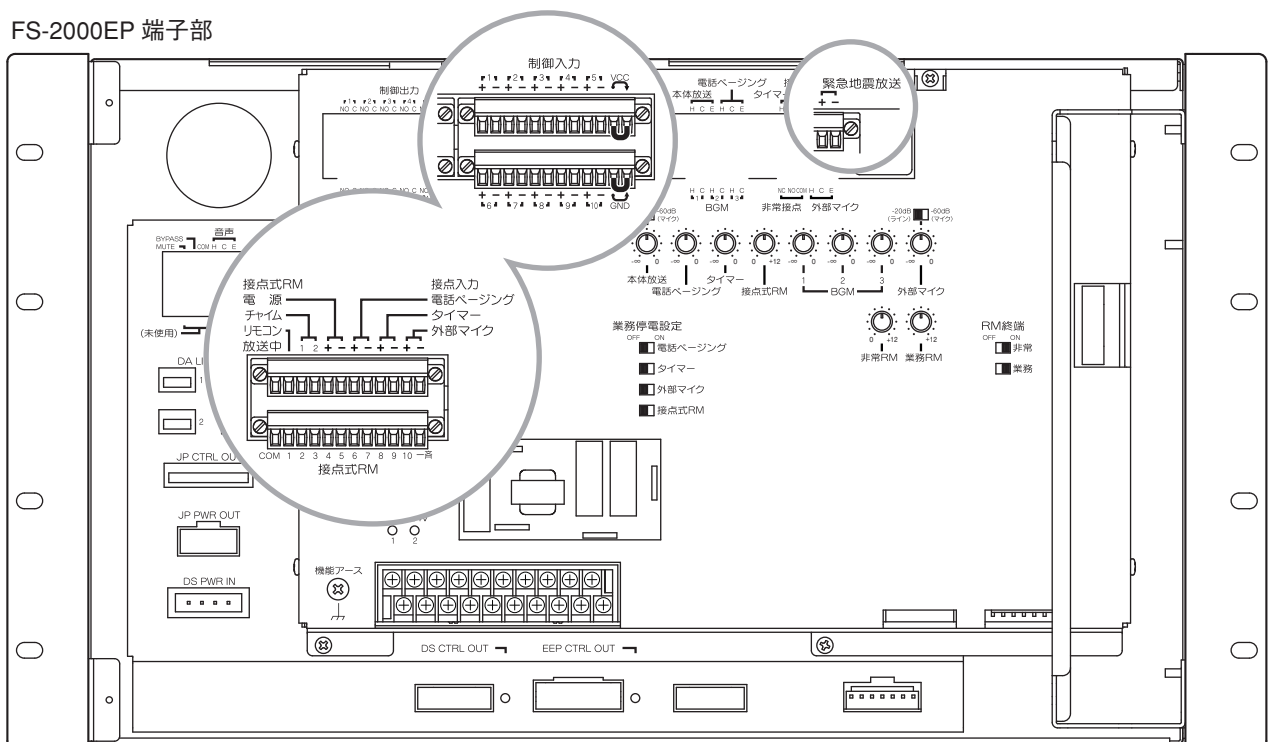
制御入力設定画面が表示されます。

**1-3-6 制御入力設定**

接点番号	制御入力1
機能	未使用
番号	----
業務緊急	----
出力回線	----
回線番号	----

[設定する制御入力端子]

FS-2000EP 端子部





## ◎ 制御入力機能の設定

端子メイク時にいずれの音源を使用して放送するか、放送の種類を設定します。端子を放送に使用しないときは「未使用」に設定します。

ここで設定した各放送の優先度設定は「優先度設定 (1-5-2)」で行います。( P. 92)

設定項目は以下のとおりです。

- 電話ページング放送：電話ページング音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- タイマー放送：タイマー音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- 接点式 RM 放送：接点式 RM 音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- 接点式 RM チャイム：内蔵のチャイム音源を放送します。接点式 RM チャイム端子 (1、2) のみ設定可能です。
- 外部マイク放送：外部マイク音声入力端子に入力されている音源を放送します。
- BGM 放送：BGM 音声入力端子 (1～3) に入力されている音源を放送します。
- ローカル放送：パワーアンプのローカル入力端子に入力されている音源を放送します。
- 緊急地震放送：緊急地震放送を行います。緊急地震放送接点入力端子のみ設定可能です。
- 緊急放送：緊急放送を行います。この端子をメイクすると、対応する緊急放送スイッチの設定に従って放送を行います。
- 緊急放送停止：放送中の緊急放送を停止します。この端子に対応する緊急放送スイッチでの放送中にメイクすると、その放送を停止します。
- 未使用：放送しません。

### [制御入力端子と端子に割り当てられる機能の一覧]

機能 制御入力端子	電話ページング放送	タイマー放送	接点式 RM 放送	接点式 RM チャイム	外部マイク放送	BGM 放送	ローカル放送	緊急地震放送	緊急放送	緊急放送停止	未使用
制御入力 1～10	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
接点式 RM1～10	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
接点式 RM 一斉	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
接点式 RM チャイム 1、2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
緊急地震入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
電話ページング入力	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
タイマー入力	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
外部マイク入力	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○

### ご注意

緊急地震放送を行う場合は、必ず緊急地震入力の設定を「緊急地震放送」にしてください。緊急地震放送を行わない場合は「未使用」に設定してください。

機能を「緊急地震放送」に設定すると、1-3-5の緊急放送スイッチ4の設定は、自動的に「地震停止」用途になります。( P. 60「緊急放送スイッチの用途の設定」)

### [設定のしかた]

- 1 制御入力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	未使用
番号	----
業務緊急	----
出力回線	----
回線番号	----

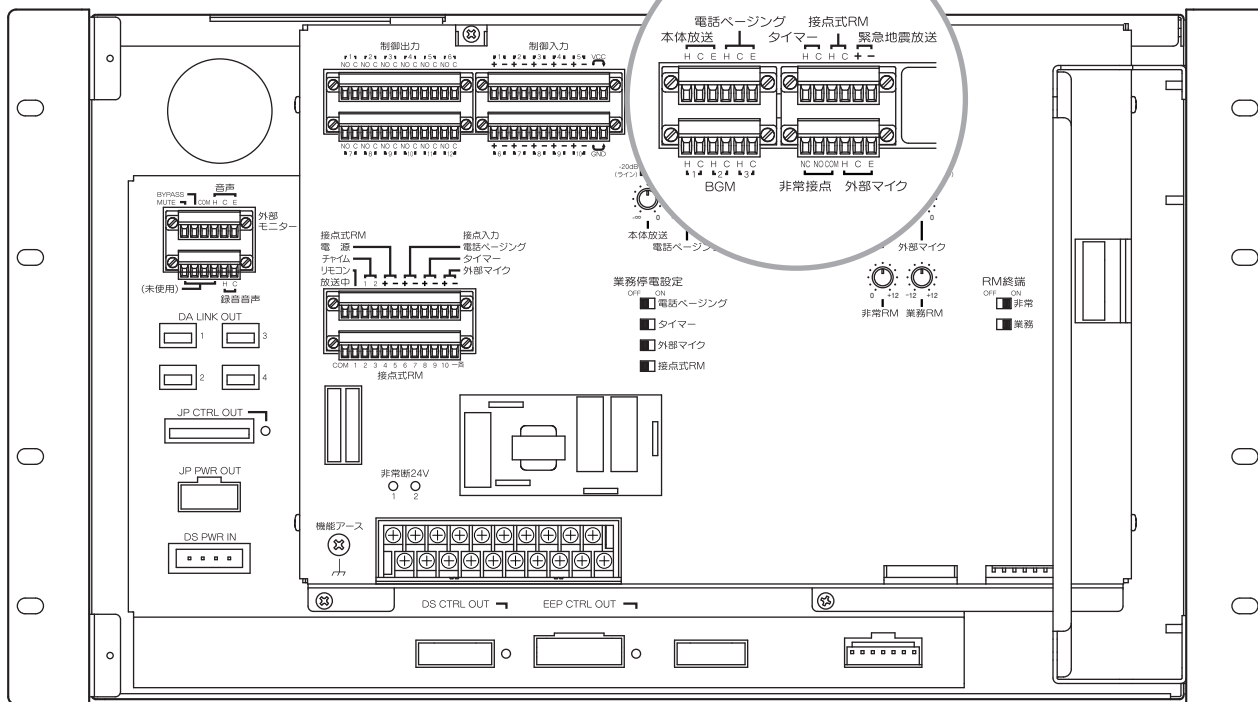
2 上下シフトキーで「機能」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して端子の放送種類を選択する。

1-3-6 制御入力設定

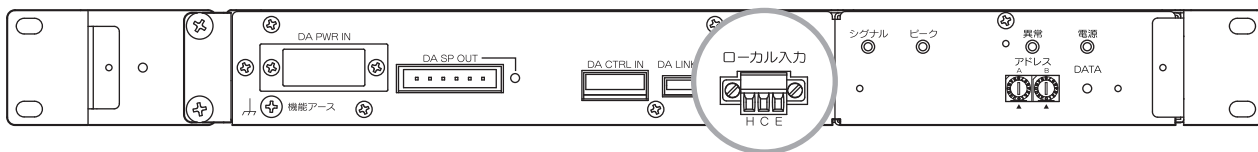
接点番号	制御入力1
機能	電話ページング放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

[各音声入力端子とローカル入力端子]

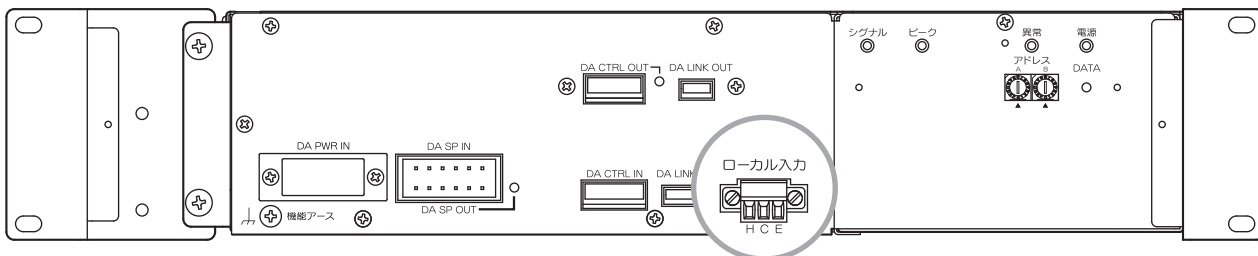
FS-2000EP 端子部



FS-2109DA/2118DA 端子部



FS-2136DA 端子部



## ◎ 制御入力機能の詳細設定

制御入力機能を接点式 RM チャイム、ローカル放送、緊急地震放送、緊急放送、緊急放送停止に設定した端子について、機能の詳細を「番号」によって設定します。上記以外の設定をした端子については、この設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

※ 機能によって設定する内容が異なります。

・機能を「接点式 RM チャイム」に設定したとき

チャイム音源を選択します。

1. 上り 4 音
2. 下り 4 音
3. 2 音
4. ゴング

・機能を「ローカル放送」に設定したとき

ローカル放送を出力する出力系統を選択します。

1. 出力 1
2. 出力 2
3. 出力 3
4. 出力 4

・機能を「緊急地震放送」に設定したとき

放送するチャイム音を選択します。

1. NHK チャイム音
2. REIC チャイム音

### 緊急地震放送のシグナル音に関する基準

緊急地震放送のシグナル音は、原則として、日本放送協会が作成した報知音（NHK チャイム音）を使用してください。

ただし、NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」\*1 に整合している場合の使用に限定されるため、「緊急地震速報（警報）」\*1 に整合していない場合や、騒音などで NHK チャイム音では聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）が作成したサイン音を使用してください。

#### ご注意

- 緊急地震放送の NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」\*1 または、予測される震度 5 弱以上の「緊急地震速報（業）」\*2 の場合以外は使用禁止です。
- NHK チャイム音の著作権は、日本放送協会に属します。
- REIC サイン音の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会に属します。

\*1 最大震度 5 弱以上と予想した場合に、予想した震度が 4 以上の地域に対して気象庁が発表します。気象業務法に基づき、気象庁のみが発表します。

\*2 許可事業者が提供する緊急地震速報。予報内容についての責任は、当該許可事業者が負います。

・機能を「緊急放送」、「緊急放送停止」に設定したとき

対応する緊急放送スイッチの番号を設定します。

#### ご注意

- 用途が「地震放送停止」または「未使用」に設定されている緊急放送スイッチの番号は設定できません。
- 業務停電放送として制御入力から緊急放送を行う場合は、業務停電放送を起動可能な制御入力に機能を割り当てる必要があります。（別冊の設置説明書「業務停電放送を行うときの接続と設定」）

[設定のしかた]

- 1 制御入力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	緊急地震入力
機能	緊急地震放送
番号	1
業務緊急	----
出力回線	グループ
回線番号	100

- 2 上下シフトキーで「番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して端子の詳細を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	緊急地震入力
機能	緊急地震放送
番号	1
業務緊急	----
出力回線	グループ
回線番号	100

### ◎ 制御入力による放送の通常放送／業務緊急モードの設定

制御入力の機能を電話ページング放送、タイマー放送、接点式 RM 放送、外部マイク放送、ローカル放送に設定した端子について、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定します。

上記以外の機能に設定したときは、モードの設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

業務緊急無し：通常放送モードで放送します。通常放送モードでは、アッテネーターによる音量の調節が可能です。

業務緊急有り：業務緊急モードで放送します。業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。

※ BGM 放送および接点式 RM チャイムに設定したときは通常放送モード、緊急地震放送に設定したときは業務緊急モードに固定されます。

[設定のしかた]

- 1 制御入力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話ページング放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

- 2 上下シフトキーで「業務緊急」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、端子の業務緊急を「無し」または「有り」に設定する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話ページング放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

## ◎ 制御入力による放送の出力回線の個別／グループ設定

制御入力の機能を接点式 RM チャイム、未使用以外に設定した端子について、回線登録を個別／グループのどちらかに設定します。

機能を接点式 RM チャイムまたは未使用に設定したときはこの設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

個別 : 端子メイク時の放送について、スピーカー回線を 1 つ登録します。

グループ : 端子メイク時の放送について、回線グループを登録します。

回線グループへのスピーカー回線の登録は、回線グループ設定 (1-3-1) で行います。( P. 28)

[設定のしかた]

- 1 制御入力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話 <sup>α</sup> -ジーンガ”放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

- 2 上下シフトキーで「出力回線」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、端子の回線登録を「個別」または「グループ」に設定する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話 <sup>α</sup> -ジーンガ”放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

## ◎ 制御入力による放送の回線番号の設定

制御入力の機能を接点式 RM チャイム、未使用以外に設定した端子について、回線番号または回線グループ番号を設定します。機能を接点式 RM チャイムまたは未使用に設定したときはこの設定は不要です。

出力回線を「個別」に設定したときは、スピーカー回線番号を1つ設定します。

出力回線を「グループ」に設定したときは、回線グループ設定（1-3-1）で登録した回線グループ番号のいずれかを割り当てます。

回線番号は1番～160番、回線グループ番号は1番～100番のいずれかに設定します。

[設定のしかた]

**1** 制御入力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話 <sup>h</sup> -ジーンク <sup>g</sup> 放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

**2** 上下シフトキーで「回線番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して端子の回線番号または、回線グループ番号を設定する。

1-3-6 制御入力設定	
接点番号	制御入力1
機能	電話 <sup>h</sup> -ジーンク <sup>g</sup> 放送
番号	----
業務緊急	無し
出力回線	個別
回線番号	1

メモ

- 設定可能な回線番号は各出力のジャンクションパネルの局数によって決まります。
- 各出力のジャンクションパネルに FS-2110JP が含まれている場合、その直後 10 個の回線番号は割り当てられず、空き番号になります。

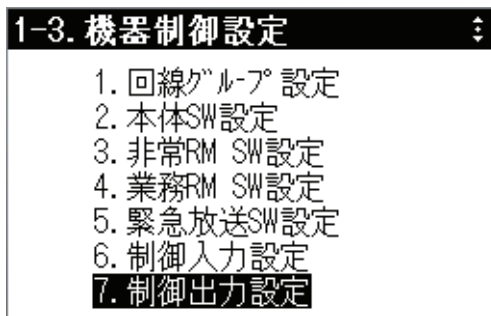
## ● 制御出力の設定 (1-3-7)

機器制御設定メニュー画面で「7. 制御出力設定」を選択し、FS-2000EP 端子部の制御出力端子（1～12）の設定をします。  
設定項目は以下のとおりです。

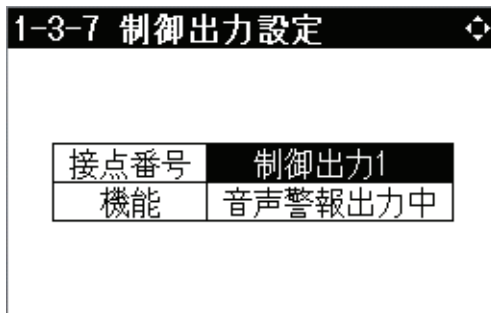
機能：FS-2000 システムがどの状態にあるときに制御出力をメイクするかを設定します。

[制御出力設定の開始のしかた]

- 1 機器制御設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「7. 制御出力設定」を選択する。

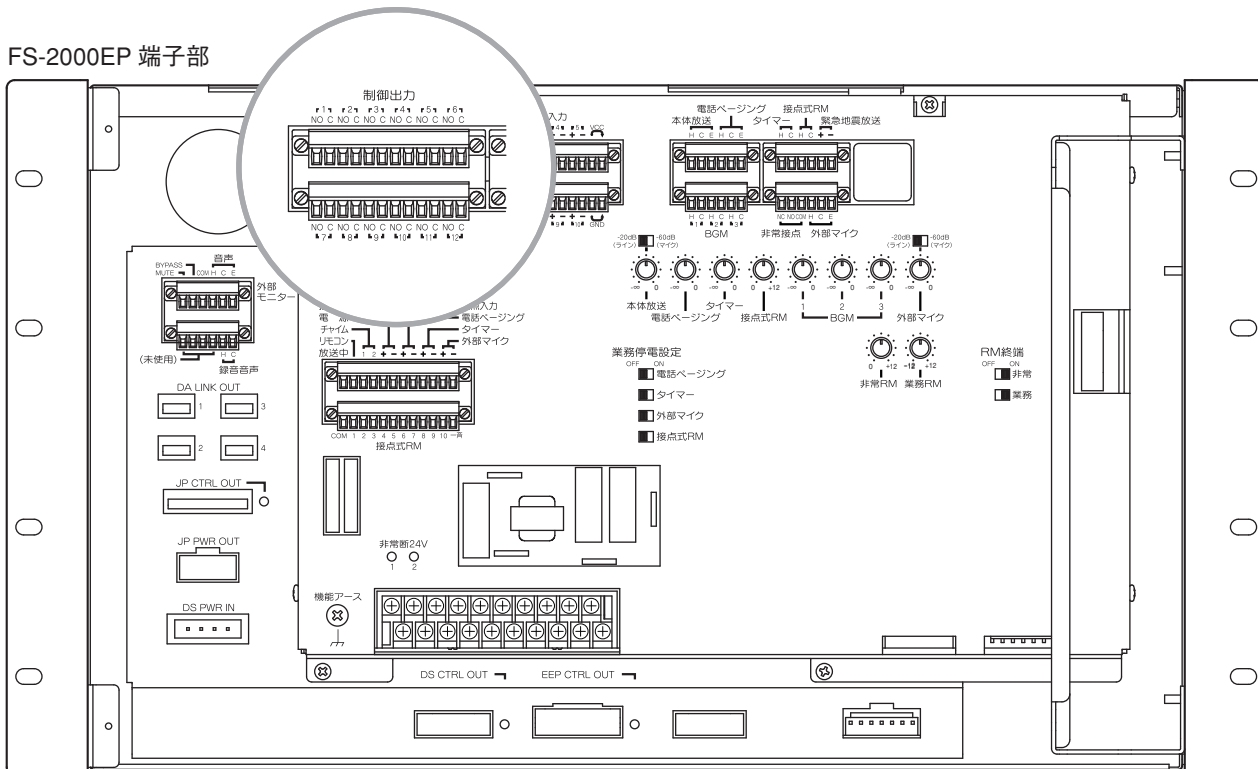


- 2 確定キーを押す。  
制御出力設定画面が表示されます。



[設定する制御出力端子]

FS-2000EP 端子部





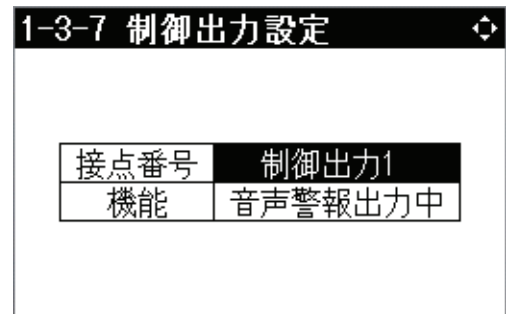
## ◎ 制御出力の機能の設定

FS-2000 システムの動作状態に応じて、各制御出力端子をメイクさせることができます。  
端子を使用しない場合は「未使用」に設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

- 音声警報出力中 : 発報放送など音声警報が出力されているとき。(マイク放送後および放送復旧後再選択した場合の第2シグナル時は出力しません。)
- 発報放送中 : 発報放送中やその前後など、発報放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 火災放送中 : 火災放送中やその前後など、火災放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 非火災放送中 : 非火災放送中やその後など、非火災放送表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 火災一斉移行 : 第2タイマー「ON」時、火災放送が一斉火災放送に移行してから復旧するまでの間。
- 非常マイク放送中 : 非常放送中のフロントマイクによるマイク放送が行われているとき。
- 緊急地震放送中 : 緊急地震速報を受信して放送がされているとき。
- 業務放送中 : いずれかの機器から業務放送が行われているとき。
- 業務緊急放送中 : いずれかの機器から業務緊急放送が行われているとき。
- 保守点検中 : メンテナンスモードやシステム動作確認モードにあるとき。
- 異常発生中 : 何らかの異常が発生し、異常表示灯が点灯あるいは点滅しているとき。
- 未使用 : 出力しません。

[設定のしかた]

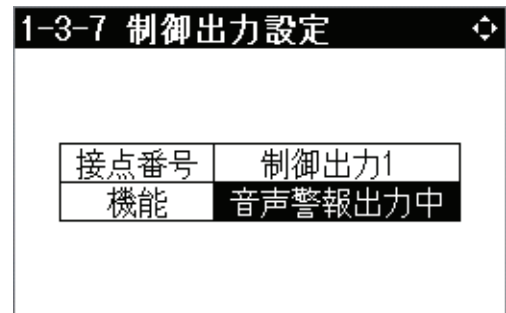
- 1 制御出力設定画面で、上下シフトキーを押して「接点番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで端子を選択する。



- 2 上下シフトキーで「機能」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して端子がメイクする状態を選択する。

### ご注意

制御出力端子 12 は他の端子と異なり、アナログ一斉放送時に強制的にメイクする仕様になっています。他の機能に設定できますが、アナログ一斉放送時にもメイクします。





## ■ 非常放送設定 (1-4)

非常放送設定では、非常放送の音声警報や非常タイマーなど、非常放送について設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

音声警報設定 : 発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。

非常タイマー設定 : 火災放送移行タイマー、一斉移行タイマーを設定します。

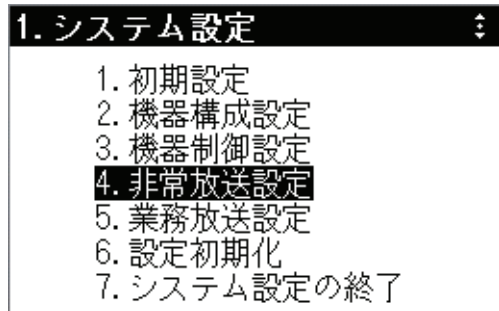
放送階選択方法設定 : 非常放送の放送階について選択方法を設定します。

階メッセージ設定 : ジャンクションパネルの階別信号入力端子について非常系統、階メッセージを設定します。

出火階連動系統設定 : 出火系統について連動系統を設定します。

[非常放送設定の開始のしかた]

- 1 システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 非常放送設定」を選択する。

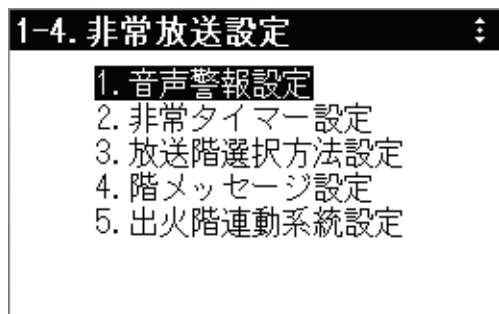


- 2 確定キーを押す。

非常放送設定メニュー画面が表示されます。

メモ

はじめて設定をするときは、「音声警報設定」から順に設定してください。



## ● 音声警報の設定 (1-4-1)

非常放送設定メニュー画面で「1. 音声警報設定」を選択し、発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

- 手動・発信機起動 : 発信機や非常電話、手動で非常放送を起動したときの音声警報放送を設定します。
- 感知器発報 : 感知器起動時の感知器発報放送を「連動」または「連動停止」のどちらかに設定します。
- 発報放送回数 : 感知器発報放送の繰り返し回数を設定します。
- 発報放送繰返し設定 : 感知器発報放送の繰返し方法を設定します。
- 発報放送間隔 : 感知器発報放送を連続で出力する時の間隔を設定します。
- 警報言語 : 音声警報放送を行う言語を設定します。日本語に加えて、任意の言語を選択でき、最大4言語の音声警報メッセージを放送することができます。

### ご注意

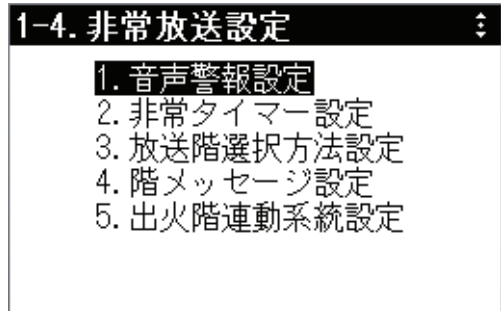
警報言語について、工場出荷時は日本語と英語の音源のみ搭載されています。第2、第3外国語を設定するときは、設定支援ソフトウェアによる音源の追加が必要です。

### メモ

手動・発信機起動を「火災」、感知器発報を「連動停止」に設定した場合は、発報放送回数／繰返し／間隔の設定は不要です。

[音声警報設定の開始のしかた]

- 1 非常放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 音声警報設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。

音声警報設定画面が表示されます。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

## ◎ 手動起動、発信機起動時の音声警報の設定

手動起動または、非常電話・発信機起動のとき、感知器発報放送をするかどうかを設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

発報：起動時に、感知器発報放送をします。（「発報」モード）

非常電話や発信機での起動のときは、感知器発報放送に続いて火災放送をします。

火災：起動がかかると、感知器発報放送なしに、すぐに火災放送をします。（「火災」モード）

[設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「手動・発信機起動」を選択する。

**2** 左右シフトキーでモードを「発報」または「火災」に設定する。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

### ◎ 感知器起動時の感知器発報放送連動の設定

自火報感知器が起動したときに、感知器発報放送をするかどうかを設定します。設定項目は以下のとおりです。

連動 : 感知器での起動時に、感知器発報放送をします。(「発報連動」モード)

連動停止 : 感知器での起動時に、感知器発報放送をしません。(「発報連動停止」モード)

操作する人に対して、FS-2000EP と非常用リモコンのモニタースピーカーから「火災音信号」と現場の確認と操作を指示する「音声メッセージ」が出ます。

[設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「感知器発報」を選択する。

**2** 左右シフトキーを押して、モードを「連動」または「連動停止」に設定する。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

### ◎ 発報放送の繰返し回数の設定

感知器発報放送を連続で繰返す回数を設定します。(繰返す回数は、2回～5回の間で設定可能です。)

[設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「発報放送回数」を選択する。

**2** 左右シフトキーで繰返す回数を選択する。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

## ◎ 発報放送の繰り返し方法の設定

感知器発報放送を繰り返して放送するかどうかを設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

- 無し : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送します。
- 繰返し : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと一定の間隔\*をおいて、再び繰り返します。ただし、フロントマイクによる放送や放送復旧のあとは、発報放送は繰り返し放送されません。
- 継続 : 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと一定の間隔\*をおいて、再び繰り返します。フロントマイクによる放送や放送復旧のあとも繰り返し放送されます。

\* 発報放送の間隔は「発報放送間隔」(次項)で設定します。

[設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「発報放送繰返し設定」を選択する。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

**2** 左右シフトキーで繰り返し方法を選択する。

## ◎ 発報放送の繰り返し間隔の設定

発報放送繰返し設定を「繰返し」または「継続」に設定したときに、繰り返しの間隔を設定します。  
(繰り返しの間隔は、0秒～5分59秒の間で設定可能です。)  
発報放送繰返し設定を「無し」に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「発報放送間隔」を選択し、確定キーを押す。

1-4-1 音声警報設定	
手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰返し設定	繰返し
発報放送間隔	2分00秒
警報言語	日本語

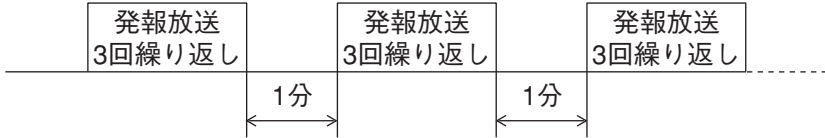
**2** 数字キーで時間を入力し、確定キーを押す。

1-4-1 音声警報設定		
手動・発報	2:00	発報
感知器発報	1 2 3	連動
発報放送	4 5 6	2回
発報放送	7 8 9	繰返し
発報放送	← 0 →	2分00秒
警報言語		日本語

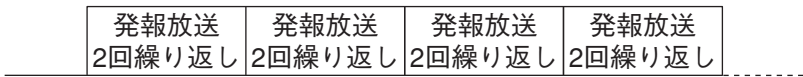
### [設定例]

発報放送の繰り返し方法を「繰り返し」または「継続」に設定したときは、繰り返し回数や繰り返し間隔の設定により次のように放送されます。

- (1) 発報放送 3 回を 1 分間隔で放送するとき
- ・ 繰り返し回数を 3 回に設定します。
  - ・ 繰り返し間隔を 1 分に設定します。



- (2) 発報放送を繰り返し連続で放送するとき
- ・ 繰り返し回数を 2 回に設定します。
  - ・ 繰り返し間隔を 0 秒に設定します。



## ◎ 音声警報の言語の設定

音声警報放送をする言語を設定します。日本語に加えて、英語・中国語・韓国語も設定できます。

日本語 : 日本語で音声警報メッセージが流れます。

二ヶ国語 : 日本語・英語で音声警報メッセージが流れます。

三ヶ国語 : 日本語・英語・中国語で音声警報メッセージが流れます。

四ヶ国語 : 日本語・英語・中国語・韓国語で音声警報メッセージが流れます。

### ご注意

- 工場出荷時は「日本語」または「二ヶ国語」しか選択できません。  
「三ヶ国語」「四ヶ国語」に設定したいときは、設定支援ソフトウェアを使って音源を追加してください。  
音源を追加すると、「三ヶ国語」「四ヶ国語」も選択できるようになります。
- 英語以外の外国語によるメッセージを放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。

### [設定のしかた]

**1** 音声警報設定画面で、上下シフトキーを押して「警報言語」を選択する。

**2** 左右シフトキーで言語を選択する。

手動・発信機起動	発報
感知器発報	連動
発報放送回数	2回
発報放送繰り返し設定	無し
発報放送間隔	----
警報言語	日本語

## ● 非常タイマーの設定 (1-4-2)

非常放送設定メニュー画面で「2. 非常タイマー設定」を選択し、非常タイマーを設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

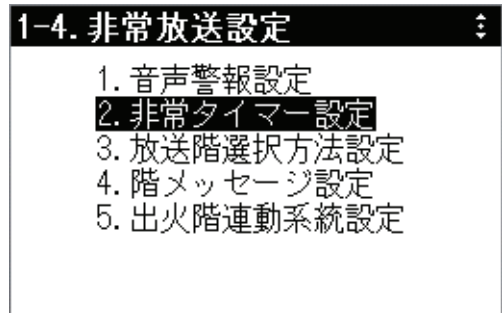
火災移行タイマー：感知器起動や手動で非常放送を起動したときに、発報放送開始または火災音信号鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるための火災放送移行タイマーの時間を設定します。

一斉移行：火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始するための一斉移行タイマー機能の有り/無しの設定をします。

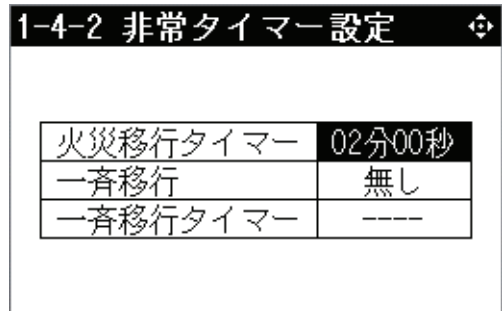
一斉移行タイマー：一斉移行タイマー機能「有り」のときのタイマーの時間を設定します。

[非常タイマー設定の開始のしかた]

**1** 非常放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 非常タイマー設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
非常タイマー設定画面が表示されます。



## ◎ 火災放送移行タイマーの時間の設定

発報放送の開始または火災音信号の鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるまでの火災放送移行タイマーの時間を設定します。

[設定のしかた]

- 1 非常タイマー設定画面で、上下シフトキーを押して「火災移行タイマー」を選択し、確定キーを押す。

1-4-2 非常タイマー設定	
火災移行タイマー	02分00秒
一斉移行	無し
一斉移行タイマー	----

- 2 数字キーで時間を入力し、確定キーを押す。  
1秒～99分59秒の間（1秒単位）で設定できます。



## ◎ 一斉移行タイマーの有り／無しの設定

火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始させるための一斉移行タイマー機能の有り／無しを設定します。

- 有り：一斉移行タイマーの機能を使用します。  
設定された時間\*の経過後に一斉の火災放送を開始します。
- 無し：一斉移行タイマーの機能を使用しません。  
自動的に一斉火災放送が開始することはありません。

\* 設定時間は「一斉移行タイマーの時間の設定」（次項）で設定します。

[設定のしかた]

- 1 非常タイマー設定画面で、上下シフトキーを押して「一斉移行」を選択する。

- 2 左右シフトキーで一斉移行タイマーを「有り」または「無し」に設定する。

1-4-2 非常タイマー設定	
火災移行タイマー	02分00秒
一斉移行	無し
一斉移行タイマー	----



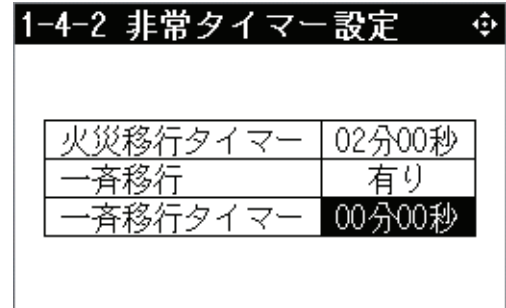
## ◎ 一斉移行タイマーの時間の設定

一斉移行タイマーの時間を設定します。

一斉移行の設定を「無し」に設定したときは、この設定は不要です。

[設定のしかた]

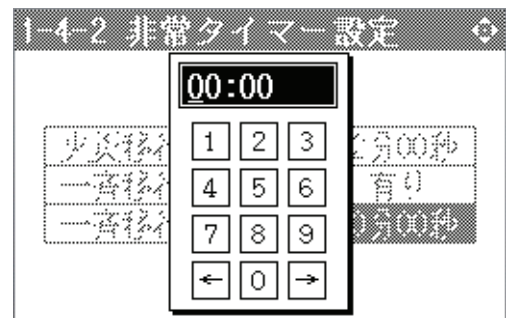
- 1 非常タイマー設定画面で、上下シフトキーを押して「一斉移行タイマー」を選択し、確定キーを押す。



- 2 数字キーで時間を入力し、確定キーを押す。

0秒～99分59秒の間（1秒単位）で設定できます。

0秒に設定したときは、火災放送の開始と同時に一斉放送になります。



## ● 放送階の選択方法の設定 (1-4-3)

非常放送設定メニュー画面で「3. 放送階選択方法設定」を選択し、非常放送が起動したときの放送階の選択のしかたを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

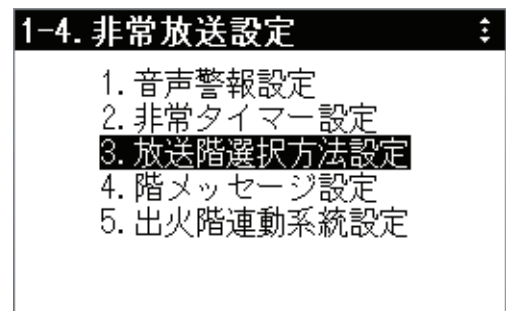
自火報階選択連動 : 自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに、非常放送をする階の選択のしかたを設定します。

手動階選択連動 : 手動で非常放送を起動したときに非常放送をする階の選択のしかたを設定します。

二度押し復旧 : 一度選択した放送階選択スイッチを再度押すことにより回線選択を解除できるようにするかどうかを設定します。

[放送階選択方法設定の開始のしかた]

- 1 非常放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 放送階選択方法設定」を選択する。





- 2** 確定キーを押す。  
放送階選択方法設定画面が表示されます。

1-4-3 放送階選択方法設定 ◀▶	
自火報階選択連動	連動
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

### ◎ 自火報階別信号による放送階の選択方法の設定

自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに非常放送をする階を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

連動：出火階（起動のあった階）と、その直上階などの連動階に放送されます。（「連動」モード）  
一斉：すべての階に放送されます。（「連動一斉」モード）

[設定のしかた]

- 1 放送階選択方法設定画面で、上下シフトキーを押して「自火報階選択連動」を選択する。
- 2 左右シフトキーで「連動」または「一斉」を選択する。

1-4-3 放送階選択方法設定 ◀▶	
自火報階選択連動	連動
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

### ◎ 手動による放送階の選択方法の設定

放送階選択スイッチを操作したときに非常放送をする階を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

階別：手動で選択した放送階のみに放送されます。  
連動：手動で選択した放送階と、その直上階などの連動階に放送されます。

[設定のしかた]

- 1 放送階選択方法設定画面で、上下シフトキーを押して「手動階選択連動」を選択する。
- 2 左右シフトキーで「階別」または「連動」を選択する。

1-4-3 放送階選択方法設定 ◀▶	
自火報階選択連動	連動
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

## ◎ 放送階選択スイッチの二度押しによる回線選択解除の設定

一度選択した放送階選択スイッチを再度押したときに、回線選択の解除を許可／禁止するかどうかを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

許可：二度押しによる回線選択の解除を許可します。

禁止：二度押しによる回線選択の解除を禁止します。(二度押ししたときのスイッチ操作は無効となります。)

[設定のしかた]

**1** 放送階選択方法設定画面で、上下シフトキーを押して「二度押し復旧」を選択する。

**2** 左右シフトキーを押して、「許可」または「禁止」を選択する。

### 1-4-3 放送階選択方法設定 ◀▶

自火報階選択連動	連動
手動階選択連動	階別
二度押し復旧	禁止

## ● 階メッセージの設定 (1-4-4)

非常放送設定メニュー画面で「4. 階メッセージ設定」を選択し、ジャンクションパネルの各階別信号入力端子に非常系統と階メッセージを設定します。階別信号入力端子がメイクしたときに、連動階を含んだスピーカー回線の選択を行い、階情報を含んだ音声警報が出力できるようにするためです。

階別信号入力端子がメイクされたときは、この非常系統番号をもとにして、スピーカー回線の選択を行います。

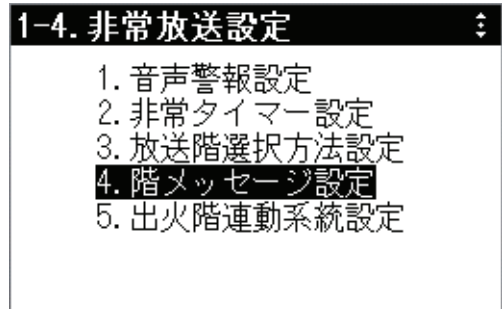
音声警報の階情報は、メイクされた階別信号入力端子に設定された階メッセージ番号により選択します。

非常系統番号は1番から160番、または未使用(----)のいずれかに設定します。

階メッセージ番号は1番から160番、または未使用(----)のいずれかに設定します。未使用に設定したときは、音声警報に階情報が含まれません。

[階メッセージ設定の開始のしかた]

**1** 非常放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 階メッセージ設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
階メッセージ設定画面が表示されます。

[設定のしかた]

**1** 階メッセージ設定画面で、上下シフトキーを押して「EL番号」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して設定するEL番号を選択する。

**ご注意**

「EL番号」は非常用ジャンクションパネルの階別信号入力端子の番号です。



**2** 上下シフトキーで「非常系統」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して非常系統番号を設定する。

**ご注意**

非常系統を未使用(----)にしたときは、設定した番号の階別信号入力端子をメイクしても出火階表示灯は点灯しません。



**3** 上下シフトキーで「階メッセージ」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーを押して階メッセージ番号を設定する。

※ 工場出荷時の階メッセージの一覧は次ページを参照してください。



[工場出荷時の階メッセージの設定]

番号	名称
1	地下1階
2	地下2階
3	地下3階
4	地下4階
5	地下5階
6	1階
7	2階
8	3階
9	4階
10	5階
11	6階
12	7階
13	8階
14	9階
15	10階
16	11階
17	12階
18	13階
19	14階
20	15階
21	16階
22	17階
23	18階
24	19階
25	20階
26	21階
27	22階
28	23階
29	24階
30	25階

番号	名称
31	26階
32	27階
33	28階
34	29階
35	30階
36	屋上
37	駐車場
38	地下駐車場
39	屋上駐車場
40	バックヤード
41	エントランスホール
42	体育館
43	体育館1階
44	体育館2階
45	講堂
46	階段
47	東階段
48	西階段
49	南階段
50	北階段
51	中央階段
52	塔屋
53	エスカレーター
54	エレベーター
55	エレベーターシャフト
56	エレベーター機械室
57	機械室
58	風除室
59	本館地下1階
60	本館1階

番号	名称
61	本館2階
62	本館3階
63	本館4階
64	本館5階
65	本館6階
66	本館屋上
67	本館塔屋
68	本館階段
69	本館エレベーター
70	新館地下1階
71	新館1階
72	新館2階
73	新館3階
74	新館4階
75	新館5階
76	新館6階
77	新館屋上
78	新館塔屋
79	新館階段
80	新館エレベーター

※ 番号：階メッセージ番号  
名称：階名称

メモ

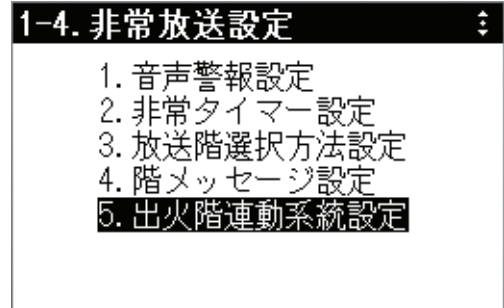
工場出荷時は階メッセージ番号 80 番までが登録されています。

## ● 出火階連動系統の設定 (1-4-5)

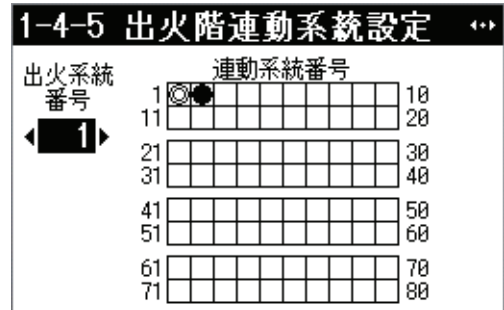
非常放送設定メニュー画面で「5. 出火階連動系統設定」を選択し、階別信号入力端子がメイクされた非常系統（出火系統）に連動して選択される非常系統（連動系統）を設定します。  
1つの出火系統に最大 159 の連動系統が設定可能です。

[出火階連動系統設定の開始のしかた]

- 1 非常放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 出火階連動系統設定」を選択する。

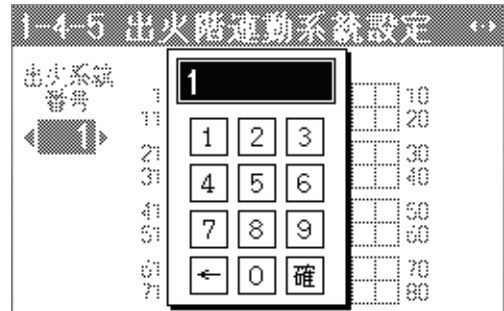


- 2 確定キーを押す。  
出火階連動系統設定画面が表示されます。

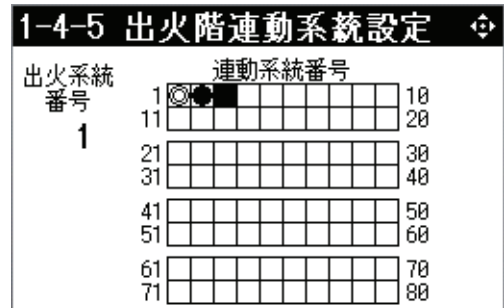


[設定のしかた]

- 1 出火階連動系統設定画面で、左右シフトキーまたは数字キーを押して出火系統番号を設定し、確定キーを押す。  
設定した出火系統番号の出火階連動系統設定画面が表示されます。  
画面内に表示されている「◎」マークは出火系統、「●」マークは連動系統を表します。  
出火系統は変更できません。



- 2 上下シフトキーまたは、左右シフトキーで追加／削除したい連動系統にカーソルを合わせ、確定キーを押す。  
連動系統を表す「●」マークが追加されます。  
すでに「●」マークが設定されている連動系統番号を選択し、確定キーを押すと、「●」マークが削除されます。



### ご注意

以下の場合における連動系統設定については、自治体により異なります。  
所轄消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。

- (1) 地下階から起動があったときの1階への連動
- (2) 各階から起動があったときのエレベーター、階段への連動
- (3) エレベーター、階段から起動があったときの連動

◎：出火系統  
●：連動系統

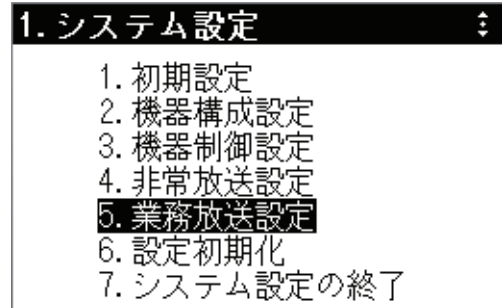
## ■ 業務放送設定 (1-5)

各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

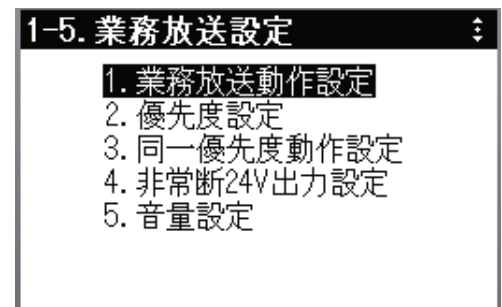
- 業務放送動作設定 : BGM 制御設定および連動チャイムの設定をします。
- 優先度設定 : 放送の優先度を設定します。
- 同一優先度動作設定 : 同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。
- 非常断 24 V 出力設定 : 非常断 24 V 出力端子の業務放送中の動作を設定します。
- 音量設定 : 緊急放送メッセージ、チャイム、点検音源の再生時の音量を設定します。

[業務放送設定の開始のしかた]

- 1 システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 業務放送設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
業務放送設定メニュー画面が表示されます。



### ● 業務放送動作の設定 (1-5-1)

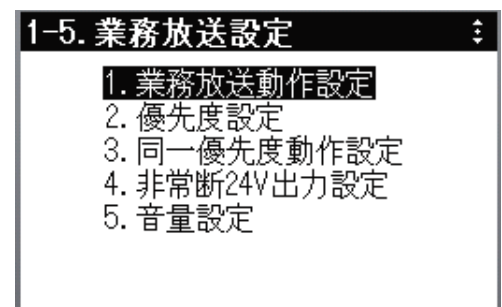
業務放送設定メニュー画面で「1. 業務放送動作設定」を選択し、BGM 制御設定および連動チャイムを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

- BGM 制御 : 各放送と BGM 放送が同時に行われたときに、BGM 放送をどのように制御するかを設定します。
- 開始チャイム : 放送を開始するときに鳴らすチャイム音源を設定します。
- 終了チャイム : 放送を終了するときに鳴らすチャイム音源を設定します。

[業務放送動作設定の開始のしかた]

- 1 業務放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 業務放送動作設定」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
業務放送動作設定画面が表示されます。



## ◎ BGM 制御設定

各放送と BGM 放送が同時に行われたときに、BGM 放送をどのように制御するかを設定します。  
使用しない放送については、この設定は不要です。  
制御の種類についての詳細は、別冊の操作説明書「BGM 制御設定」をお読みください。

- (1) 本体放送、非常 RM 放送、業務 RM 放送の場合  
制御の種類は以下のとおりです。ただし、業務 RM 放送には「ボイススイッチ」はありません。
  - ・ミュート
  - ・カット
  - ・制御無し
  - ・アナキーパ
  - ・ボイススイッチ
- (2) 外部マイク放送の場合  
制御の種類は以下のとおりです。
  - ・ミュート
  - ・カット
  - ・制御無し
  - ・ボイススイッチ
- (3) 接点式 RM 放送、タイマー放送、電話ページング放送の場合  
制御の種類は以下のとおりです。
  - ・ミュート
  - ・カット
  - ・制御無し
- (4) 緊急放送の場合  
「カット」で固定となります。  
緊急放送には連動チャイムはありません。
- (5) ローカル放送の場合  
ローカル放送は、BGM 放送を含め他の放送がされている間には行えません。

[設定のしかた]

**1** 業務放送動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで放送の種類を選択する。

1-5-1 業務放送動作設定	
業務放送	本体放送
BGM制御	ボイススイッチ
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

**2** 上下シフトキーで「BGM 制御」にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して、選択した放送に対する BGM 放送の制御方法を選択する。

※ ボイススイッチを選択した後に確定キーを押したときのみ、ボイススイッチ設定（次ページ）に進みます。

1-5-1 業務放送動作設定	
業務放送	本体放送
BGM制御	ボイススイッチ
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

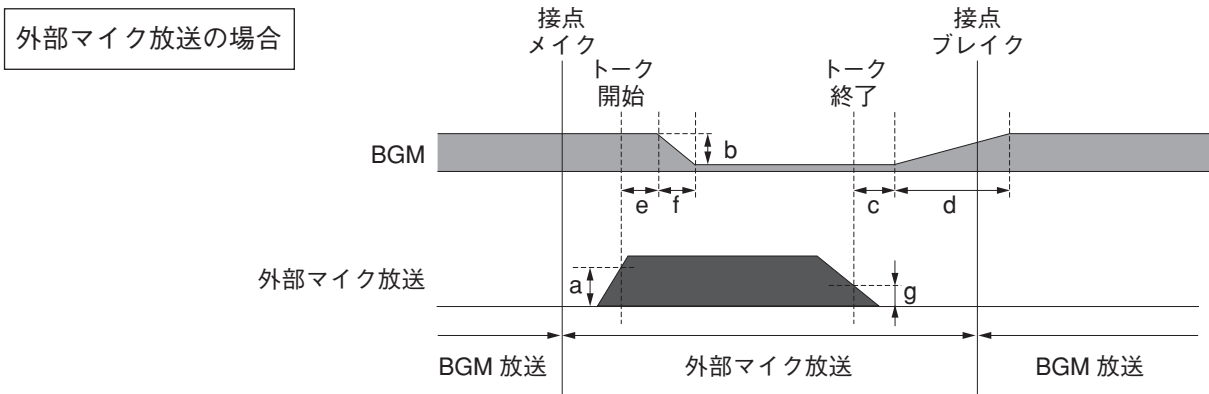
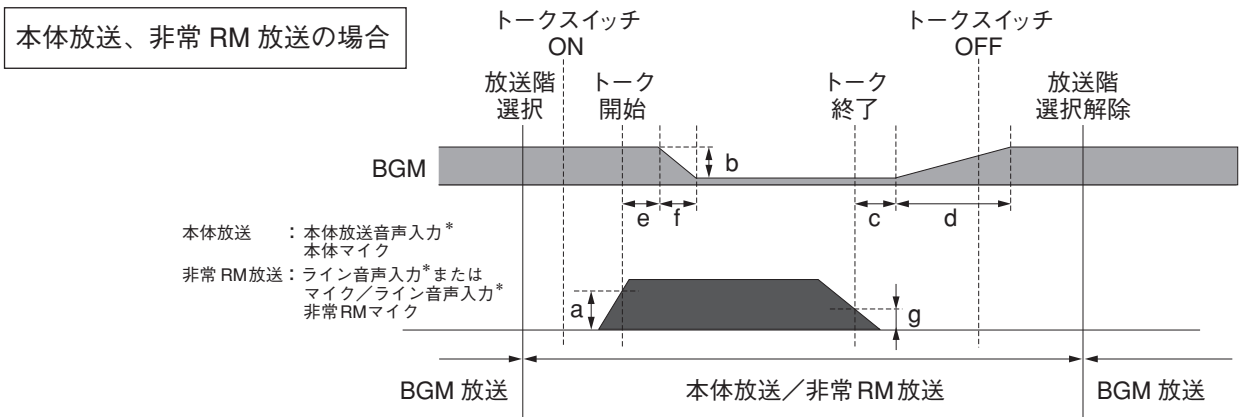


## ○ ボイススイッチ設定 (1-5-1-1)

BGM 制御を行うボイススイッチの動作を設定します。  
 本体放送、非常 RM 放送、外部マイク放送について個別に設定できます。  
 設定項目は次のとおりです。

- 感度 : ボイススイッチが機能する入力信号のレベルを設定します。
- BGM 減衰量 : ボイススイッチが機能したときの BGM の減衰量を設定します。
- ホールド時間 : 入力信号がなくなった後に BGM が元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定します。
- BGM 復帰時間 : BGM が元のレベルへ復帰するまでの時間を設定します。
- 減衰開始時間 : トーク開始から減衰が始まるまでの時間を設定します。
- 減衰時間 : 元のレベルから BGM 減衰量で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定します。
- 復帰開始感度 : ボイススイッチを終了する入力信号のレベルを設定します。
- 初期化 : 上記7つの設定を工場出荷時の設定に戻します。

ボイススイッチの動作は下図のとおりです。



	パラメーター	設定範囲	初期値
a	感度	-40 ~ -1 dB	-30 dB
b	BGM 減衰量	-∞、-50 ~ -10 dB	-40 dB
c	ホールド時間	1 ~ 10 秒	2 秒
d	BGM 復帰時間	0 ~ 10 秒	1 秒
e	減衰開始時間	0 ~ 10 秒	0 秒
f	減衰時間	0 ~ 10 秒	0 秒
g	復帰開始感度	-50 ~ 0 dB	-40 dB

※「ボイススイッチ」には連動チャイムはありません。  
 連動チャイムを使用する場合は、BGM 制御設定を「アナキーパ」にしてください。

\* あらかじめ音声が入力されている場合は、放送階選択が行われた時点でボイススイッチ機能が働きます。

[ボイススイッチ設定の開始のしかた]

- 1 業務放送動作設定画面で、上下シフトキーを押して「BGM制御」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで「ボイススイッチ」を選択する。

1-5-1 業務放送動作設定	
業務放送	本体放送
BGM制御	ボイススイッチ
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

- 2 確定キーを押す。  
ボイススイッチ設定画面が表示されます。

1-5-1-1 ボイススイッチ設定	
感度	-30dB
BGM減衰量	-40dB
ホールド時間	2秒
BGM復帰時間	1秒

[設定のしかた]

メモ

ボイススイッチの各設定項目（以下の手順1～4）は、数値入力を確認した時点で音声に反映されます。実際に放送を行いながら設定することができます。

- 1 ボイススイッチ設定画面で、上下シフトキーを押して「感度」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

1-5-1-1 ボイススイッチ設定	
感度	-30dB
BGM減衰量	-40dB
ホールド時間	2秒
BGM復帰時間	1秒

- 2 上下シフトキーで「BGM減衰量」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

1-5-1-1 ボイススイッチ設定	
感度	-30dB
BGM減衰量	-40dB
ホールド時間	2秒
BGM復帰時間	1秒

- 3 上下シフトキーで「ホールド時間」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

1-5-1-1 ボイススイッチ設定	
感度	-30dB
BGM減衰量	-40dB
ホールド時間	2秒
BGM復帰時間	1秒

- 4 上下シフトキーで「BGM 復帰時間」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

#### 1-5-1-1 ボイススイッチ設定

感度	-30dB
BGM減衰量	-40dB
ホールド時間	2秒
BGM復帰時間	1秒

- 5 上下シフトキーで「減衰開始時間」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

#### 1-5-1-1 ボイススイッチ設定

減衰開始時間	0秒
減衰時間	0秒
復帰開始感度	-40dB
初期化	実行

- 6 上下シフトキーで「減衰時間」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

#### 1-5-1-1 ボイススイッチ設定

減衰開始時間	0秒
減衰時間	0秒
復帰開始感度	-40dB
初期化	実行

- 7 上下シフトキーで「復帰開始感度」にカーソルを合わせ、左右シフトキーまたは数字キーで数値を入力する。

× モ

ボイススイッチを継続して機能させるために、通常、「復帰開始感度」は「感度」（前ページの手順1の設定）よりも低い値に設定します。

#### 1-5-1-1 ボイススイッチ設定

減衰開始時間	0秒
減衰時間	0秒
復帰開始感度	-40dB
初期化	実行

[初期化のしかた]

- 1 ボイススイッチ設定画面で、上下シフトキーを押して「初期化」にカーソルを合わせる。

#### 1-5-1-1 ボイススイッチ設定

減衰開始時間	0秒
減衰時間	0秒
復帰開始感度	-40dB
初期化	実行

- 2 確定キーを押す。

現在設定中の放送に対する「感度」「BGM 減衰量」「ホールド時間」「BGM 復帰時間」「減衰開始時間」「減衰時間」「復帰開始感度」の設定値が初期化されます。

## ◎ 開始・終了チャイムの設定

放送を開始または終了するときに鳴らすチャイム音源を設定します。  
使用しない放送については、この設定は不要です。  
チャイムの音源は以下のとおりです。

チャイム1：上り4音  
チャイム2：下り4音  
チャイム3：2音  
チャイム4：ゴング

× モ

- 開始／終了チャイムを未使用に設定することもできます。
- BGM制御にボイススイッチを設定した場合は、開始・終了チャイムを設定できません。

[設定のしかた]

**1** 業務放送動作設定画面で、上下シフトキーを押して「業務放送」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで放送の種類を選択する。

1-5-1 業務放送動作設定	
業務放送	本体放送
BGM制御	アナキーパ
開始チャイム	未使用
終了チャイム	未使用

**2** 上下シフトキーで「開始チャイム」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで各チャイム音源を選択する。

1-5-1 業務放送動作設定	
業務放送	本体放送
BGM制御	アナキーパ
開始チャイム	チャイム1
終了チャイム	チャイム2

**3** 上下シフトキーで「終了チャイム」にカーソルを合わせ、左右シフトキーで各チャイム音源を選択する。

## ● 優先度設定 (1-5-2)

業務放送設定メニュー画面で「2. 優先度設定」を選択し、各放送（BGM 放送、ローカル放送、RM-1100 同士の放送を除く）について放送の優先度を設定します。

優先度は Lv.1（優先度高）～ Lv.20（優先度低）の範囲で設定可能です。

複数の放送の優先度を同じに設定することも可能です。

優先度についての詳細は、別冊の操作説明書「放送の優先度」をお読みください。

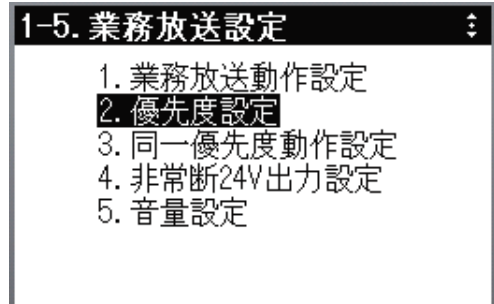
### ご注意

- BGM 放送には優先度はありません。BGM 制御設定に従います。  
（別冊の操作説明書「BGM 制御設定」）
- ローカル放送は全放送のなかで最も優先度が低い設定で固定となります。  
（別冊の操作説明書「ローカル放送の優先度について」）
- RM-1100 同士の優先度については、別冊の設置説明書「複数台接続時の優先順位の設定」をお読みください。

[優先度設定の開始のしかた]

**1** 業務放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 優先度設定」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
優先度設定画面が表示されます。



[設定のしかた]

**1** 優先度設定画面で、上下シフトキーを押して設定したい放送の優先度にカーソルを合わせる。

**2** 左右シフトキーで優先度を設定する。

1-5-2 優先度設定

No.	業務放送	Lv.
1	本体放送	<b>2</b>
2	非常RM1放送	3
3	非常RM2放送	4
4	非常RM3放送	5

## ● 同一優先度動作設定 (1-5-3)

業務放送設定メニュー画面で「3. 同一優先度動作設定」を選択し、同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。複数の放送を同じ優先度に設定していないときは、この設定は不要です。設定項目は以下のとおりです。

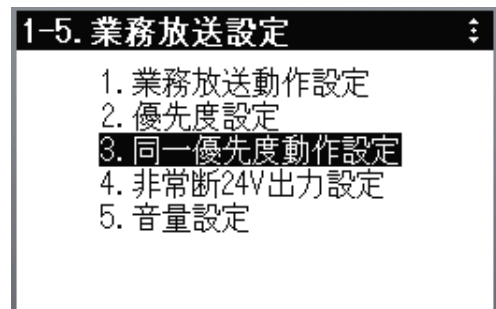
先取り優先：先に起動した方の放送が優先されます。

先に始めた放送が終了するまで、他の同一優先度の音源は放送できません。

後取り優先：後に起動した方の放送が優先されます。

[同一優先度動作設定の開始のしかた]

**1** 業務放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 同一優先度動作設定」を選択する。

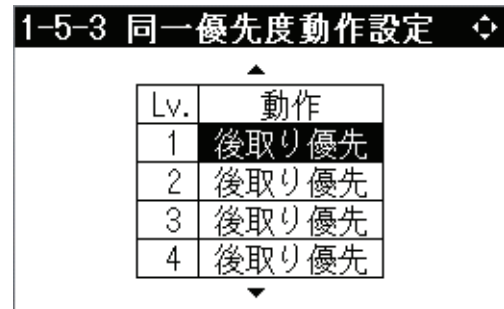


**2** 確定キーを押す。  
同一優先度動作設定画面が表示されます。

[設定のしかた]

**1** 同一優先度動作設定画面で、上下シフトキーを押して設定したい優先度の動作にカーソルを合わせる。

**2** 左右シフトキーで動作を選択する。



## ● 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

業務放送設定メニュー画面で「4. 非常断 24 V 出力設定」を選択し、非常断 24 V 出力端子の業務放送時\*の動作を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

継続 : 業務放送中も継続して DC24 V を供給します。

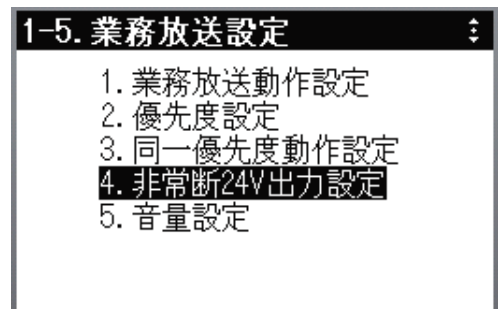
カット : 業務放送中に DC24 V の供給を遮断します。

緊急カット : 通常放送モードの業務放送時は DC24 V を供給、業務緊急モードの業務放送時は DC24 V の供給を遮断します。

\* 非常放送中は「カット」、停電待機中は「継続」で固定となります。

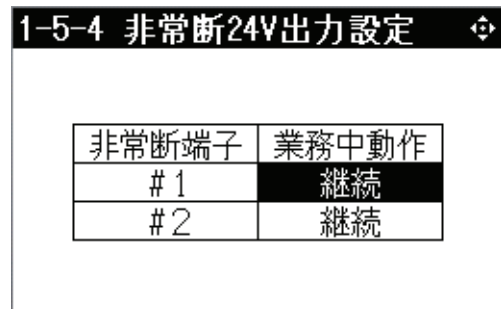
[非常断 24 V 出力設定の開始のしかた]

**1** 業務放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 非常断 24 V 出力設定」を選択する。



**2** 確定キーを押す。

非常断 24 V 出力設定画面が表示されます。





[設定のしかた]

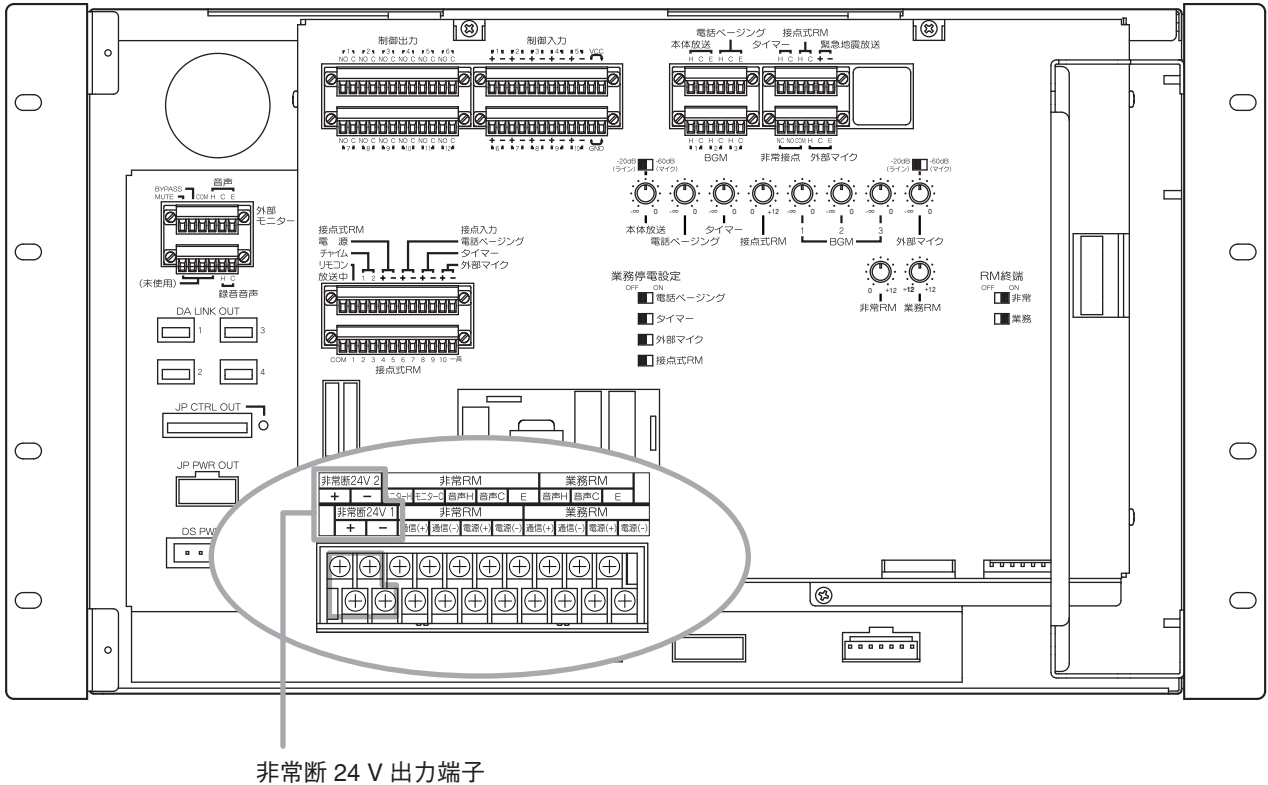
**1** 非常断 24 V 出力設定画面で、上下シフトキーを押して出力端子「# 1」または「# 2」にカーソルを合わせる。

**2** 左右シフトキーで動作を選択する。

1-5-4 非常断24V出力設定	
非常断端子	業務中動作
# 1	継続
# 2	カット

[非常断 24 V 出力端子]

FS-2000EP 端子部



### ● 音量設定 (1-5-5)

音源の種別を緊急放送、チャイム、点検音源から選択し、各音源に対して再生時の音量を設定します。設定項目は次のとおりです。

種別：音源の種別を選択します。

音量：音源の再生時の音量を設定します。種別ごとに個別または一括で設定できます。

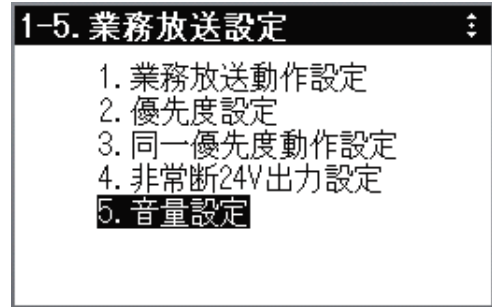
音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。

音源別の音量設定範囲は次のとおりです。

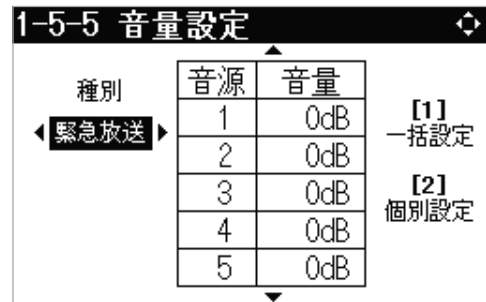
種別	音源番号	内容	設定範囲	初期値
緊急放送	1 ~ 10	※ P. 61 の [緊急メッセージ一覧] を参照	-30 ~ 0 dB	0 dB
チャイム	1	上り 4 音	-30 ~ 0 dB	-10 dB
	2	下り 4 音		
	3	2 音		
	4	ゴング		
点検音源	1	点検開始 (アナウンス)	-20 ~ 0 dB	-10 dB
	2	点検中 (環境音)	-30 ~ 0 dB	-20 dB

[音量設定の開始のしかた]

- 1 業務放送設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 音量設定」を選択する。

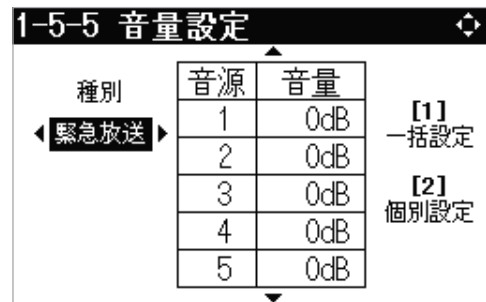


- 2 確定キーを押す。  
音量設定画面が表示されます。



[一括設定のしかた]

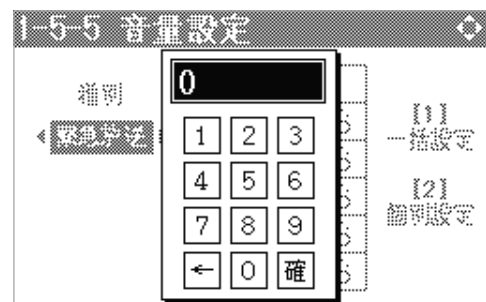
- 1 音量設定画面で、左右シフトキーを押して種別を選択する。



- 2 数字キー「1」を押す。  
数字入力画面が表示されます。

- 3 数字キーで値を入力する。

- 4 確定キーを押す。  
入力した値に設定されます。

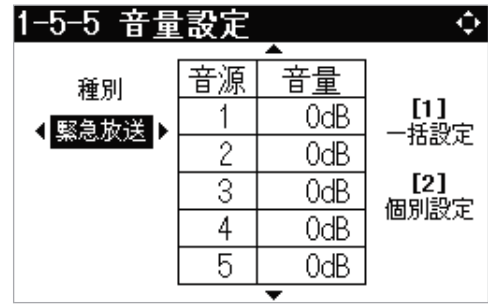


- 5 手順1～4を繰り返して、音源種別ごとに音量を一括設定する。

- 6 取消キーを押す。  
音源種別ごとの音量が一括設定され、業務放送設定画面に戻ります。

[個別設定のしかた]

**1** 音量設定画面で、左右シフトキーを押して種別を選択する。

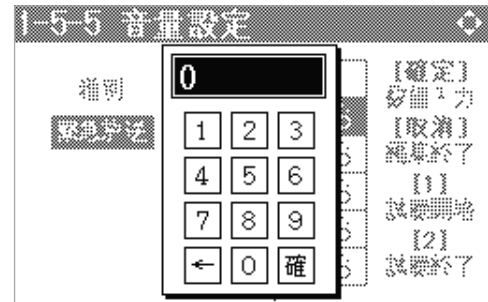


**2** 数字キー「2」を押す。  
「音量」欄にカーソルが移動します。



**3** 上下シフトキーで音源番号を選択し、確定キーを押す。  
数字入力画面が表示されます。

**4** 数字キーで値を入力する。



**5** 確定キーを押す。  
入力した値に設定されます。

**6** 手順1～5を繰り返して、音源種別ごとに音量を設定する。

**7** 取消キーを押す。  
各音源の音量が設定され、業務放送設定画面に戻ります。

メ モ

右の画面のように「音量」にカーソルがある状態で、上下シフトキーを押して音源番号を選択し、数字キー「1」を押すと、選択した音源を試聴できます。  
試聴中に数字キー「2」を押すと、試聴を終了します。



## ■ システム設定の終了 (1-7)

システム設定が完了したら「システム設定の終了」を選択し、設定した内容を保存して終了します。

[システム設定の終了のしかた]

**1** システム設定メニュー画面で、上下シフトキーを押して「7. システム設定の終了」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
保存確認画面が表示されます。

**3** 保存確認画面で、確定キーを押して設定を保存して終了する。  
設定を保存せずシステム設定メニューに戻るときは、取消キーを押してください。

### ご注意

業務放送に関わる設定の変更を保存すると、放送中の業務放送が停止します。

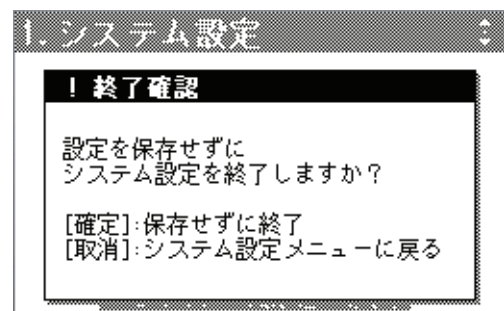
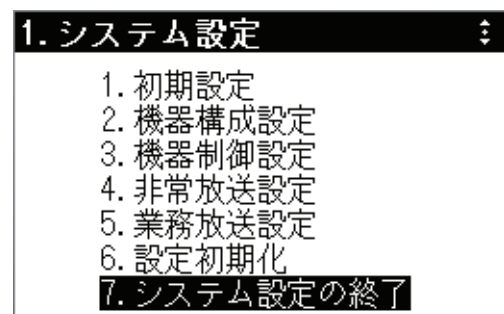
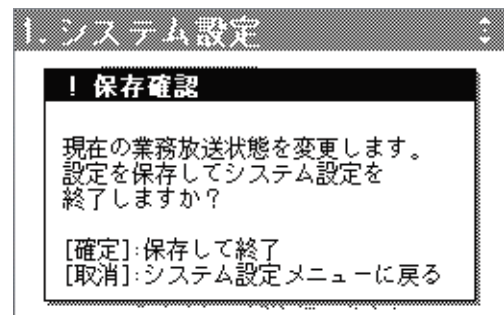
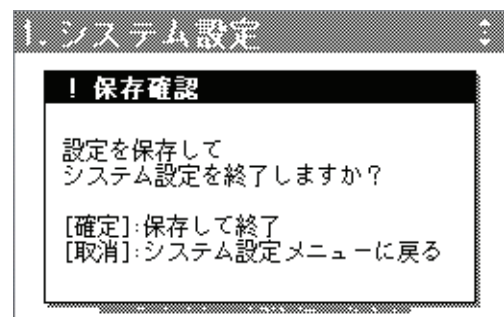
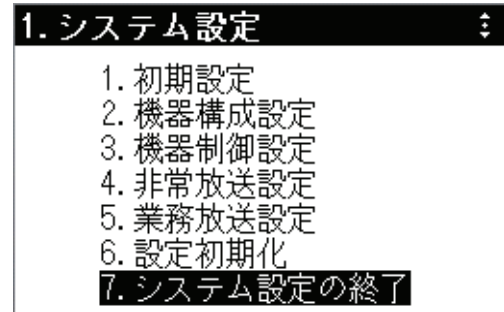
### 設定が終わったら…

- 「自己診断 (2-3)」(P. 105) を行い、異常がないか、確認してください。
- 「設定データ保存 (EP → CF)」(P. 107) を行い、FS-2000EP に挿入された CF カードに FS-2000EP の設定データ、音源設定データ、音源データを保存してください。

[設定を保存せずに終了するとき]

**1** システム設定メニュー画面で、取消キーを押す。  
終了確認画面が表示されます。

**2** 終了確認画面で、確定キーを押して設定を保存せずに終了する。  
システム設定メニューに戻るときは、取消キーを押してください。

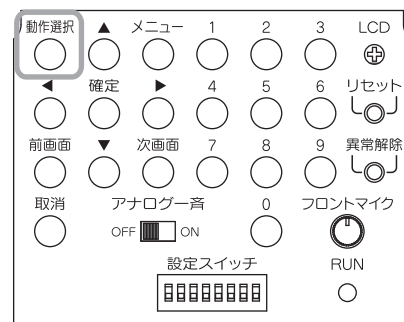


# メンテナンス

メンテナンスモードで実施できる内容は以下のとおりです。

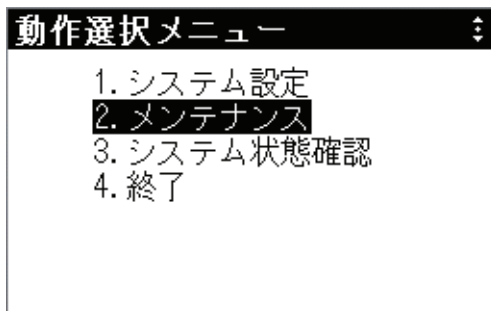
- 回線インピーダンス測定：ジャンクションパネルに接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを測定します。
- システム動作確認：通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。
- 自己診断：蓄電池点検やアンプ点検など、1日1回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。
- CFカード：CFカードを使って各種データの読み込みまたは、保存を行います。また、本体とCFカード間での設定データの内容を比較します。

FS-2000EP 設定操作部（キーの部分）

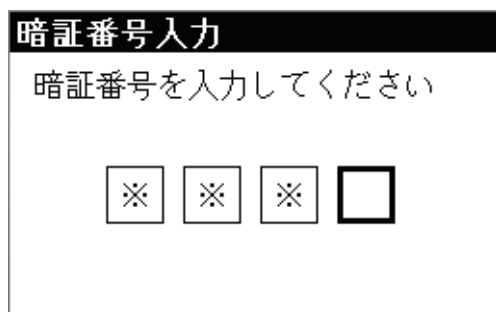


[メンテナンスモードの開始のしかた]

- 1 設定操作部の動作選択キーを押す。  
動作選択メニュー画面が表示されます。



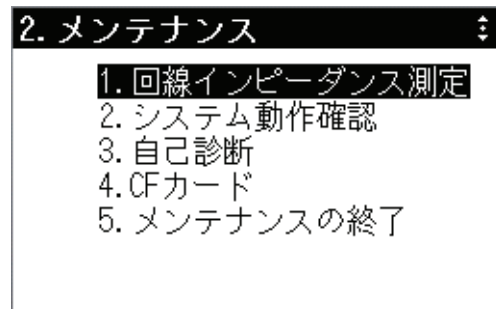
- 2 上下シフトキーで「2. メンテナンス」を選択し、確定キーを押す。  
暗証番号入力画面が表示されます。



- 3 数字キーで4桁の暗証番号を入力する。  
メンテナンスメニュー画面が表示されます。

メモ

- 工場出荷時には、暗証番号は「5555」に登録されています。
- 暗証番号の変更はシステム設定の「初期設定」で行います。

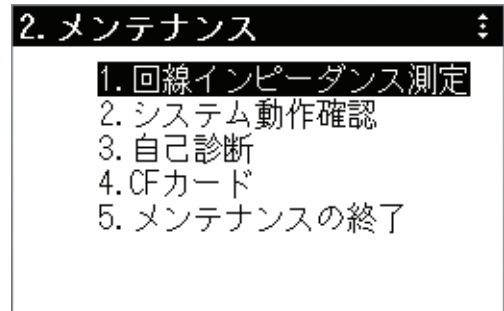


## ■ 回線インピーダンスの測定 (2-1)

非常用ジャンクションパネルに接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを測定します。  
また、回線インピーダンスを編集し、接続されているスピーカーの公称インピーダンスを入力することで、スピーカーから音を出さずに、回線インピーダンスの初期値を手動で変更することができます。  
回線インピーダンス測定後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。

[回線インピーダンスの測定、消去のしかた]

**1** メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 回線インピーダンス測定」を選択する。

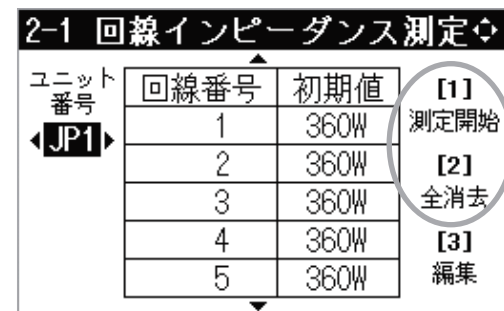


**2** 確定キーを押す。  
回線インピーダンス測定画面が表示されます。

メ モ

工場出荷時は、機器構成の設定に関係なく、初期値欄に「360W」と表示されます。

**3** 数字キー「1」を押す。  
測定が開始されます。  
すべての非常用ジャンクションパネルについて回線インピーダンスの初期値を取得します。



数字キー「2」を押す。  
すべての非常用ジャンクションパネルについて回線インピーダンスの初期値が全消去されます。  
全消去後は、アンプ設定と出力系統設定により各回線に割り当てられたアンプに応じて、初期値欄に以下の値が表示されます。

アンプ設定	初期値
FS-2136DA	360 W
FS-2136DA × 2	
FS-2136DA × 3	
FS-2118DA	180 W
FS-2109DA	90 W

メ モ

FS-2000EPのユニットバージョンが1.02以降で、それに接続されたFS-2420JP、FS-2110JP、FS-2120JPのユニットバージョンがすべて1.01以降のときのみ、回線インピーダンス測定画面に「[3] 編集」が表示され、回線インピーダンスを編集することができます。

( P. 116 「ユニットバージョンの確認 (3-3)」)

**1** 回線インピーダンス測定画面で、数字キー「3」を押す。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	360W	[1] 測定開始
	2	360W	[2] 全消去
	3	360W	[3] 編集
	4	360W	
	5	360W	

回線インピーダンス編集画面が表示されます。

**2** 左右シフトキーで非常用ジャンクションパネルの機器番号を選択する。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	360W	[確定] 数値入力
	2	360W	[取消] 編集終了
	3	360W	
	4	360W	
	5	360W	

**3** 上下シフトキーで回線を選択し、確定キーを押す。  
数値入力画面が表示されます。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	0	[確定] 数値入力
	2		[取消] 編集終了
	3		
	4		
	5		

**4** 数字キーで値を入力する。

メモ

スピーカーを接続していない回線は、「0」を入力してください。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	100	[確定] 数値入力
	2		[取消] 編集終了
	3		
	4		
	5		

**5** 確定キーを押す。

入力した値に設定されます。

**6** 手順2～5を繰り返して、各回線のインピーダンス初期値を入力する。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	100W	[確定] 数値入力
	2	360W	[取消] 編集終了
	3	360W	
	4	360W	
	5	360W	

**7** 取消キーを押す。

各回線のインピーダンス初期値が設定され、インピーダンス測定画面に戻ります。

ご注意

実際の回線インピーダンスと異なる数値を入力すると、正常に放送できないことがあります。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット 番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	100W	[1] 測定開始
	2	360W	[2] 全消去
	3	360W	[3] 編集
	4	360W	
	5	360W	



[各回線のインピーダンスの確認のしかた]

- 1 回線インピーダンス測定画面で、左右シフトキーを押して非常用ジャンクションパネルの機器番号を選択する。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	10W	[1] 測定開始
	2	10W	[2] 全消去
	3	10W	[3] 編集
	4	10W	
	5	10W	

- 2 上下シフトキーで回線番号のインピーダンスを確認する。

- 回線がオープン状態となっているとき  
オープン状態となっている回線がある場合、初期値が「----」と表示されます。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	----	[1] 測定開始
	2	10W	[2] 全消去
	3	10W	[3] 編集
	4	10W	
	5	10W	

- 回線が過負荷状態となっているとき  
過負荷状態となっている回線がある場合、初期値が「OVER」と表示されます。

2-1 回線インピーダンス測定

ユニット番号	回線番号	初期値	
◀JP1▶	1	OVER	[1] 測定開始
	2	10W	[2] 全消去
	3	10W	[3] 編集
	4	10W	
	5	10W	

メモ

LCD 表示とアドレススイッチ設定の対応

ユニット番号	アドレス
JP1	00
JP2	01
JP3	02
JP4	03
JP5	04
JP6	05
JP7	06
JP8	07

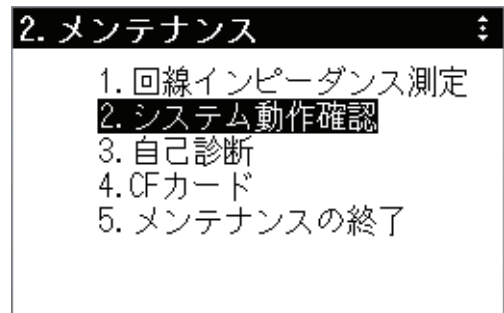
## ■ システム動作確認 (2-2)

通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。  
通常放送時とは、以下の項目を設定できる点が異なります。

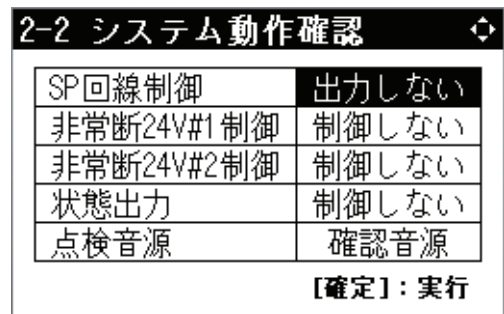
- SP 回線制御 : 実際にスピーカーから音声を出力するかどうかを設定します。
- 非常断 24 V 制御 : 非常断 24 V 出力端子 1、2 からの出力を制御するかどうかを設定します。
- 状態出力 : 状態出力、EB 出力、および非常接点出力を制御するかどうかを設定します。
- 点検音源 : 非常放送時に実際の音声警報メッセージを使用するか、動作確認用のメッセージを使用するかを設定します。

[システム動作確認の開始のしかた]

**1** メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. システム動作確認」を選択する。



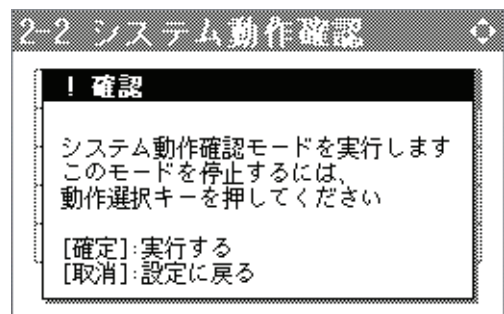
**2** 確定キーを押す。  
システム動作確認画面が表示されます。



**3** 上下シフトキーで設定したい項目にカーソルを合わせ、左右シフトキーを押して内容を選択する。  
設定項目と設定内容は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	工場出荷時の設定
SP 回線制御	出力しない／出力する	出力しない
非常断 24V#1 制御	制御しない／制御する	制御しない
非常断 24V#2 制御	制御しない／制御する	制御しない
状態出力	制御しない／制御する	制御しない
点検音源	確認音源／音声警報	確認音源

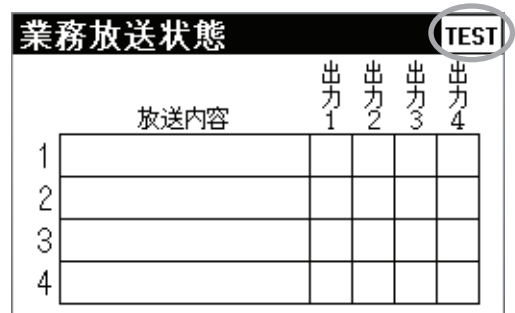
**4** 確定キーを押す。  
確認画面が表示されます。



**5** 確認の上、確定キーを押す。  
業務放送状態画面が表示され、システム動作確認が開始されます。

メモ

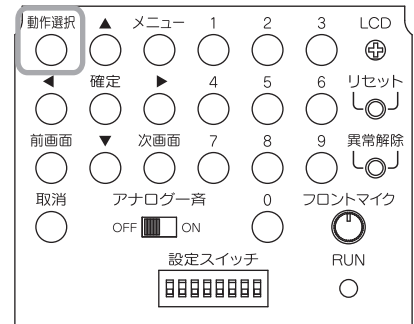
システム動作確認中は、画面右上に「TEST」と表示されます。



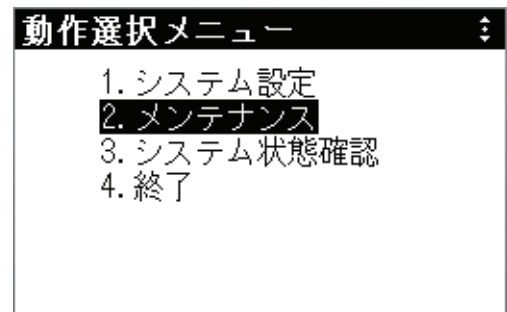
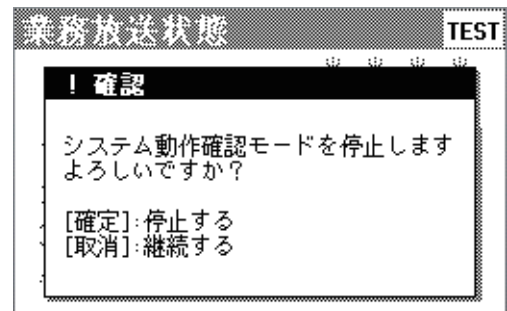
[システム動作確認の終了のしかた]

- 1 設定操作部の動作選択キーを押す。  
確認画面が表示されます。

FS-2000EP 設定操作部（キーの部分）



- 2 確認の上、確定キーを押す。  
画面右上の「TEST」表示が消え、システム動作確認が終了し、動作選択メニューが表示されます。



#### ご注意

- システム動作確認状態のまま放置すると通常の放送ができません。
- 無操作状態で 15 分経過するとシステム動作確認モードの終了確認画面が表示されます。終了確認画面表示中に取消キーを押すと、15 分延長することができます。操作しない状態のまま、さらに 15 分経過すると自動的にシステム動作確認を終了します。

## ■ 自己診断 (2-3)

自己診断では、蓄電池点検やアンプ点検など、1日1回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。

### ● 自己診断機能による点検

点検項目は以下のとおりです。

全体確認 : システムに異常がないことを確認します。

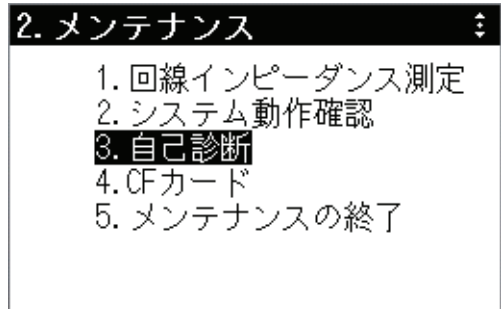
接続確認 : 機器の接続が正常に行われていることを確認します。

蓄電池点検 : 電源パネルの蓄電池の確認をします。

アンプ点検 : アンプに異常がないことを確認します。

[点検のしかた]

**1** メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 自己診断」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
自己診断画面が表示されます。

**3** 上下シフトキーで点検したい項目にカーソルを合わせる。



**4** 確定キーを押す。  
点検が開始されます。

[異常があったとき]

- 点検の結果、異常があったときは異常表示灯が点滅し、異常警告音が鳴ります。
- CPU に異常があったときは RUN 表示灯の点滅が停止します。
- 異常警告音を停止させるには、異常受理スイッチを押します。
- 異常受理スイッチを押すと、異常表示灯の点滅が停止し、液晶画面に異常の内容が表示されます。
- 異常表示が複数ページにわたるときは、異常受理スイッチを押してページを切り換えます。
- 最後のページが表示されているときに異常受理スイッチを押すと、異常表示画面が閉じます。
- 異常表示については別冊の操作説明書「異常表示の一覧」をお読みください。

### 重要

万一のときに機器が正常に動作するように、点検を必ず実施してください。  
異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

### ご注意

蓄電池の寿命は4年です。使用状態にかかわらず、これを過ぎると停電中の放送に問題を起す恐れがあります。点検時のエラー発生の有無にかかわらず、すみやかに販売店または保守契約店へ連絡してください。  
蓄電池の交換およびリサイクルについては別冊の設置説明書または操作説明書の「ニカド電池の交換について」「ニカド電池のリサイクルについて」をお読みください。

## ● 定期点検の開始時刻の設定

1日1回行う定期点検の開始時刻を設定します。

### ご注意

時刻設定（1-1-1）で、時刻を正しく設定してください。

[設定のしかた]

**1** メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 自己診断」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
自己診断画面が表示されます。

**3** 上下シフトキーで「定期点検開始時刻」を選択し、確定キーを押す。

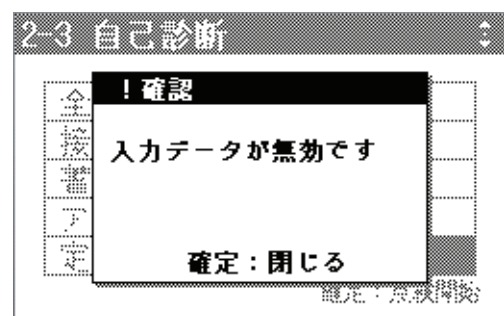
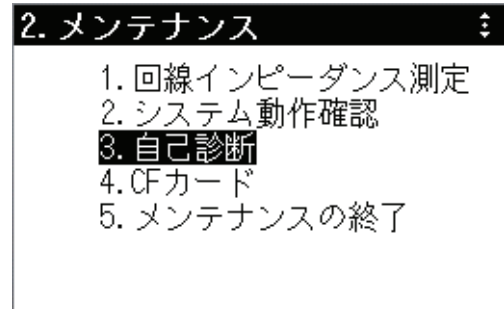
**4** 数字キーで時間を入力し、確定キーを押す。  
入力した定期点検時刻が設定されます。

メ モ

1分単位で設定可能です。  
初期値は 00:00 です。

### ご注意

入力した値が無効な場合は、確認画面が表示されます。



## ■ CF カード (2-4)

CF カードを使用して各種データの読み込み／保存を行います。また、本体と CF カード間での設定データの内容を比較します。

実施できる項目は以下のとおりです。

設定データ更新 (CF → EP) : CF カードから FS-2000EP へ設定データを読み込みます。

音源データ更新 (CF → EP) : CF カードから FS-2000EP へ音源データと音源情報データを読み込みます。

設定データ保存 (EP → CF) : FS-2000EP の設定データを CF カードに保存します。

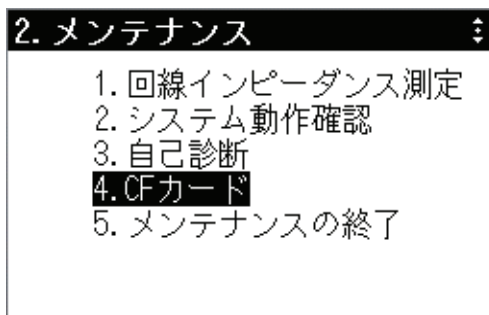
CF カードに音源データが 1 つも保存されていない場合は、FS-2000EP の音源データも同時に保存します。

履歴データ保存 (EP → CF) : FS-2000EP の履歴データを CF カードに保存します。

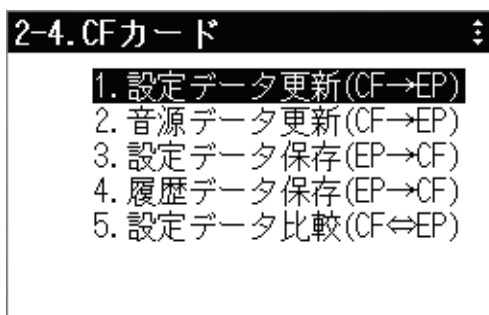
設定データ比較 (CF ⇄ EP) : FS-2000EP と CF カードの設定データと音源情報データの内容を比較します。

[CF カードの開始のしかた]

- 1 メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. CF カード」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
CF カードメニュー画面が表示されます。

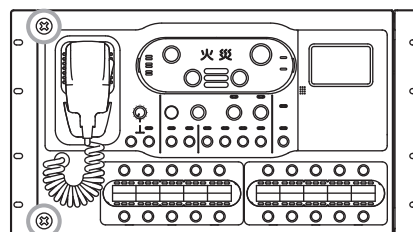


### ご注意

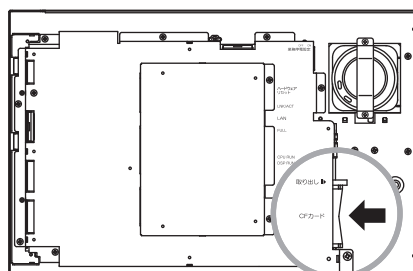
- CF カード内には本操作で扱う以外のデータは保存しないでください。容量不足となる恐れがあります。
- CF カードのアクセス中にリセットや CF カードの挿抜をしないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- CF カードを抜いている間の履歴は保存されません。
- 付属の CF カードを使用してください。

[CF カードの挿入のしかた]

- 1 FS-2000EP 前面のねじ 2 本をゆるめて前面パネルを開きます。



- 2 CF カードを、向きに注意して挿入します。



## ● 設定データ更新 (CF → EP) (2-4-1)

CF カード内から FS-2000EP へ設定データを読み込みます。

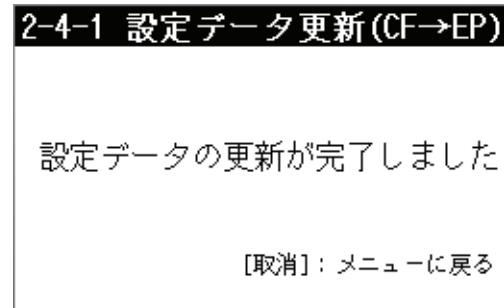
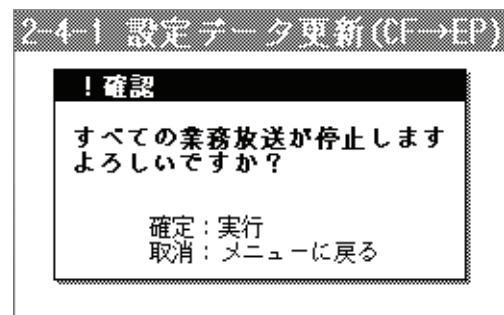
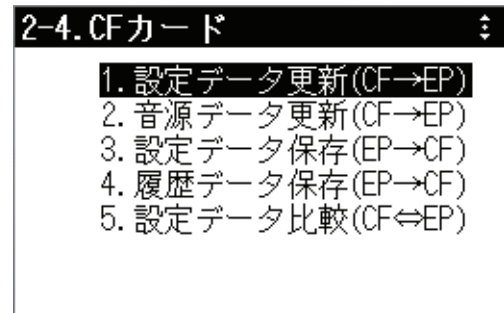
[設定データの更新のしかた]

**1** CF カードメニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 設定データ更新 (CF → EP)」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
確認画面が表示されます。

**3** 確認の上、確定キーを押す。  
更新完了画面が表示されます。

**4** 取消キーでメニュー画面に戻ります。

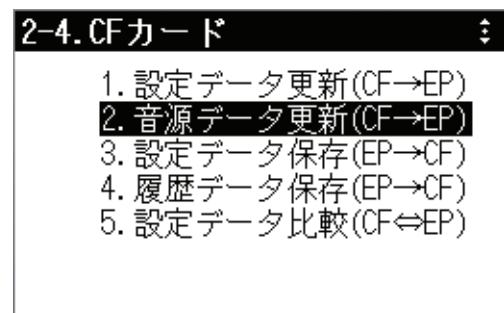


## ● 音源データ更新 (CF → EP) (2-4-2)

CF カード内から FS-2000EP へ音源データと音源情報データを読み込みます。

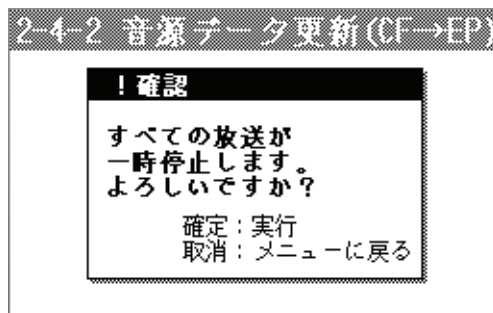
[音源データの更新のしかた]

**1** CF カードメニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 音源データ更新 (CF → EP)」を選択する。

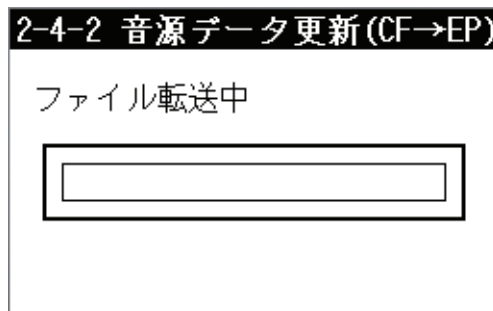




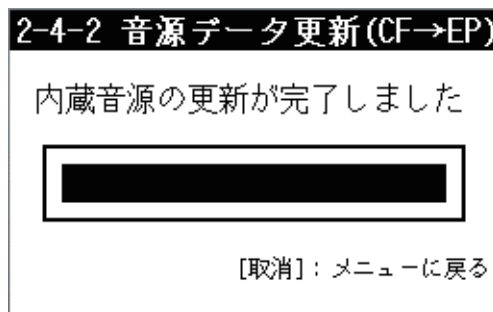
- 2** 確定キーを押す。  
確認画面が表示されます。



- 3** 確認の上、確定キーを押す。  
ファイル転送が開始されます。



- 4** 更新完了画面が表示されたら、取消キーでメニュー画面に戻ります。



※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

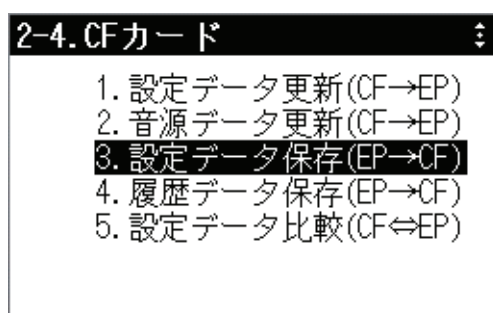
	エラーメッセージ	対応方法
①	CF カードが入っていません	CF カードを挿入してください。
②	内蔵音源の更新に失敗しました	もう一度やり直してください。
③	必要な音源データが不足しています	設定支援ソフトウェアで設定・音源データをもう一度アップロードしてください。
④	サポート外データがあります	

## ● 設定データ保存 (EP → CF) (2-4-3)

FS-2000EP の設定データを CF カードに保存します。  
CF カードに音源データが 1 つも保存されていない場合は、FS-2000EP の音源データも同時に保存します。

[設定データの保存のしかた]

- 1** CF カードメニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. 設定データ保存 (EP → CF)」を選択する。



**2** 確定キーを押す。  
保存確認画面が表示されます。

**3** 確認の上、確定キーを押す。  
CFカードに音源データが1つも保存されていない場合は、放送停止確認画面が表示されます。

**4** 放送停止確認画面が表示された場合は、確認の上、確定キーを押す。

**ご注意**

保存には10分程度かかる場合があります。  
保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

**5** 取消キーを押す。  
メニュー画面に戻ります。

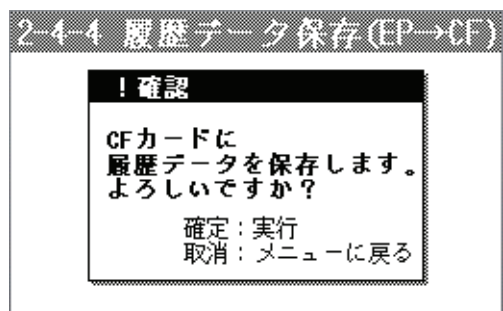
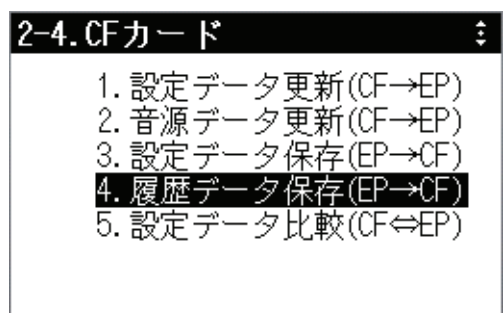
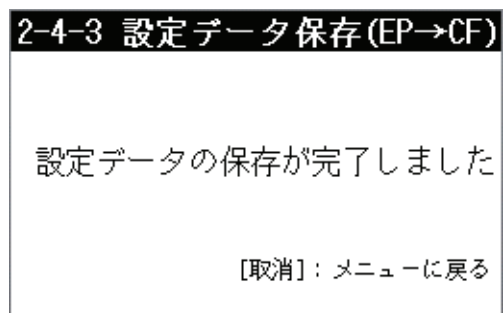
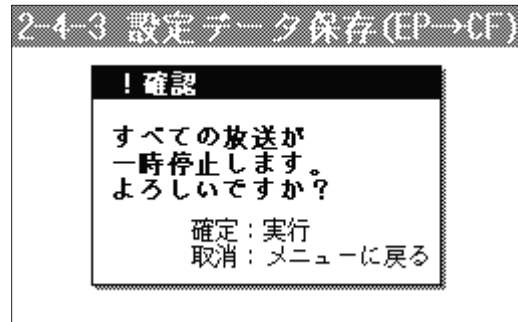
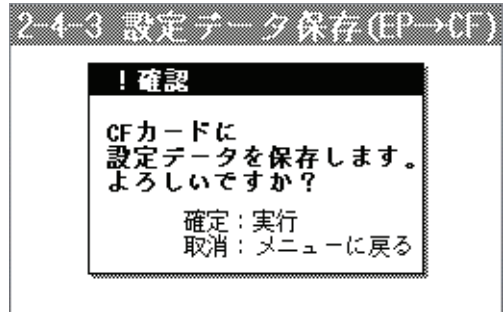
● 履歴データ保存 (EP → CF) (2-4-4)

FS-2000EPの履歴データをCFカードに保存します。  
メニューから行う方法と設定スイッチで行う方法があります。

[履歴データの保存のしかた：メニューから行う場合]

**1** CFカードメニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 履歴データ保存 (EP → CF)」を選択する。

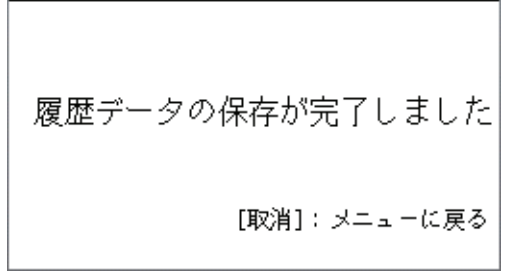
**2** 確定キーを押す。  
確認画面が表示されます。



- 3** 確認の上、確定キーを押す。  
保存完了画面が表示されます。

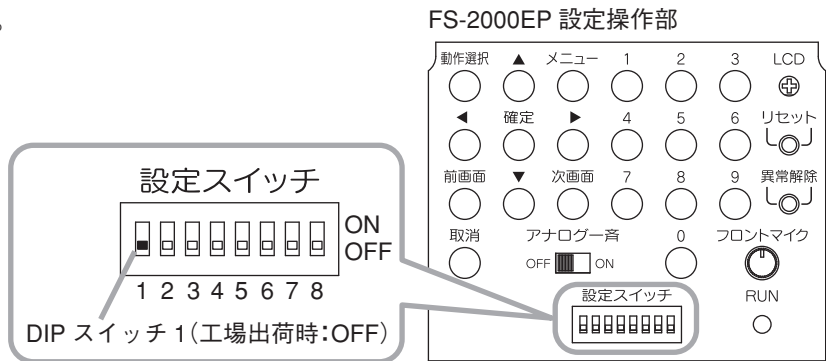
- 4** 取消キーを押す。  
メニュー画面に戻ります。

**2-4-4 履歴データ保存 (EP→CF)**



[履歴データの保存のしかた：設定スイッチで行う場合]

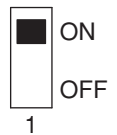
FS-2000EP 設定操作部の設定スイッチを使用して、履歴データを CF カードに保存することができます。



- 1** 設定スイッチの DIP スイッチ 1 を ON にする。  
このタイミングで履歴データが CF カードに保存されます。

**メモ**

設定設定スイッチが電源起動時に ON の状態であった場合は、保存されません。この場合は、一度 OFF にして再度 ON にしたタイミングで保存されます。



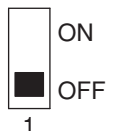
履歴データ保存中画面が表示されます。

業務放送状態				
放送内容	出力 1	出力 2	出力 3	出力 4
動作履歴を保存しています				
3				
4				

- 2** 履歴データ保存中画面が消えてから、設定スイッチの DIP スイッチ 1 を OFF に戻す。

**ご注意**

履歴データを保存した後は、必ず DIP スイッチ 1 を OFF に戻してください。

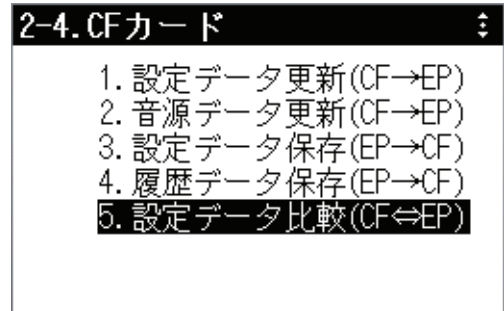


## ● 設定データ比較 (CF ⇄ EP) (2-4-5)

FS-2000EP と CF カードの設定データおよび音源情報データの内容を比較します。

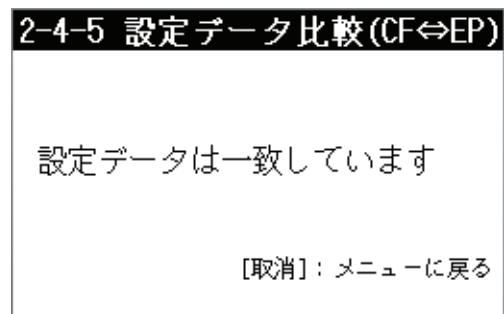
[設定データの比較のしかた]

- 1 CF カードメニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 設定データ比較 (CF ⇄ EP)」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
確認結果画面が表示されます。

「設定データおよび音源情報データが一致しているときの画面」



※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

	エラーメッセージ	対応方法
①	CF カードが入っていません	CF カードを挿入してください。
②	設定データは一致していません	必要に応じて、設定データの保存・更新を行ってください。
③	設定データがありません	設定支援ソフトウェアで設定・音源データをもう一度アップロードしてください。
④	CF カードの設定データが開けません	
⑤	音源情報データは一致していません	
⑥	音源情報データがありません	
⑦	CF カードの音源情報データが開けません	

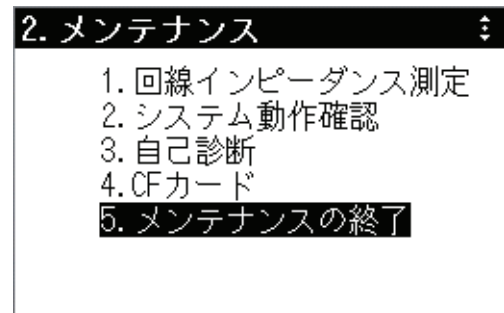
- 3 取消キーを押す。  
メニュー画面に戻ります。

## ■ メンテナンスの終了 (2-5)

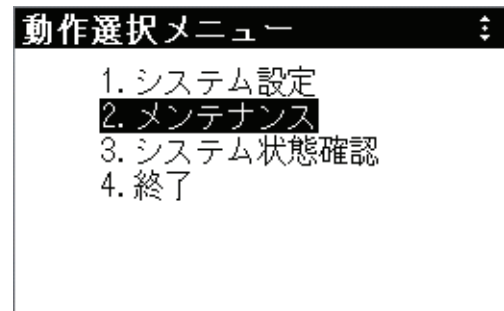
メンテナンスモードを終了するときは、「メンテナンスの終了」を選択します。

[メンテナンスモードの終了のしかた]

- 1** メンテナンスメニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. メンテナンスの終了」を選択する。



- 2** 確定キーを押す。  
動作選択メニュー画面に戻ります。



# システム状態確認

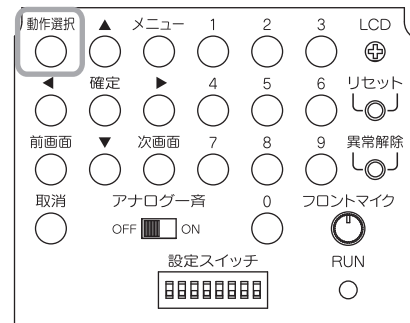
動作履歴や故障履歴の確認やユニットのバージョン確認など、システムの状態を確認することができます。確認中でも放送は可能です。確認できる項目は以下のとおりです。

- 動作履歴 : システムの動作履歴を確認します。
- 故障履歴 : 検出された故障の履歴を確認します。
- ユニットバージョン確認 : FS-2000EP、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、FS-2000RF、FS-2420JP/2110JP/2120JP、および RM-200F/200FW のソフトウェアのバージョンを確認します。
- 機器接続状態確認 : 機器の接続状態を確認します。
- 制御入力状態 : FS-2000EP の各制御入力端子について、現在の状態（メイク／ブレイク）を確認します。

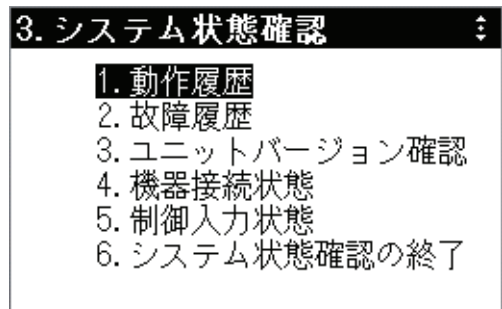
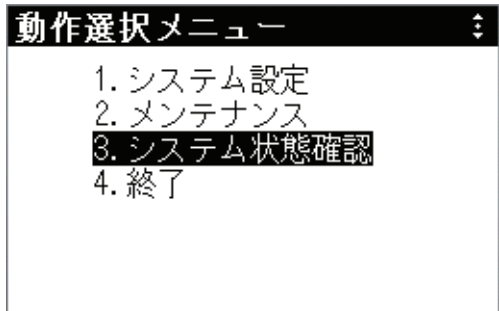
[システム状態確認モードの開始のしかた]

- 1 設定操作部の動作選択キーを押す。  
動作選択メニュー画面が表示されます。

FS-2000EP 設定操作部（キーの部分）



- 2 上下シフトキーで「3. システム状態確認」を選択し、確定キーを押す。  
システム状態確認メニュー画面が表示されます。



## ■ 動作履歴の確認 (3-1)

システムの動作履歴を確認することができます。履歴は 10000 件まで保存できます。履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

[動作履歴の確認のしかた]

**1** システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「1. 動作履歴」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
動作履歴のリストが表示されます。

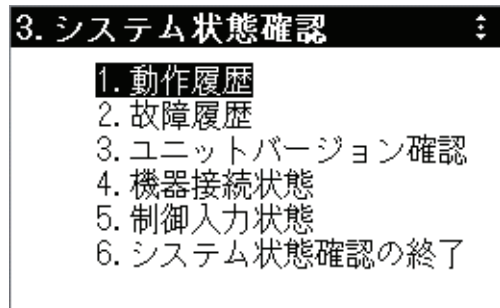
**3** 上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、確定キーを押す。  
詳細内容が表示されます。

メモ

左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の 10 件に移動します。

ご注意

時刻設定 (1-1-1) で、時刻を正しく設定してください。



3-1 動作履歴

番号	日時	属性	機器	内容	動作
----	12/01/01	----	----	----	----
0001	00:00:00	0200	0000-0000	00-0003	0
0002	00:00:00	0109	0000-0000	00-0000	0
0003	00:00:00	0104	0000-0000	00-0000	0

[詳細内容画面]

3-1 動作履歴

番号	日時	属性	機器	内容	動作
----	2012/01/01	00:00:00	----	----	----
0001					0
0002	非常放送				0
0003	EP本体				0
	非常起動				
	起動				

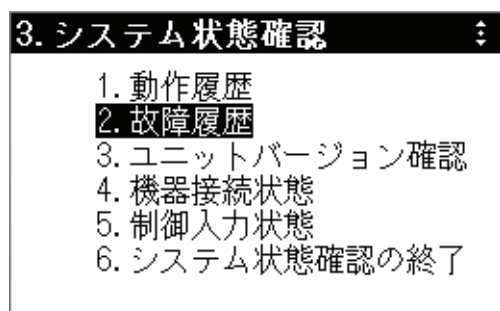
## ■ 故障履歴の確認 (3-2)

FS-2000EP の CPU によって検出されたシステムの故障履歴を確認することができます。履歴は 10000 件まで保存できます。履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

[故障履歴の確認のしかた]

**1** システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「2. 故障履歴」を選択する。

**2** 確定キーを押す。  
故障履歴のリストが表示されます。





**3** 上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、**確定キー**を押す。

詳細内容が表示されます。

メ モ

左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の10件に移動します。

**ご注意**

時刻設定 (1-1-1) で、時刻を正しく設定してください。

3-2 故障履歴					
番号	日時	属性	機器	内容	動作
0001	12/01/01	----	0000-0200	06-0000	0

[詳細内容画面]

3-2 故障履歴					
番号	日時	属性	機器	内容	動作
0001	2012/01/01 00:00:00	----	----	-----	0
機器異常検出 EP本体電源1 (ID:00) 定期点検 バッテリー異常 未接続					

**ご注意**

FS-2000 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。  
電源投入前の履歴を確認したいときは、設定支援ソフトウェアを使用してください。

## ■ ユニットバージョンの確認 (3-3)

FS-2000EP、FS-2000RM、FS-2000RM、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、FS-2000RF、FS-2420JP/2110JP/2120JP および RM-200F/200FW のファームウェアのバージョンを確認します。

[ユニットバージョンの確認のしかた]

**1** システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「3. ユニットバージョン確認」を選択する。

**2** **確定キー**を押す。  
バージョン確認画面 (各機種のファームウェアバージョン) が表示されます。

**3** バージョン確認画面で各機種のファームウェアバージョンを確認する。

3. システム状態確認	
1. 動作履歴	
2. 故障履歴	
<b>3. ユニットバージョン確認</b>	
4. 機器接続状態	
5. 制御入力状態	
6. システム状態確認の終了	

3-3 バージョン確認	
ユニット	バージョン
本体	3.00
非常RM-ALL	3.00
業務RM-ALL	-----
JP-ALL	3.00
RF-ALL	3.00

メモ

非常用リモコンやジャンクションパネルを複数台使用しているときは、上下シフトキーで「非常 RM-ALL」、「JP-ALL」、または「RF-ALL」にカーソルを合わせて、左右シフトキーで各ユニットのバージョンを確認できます。「非常 RM-ALL」、「業務 RM-ALL」、「JP-ALL」のバージョン欄には、接続されているユニットのバージョンの中で一番新しいものが表示されます。

[画面での表示と機器のアドレススイッチ設定の対応]

ユニット	ID (機器のアドレススイッチの設定)
非常 RM-1	00
非常 RM-2	01
⋮	⋮
非常 RM-10	09
非常 RM-11	0A
⋮	⋮
非常 RM-16	0F

ユニット	ID (機器のアドレススイッチの設定)
業務 RM-1	00
業務 RM-2	01
業務 RM-3	02
業務 RM-4	03

ユニット	ID (機器のアドレススイッチの設定)
JP-1	00
JP-2	01
JP-3	02
JP-4	03
JP-5	04
JP-6	05
JP-7	06
JP-8	07

ユニット	ID (機器のアドレススイッチの設定)
RF-1	00
RF-2	01
RF-3	02
RF-4	03

3-3 バージョン確認	
ユニット	バージョン
本体	3.00
◀ 非常RM-ALL ▶	3.00
業務RM-ALL	-----
JP-ALL	3.00
RF-ALL	3.00

3-3 バージョン確認	
ユニット	バージョン
本体	3.00
◀ 非常RM-1 ▶	3.00
業務RM-ALL	-----
JP-ALL	3.00
RF-ALL	3.00

## ■ 機器接続状態 (3-4)

機器の接続状態を確認します。

[機器接続状態の確認のしかた]

**1** システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「4. 機器接続状態」を選択する。

**2** 確定キーを押す。

接続状態確認（システム）画面が表示され、システム全体の接続状態が確認できます。

**3** 上下シフトキー、左右シフトキーで機器を選択する。

接続状態確認（本体）画面が表示され、選択した機器の接続状態と ID 設定状態を確認することができます。

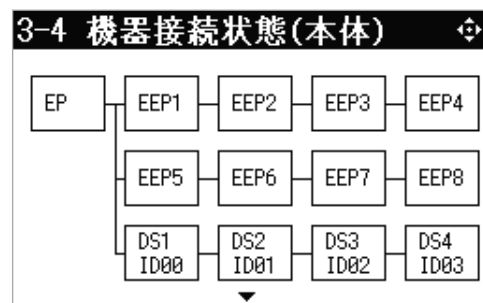
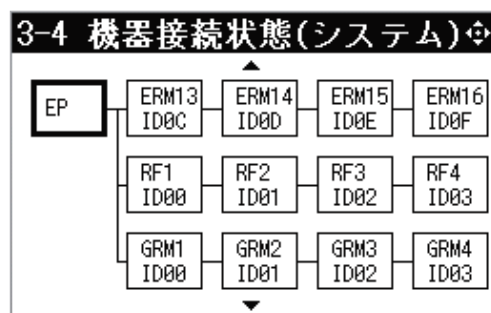
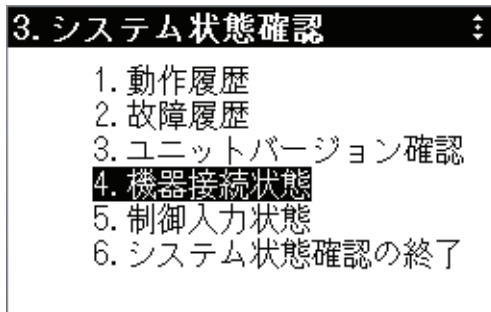
メモ

接続機器が多いときは、上下シフトキーで画面をスクロールさせて接続状態を確認できます。

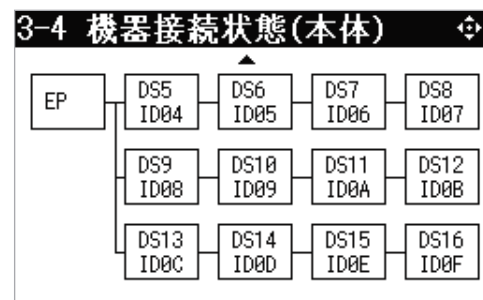
- EP : 非常用操作パネル
- ERM1 ~ 16 : 非常用リモコン (ID:「00」~「0F」)
- GRM1 ~ 4 : 業務用リモコン (ID:「00」~「03」)
- DS1 ~ 16 : 電源パネル (ID:「00」~「0F」)
- OUT1 ~ 4 : 出力系統
- DA1 ~ 3 : パワーアンプパネル (ID:「X0」~「X2」)
- JP1 ~ 8 : ジャンクションパネル (ID:「00」~「07」)
- EEP1 ~ 8 : 増設操作パネル (EP からの接続順)
- EXT1 ~ 8 : 拡張ユニット (GRM からの接続順)  
※ RM-220FW の場合も 10 局ずつ表示されます。
- RF1 ~ 4 : 非常用リモコン I/F パネル (ID:「00」~「03」)

[接続に異常がある場合]

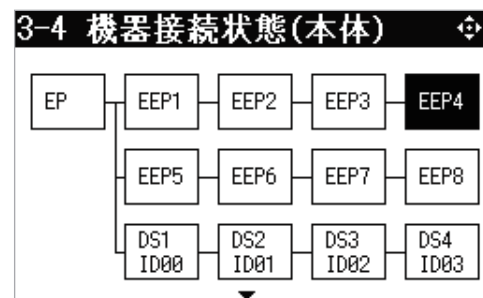
接続に異常がある機器が黒く表示されます。



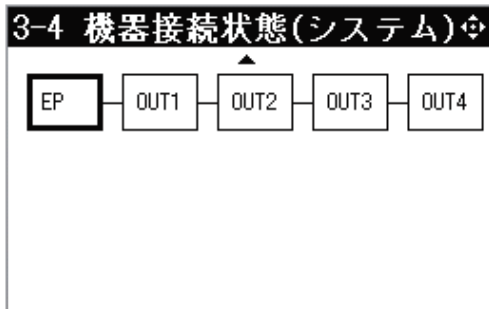
スクロールさせる



[接続に異常がある場合の画面]



4 確定キーを押す。



## ■ 制御入力状態の確認 (3-5)

FS-2000EP の各制御入力端子について、現在の状態（メイク／ブレイク）を確認します。

[制御入力状態の確認のしかた]

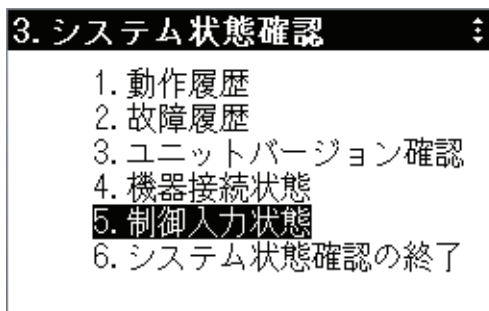
1 システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「5. 制御入力状態」を選択する。

2 確定キーを押す。  
制御入力状態画面が表示されます。

3 上下シフトキーで画面をスクロールさせて各制御入力の状態を確認する。

メモ

各制御入力端子に対する機能の設定は「制御入力の設定 (1-3-6)」で行います。



3-5 制御入力状態

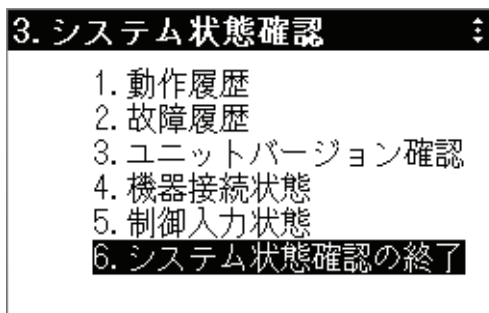
制御入力1	ブレイク
制御入力2	ブレイク
制御入力3	ブレイク
制御入力4	ブレイク
制御入力5	ブレイク
制御入力6	ブレイク

## ■ システム状態確認の終了 (3-6)

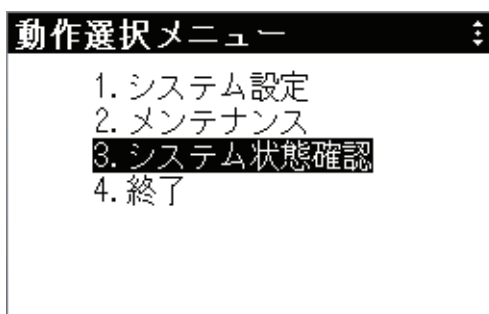
システム状態確認モードを終了するときには、「システム状態確認の終了」を選択します。

[システム状態表示の終了のしかた]

- 1 システム状態確認メニュー画面で、上下シフトキーを押して「6. システム状態表示の終了」を選択する。



- 2 確定キーを押す。  
動作選択メニュー画面に戻ります。



# 記名カードの取り付け

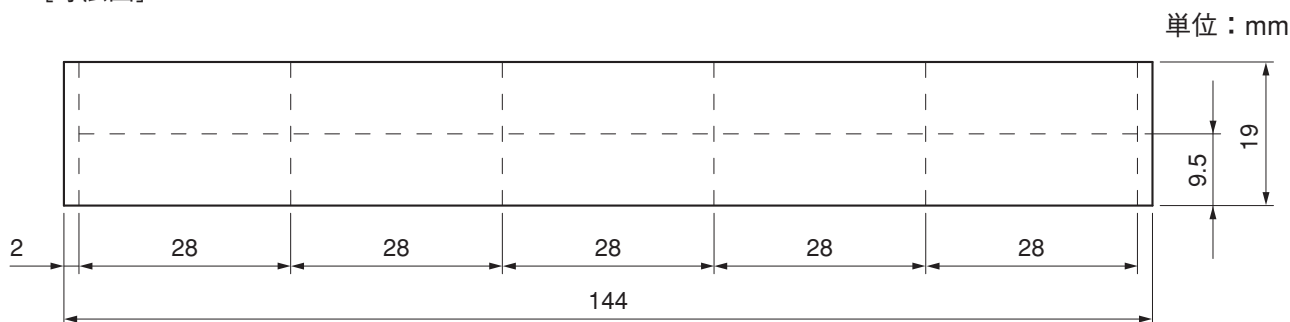
非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネルに、放送階選択スイッチおよびグループ選択スイッチの名称を記入した記名カードを取り付けます。

## ● 記名カードの作成

記名カードの作成方法は次の5通りあります。

- (1) 非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネルに取り付けられている記名カードを使用する。  
非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネルから記名カードを取り出して、名称を記入します。
- (2) 寸法図を基に、記名カードを作成する。  
下図を基に記名カードを作成します。  
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。  
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

[寸法図]



- (3) 次ページの「手書き用コピー台紙（実寸）」をコピーする。  
放送階選択スイッチに割り当てた名称を手書きします。  
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。  
はさみで切り取ってご使用ください。
- (4) FS-2000 設定支援ソフトウェアを使用する。  
FS-2000 設定支援ソフトウェアを使用して選択スイッチの名称を印刷します。  
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。  
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。  
**ご注意**  
パソコンの設定環境によっては、記名カードが正しい寸法で印刷されないことがあります。
- (5) ラベルプリンターで記名カードを作成する。  
ラベルプリンターで名称を印刷して貼り付けます。幅 9 mm 以下のテープを使用し、長さ 27 mm 以内でラベルを作成してください。

[手書き用コピー台紙 (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)]

	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					
	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					
	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					
	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					
	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					
	記名カード (非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネル専用)				
←					

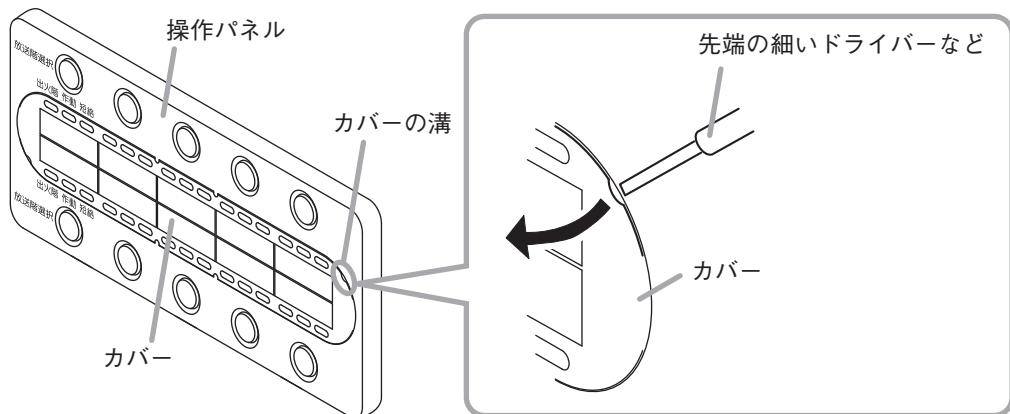


## ● 記名カードの取り付け

記名カードを非常用操作パネル、増設操作パネル、非常用リモコンパネルに取り付けます。

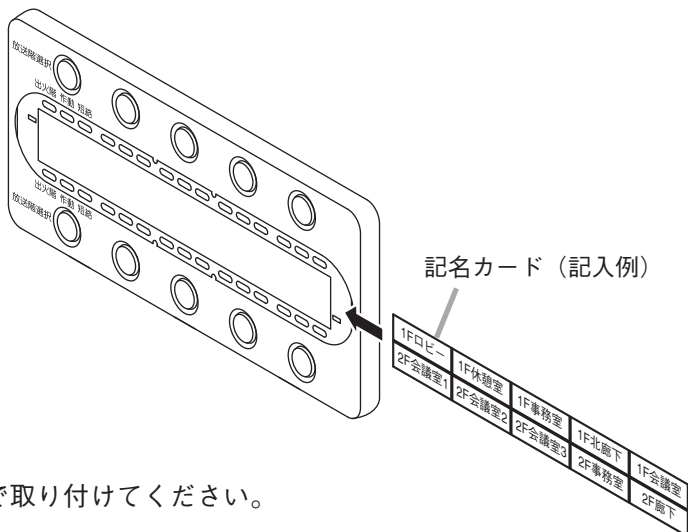
### 1 操作パネルのカバーを外す。

カバーをたわませて取り外します。カバーの溝にドライバーなどを入れて外すと、作業が容易に行えます。



### 2 記名カードを取り付ける。

作成した記名カードを操作パネルにはめ込みます。

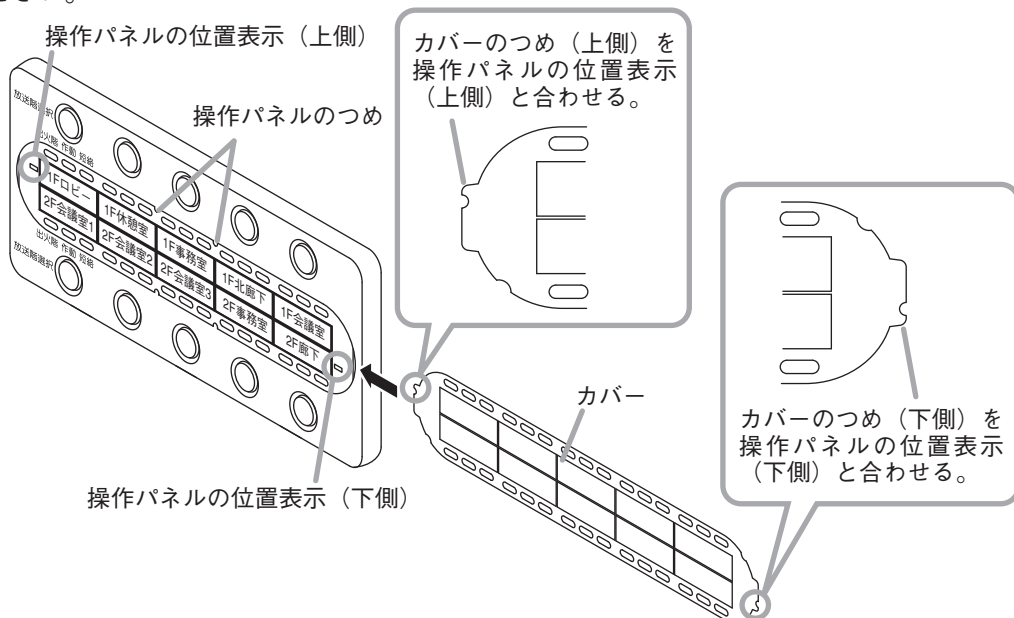


### 3 カバーを操作パネルに取り付ける。

カバーを操作パネルのつめの内側に差し込んで取り付けてください。

#### ご注意

カバーは左右どちらからでも操作パネルに挿入できます。ただし、カバーには表裏がありますので、表裏を合わせるために、下図のようにカバー左右のつめ部分を操作パネルの位置表示と合わせて取り付けてください。



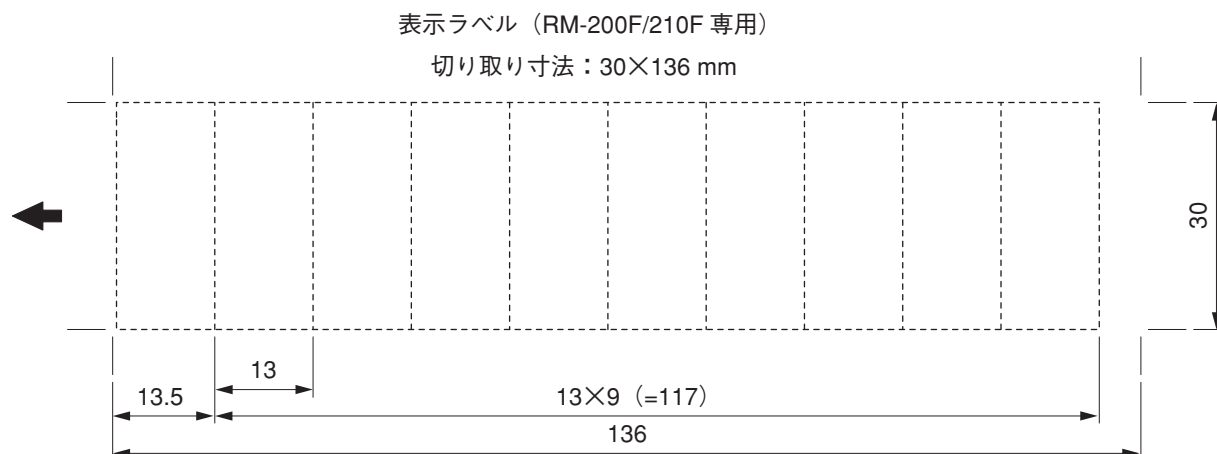
# 業務用リモコンの表示ラベルの取り付け

## ● RM-200F/210F の場合

### 1 次のいずれかの方法で RM-200F/210F 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

#### 1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



#### 1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

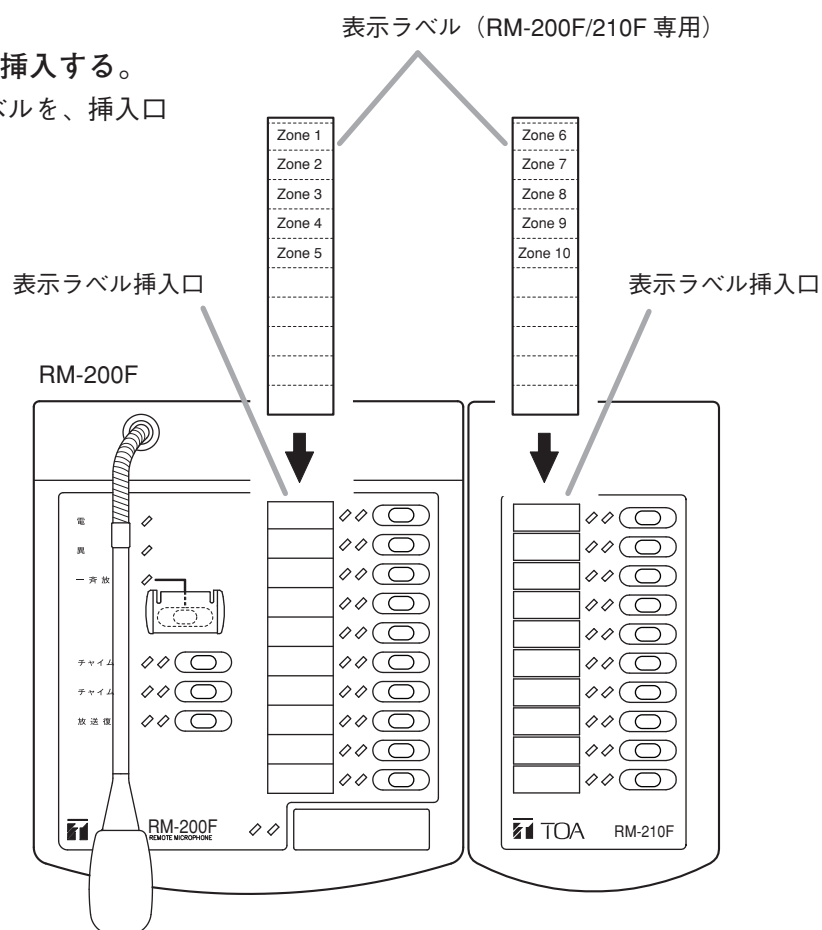
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

#### 1-3 FS-2000 設定支援ソフトウェアを使用する。

RM-200F と RM-210F の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

### 2 表示ラベルを RM-200F/210F に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙 (RM-200F/210F 専用)]

表示ラベル (RM-200F/210F 専用)



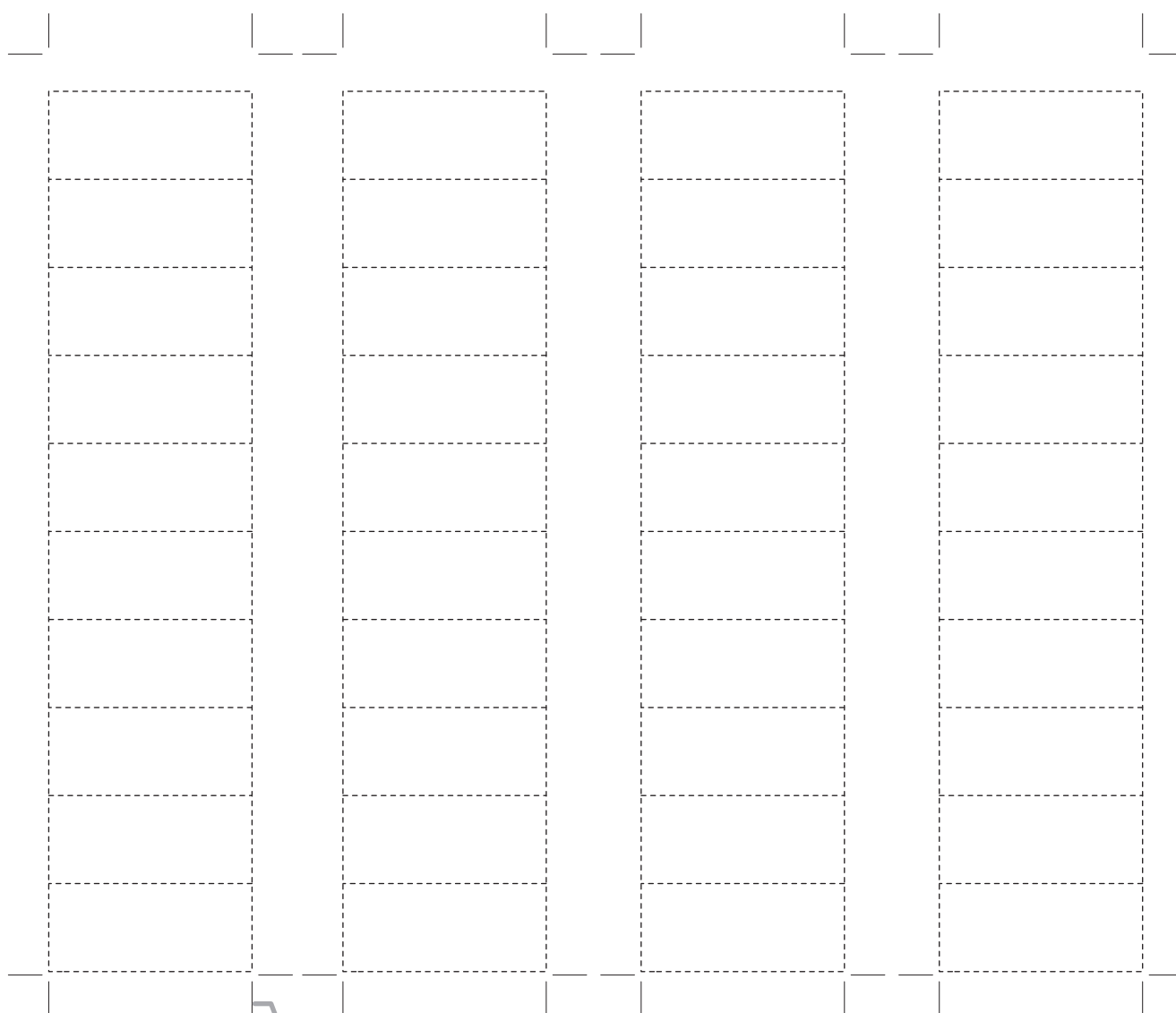
実寸

表示ラベル  
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル  
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル  
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル  
(RM-200F/210F 専用)



挿入方向

ガイドライン

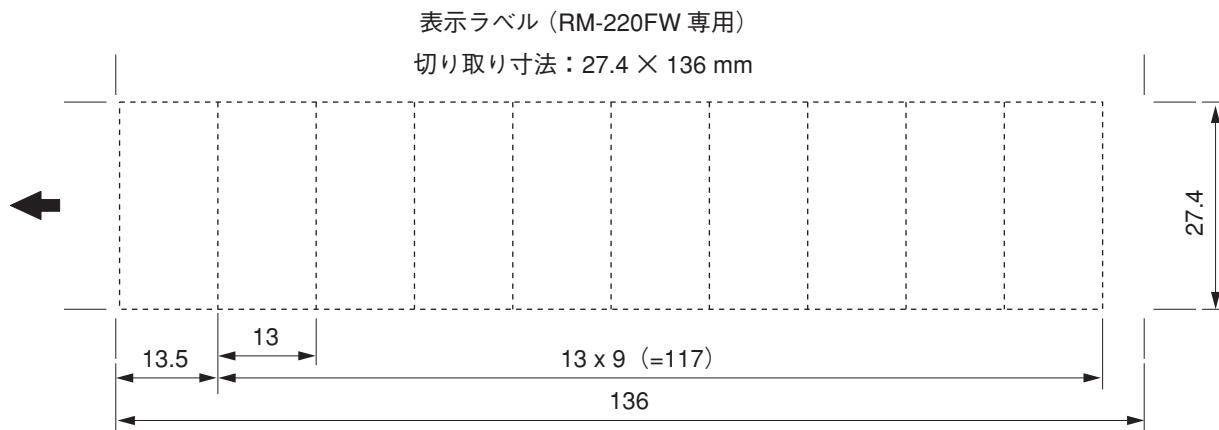
実寸

## ● RM-220FW の場合

### 1 次のいずれかの方法で RM-220FW 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

#### 1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



#### 1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

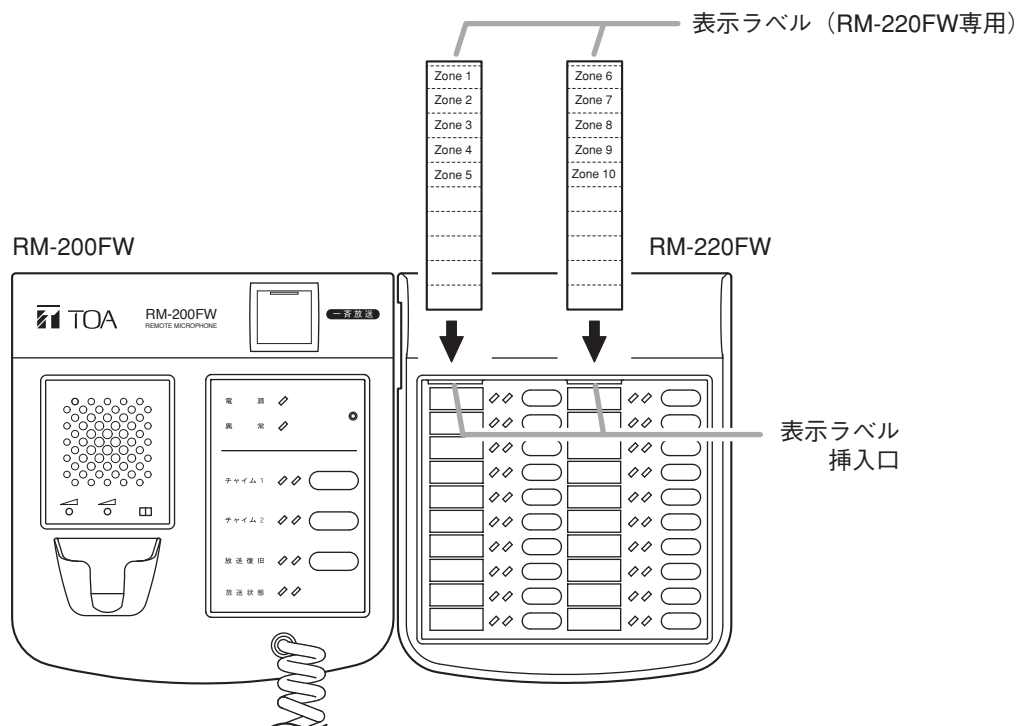
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

#### 1-3 FS-2000 設定支援ソフトウェアを使用する。

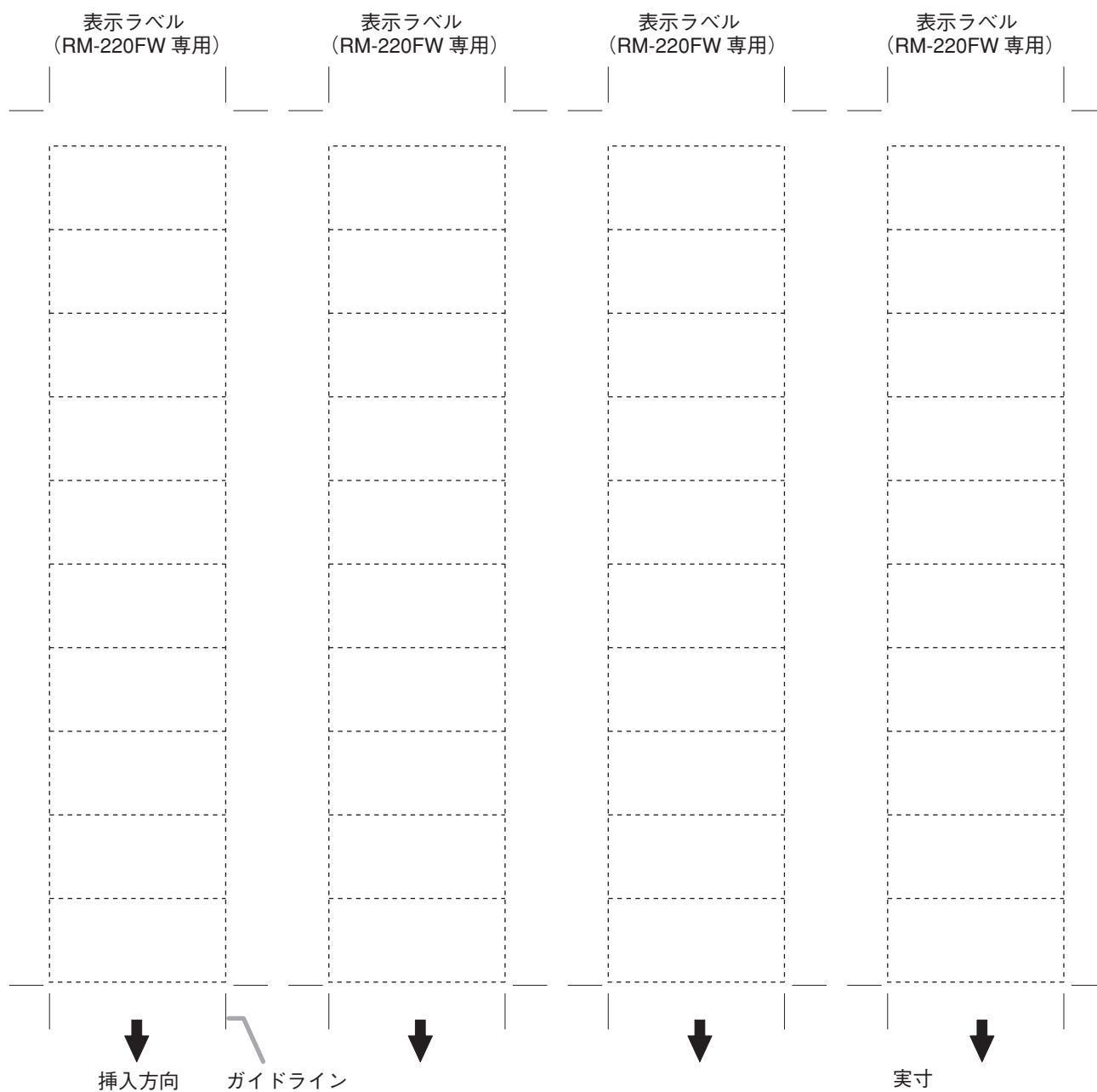
RM-220FW の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

### 2 表示ラベルを RM-220FW に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



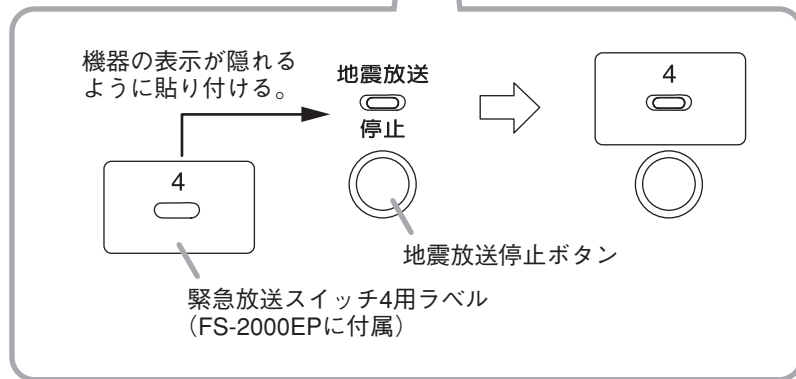
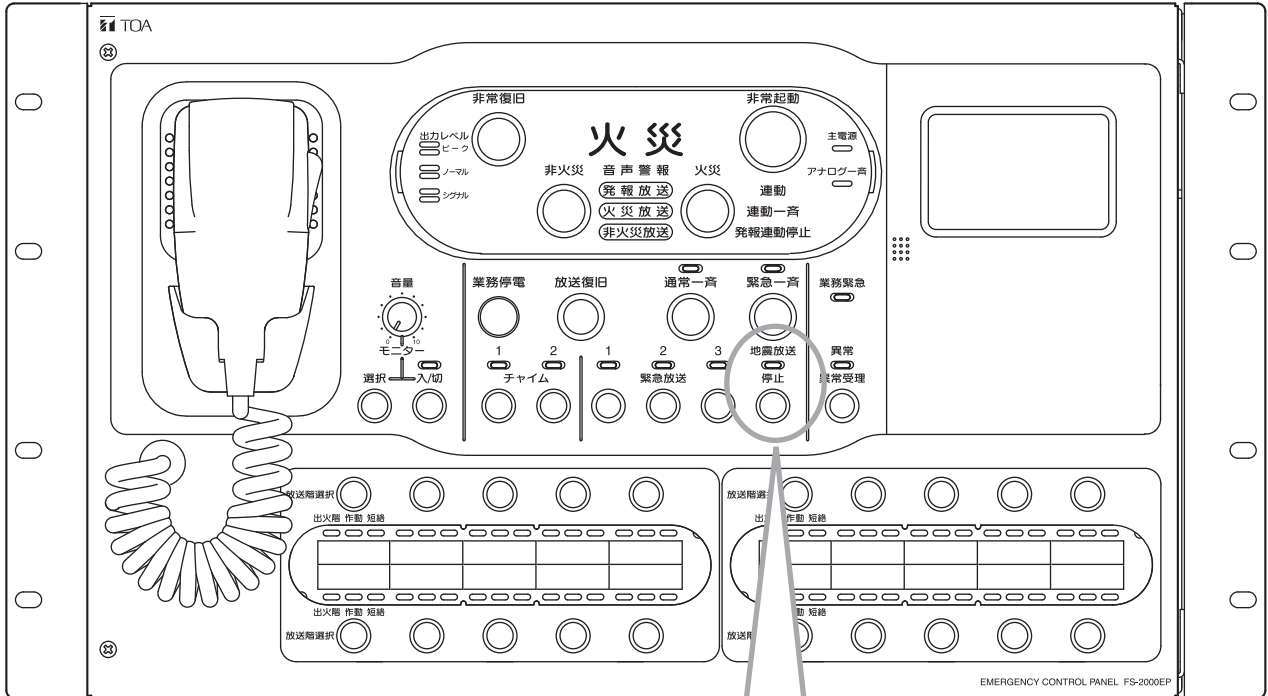
[手書き用コピー台紙 (RM-220FW 専用)]




# 緊急放送スイッチ 4 用ラベルの取り付け

緊急地震放送を行わず、非常用操作パネルの地震放送停止スイッチを緊急放送スイッチ 4 として使用する場合は、非常用操作パネルに付属の緊急放送スイッチ 4 用ラベルを以下の場所に貼り付けてください。  
 ( P. 59 「緊急放送スイッチの設定」)

FS-2000EP操作部



# データの初期化

FS-2000 本体の設定データを初期状態（工場出荷時の設定）に戻します。（ 次ページ「設定データの初期値」）

[初期化のしかた]

- 1 設定操作部の動作選択キーを押す。  
動作選択メニュー画面が表示されます。
- 2 上下シフトキーで「1. システム設定」を選択し、確定キーを押す。  
暗証番号入力画面が表示されます。
- 3 数字キーで4桁の暗証番号を入力する。  
システム設定メニュー画面が表示されます。  

メ	モ
---	---

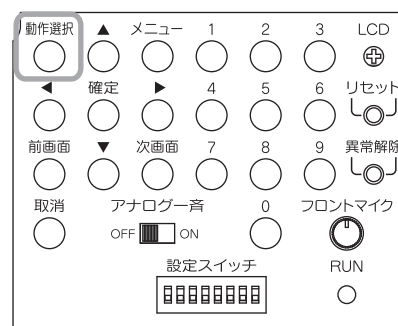
  - 工場出荷時には、暗証番号は「5555」に登録されています。
  - 暗証番号の登録はシステム設定の「初期設定」で行います。
- 4 上下シフトキーで「6. 設定初期化」を選択し、確定キーを押す。  
確認画面が表示されます。

- 5 確認の上、確定キーを押す。  
設定データおよび音源情報データが初期化されます。  

メ	モ
---	---

時刻、動作履歴・故障履歴は初期化されません。  
暗証番号は初期化されます。

FS-2000EP 設定操作部（キーの部分）



## 動作選択メニュー

1. システム設定
2. メンテナンス
3. システム状態確認
4. 終了

## 暗証番号入力

暗証番号を入力してください



## 1. システム設定

1. 初期設定
2. 機器構成設定
3. 機器制御設定
4. 非常放送設定
5. 業務放送設定
6. 設定初期化
7. システム設定の終了

## 1. システム設定

### ！ 確認

すべてのシステム設定を工場出荷時の設定に初期化しますか？

[確定]: 初期化する  
[取消]: システム設定メニューに戻る

# 設定データの初期値

各設定データの初期値（工場出荷時の状態）は、以下のように設定されています。

## ● 機器構成設定（1-2）

### ◎ 本体設定（1-2-1）

[本体設定]

増設操作パネル	局 / 無し
非常用リモコン	台 / 無し
業務用リモコン	台 / 無し
業務停電放送	有効 / 無効
電源パネル	1台

### ◎ 本体電源パネル設定（1-2-4）

[本体電源パネル設定]

No.	機種	ID
1	FS-2050DS	00

### ◎ アンプ設定（1-2-5）

[出力設定]

出力系統	機種（×台数）	ID
1	FS-2136DA	00

### ◎ ジャンクションパネル設定（1-2-6）

[ジャンクションパネル設定]

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00

### ◎ 出力系統設定（1-2-7）

[出力系統設定]

回線番号

	1
	20
出力系統 1	●
----	
----	
----	

## ● 機器制御設定（1-3）

### ◎ 回線グループ設定（1-3-1）

回線グループ設定の初期値は、以下のように設定されています。

グループ番号 1～20 : 回線 1～20

グループ番号 21～99 : 設定なし

グループ番号 100 : 全回線

[回線グループ設定]

グループ 番号	回線1	回線2	回線3	...	回線20	...	回線160
1	○						
2		○					
3			○				
⋮				⋮			
20					○		
21							
⋮							
99							
100	○	○	○	⋮	○	○	○



◎ 本体 SW 設定 (1-3-2)

[一斉放送スイッチ・放送階選択スイッチ設定]

	用途				緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号	非常系統番号
	非常	業務	兼用	BGM 未使用				
通常一斉放送スイッチ			-		無し	グループ	100	-
緊急一斉放送スイッチ			-		有り	グループ	100	-
放送階選択スイッチ 1			○		無し	個別	1	1
2			○		無し	個別	2	2
.			○		無し	個別	.	.
.			○		無し	個別	.	.
.			○		無し	個別	.	.
20			○		無し	個別	20	20
21				○	-	-	-	-
22				○	-	-	-	-
.				○	-	-	-	-
.				○	-	-	-	-
.				○	-	-	-	-
100				○	-	-	-	-

※ 増設操作パネル、ジャンクションパネルの局数を最大に設定した場合

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1	○			
チャイムスイッチ2		○		

◎ 非常 RM SW 設定 (1-3-3)

本体設定で非常用リモコンの台数を 1 ~ 16 台に設定した場合、非常 RM 番号 1 ~ 16 とともに FS-2000 本体と同じように設定されています。

◎ 業務 RM SW 設定 (1-3-4)

本体設定で業務用リモコンの台数を 1 ~ 4 台に設定した場合、業務 RM 番号 1 ~ 4 とともに以下のように設定されています。

[業務用リモコン動作設定]

PTT/LOCK	PTT / <u>LOCK</u>
タイムアウト	分 / <u>連続</u>
チャイム音量	-6 dB
待ち時間	0 秒
AUX入力	使用する / <u>使用しない</u>

※ RM-200FW は PTT 式で固定です。

[一斉放送スイッチ・回線選択スイッチ設定]

	用途		緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
	業務	未使用			
一斉放送スイッチ	○		無し	グループ	100
回線選択スイッチ1	○		無し	個別	1
2	○		無し	個別	2
.	○		無し	個別	.
.	○		無し	個別	.
.	○		無し	個別	.
160	○		無し	個別	160

※ 拡張ユニットの局数を最大に設定した場合

[チャイムスイッチ設定]

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1	○			
チャイムスイッチ2		○		

◎ 緊急放送 SW 設定 (1-3-5)

[緊急放送スイッチ設定]

	用途			音源番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
	緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ 1	○			1	有り	グループ	100
2	○			2	有り	グループ	100
3	○			3	有り	グループ	100
4		○		-	-	-	-

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

[制御入力設定]

接点入力端子	用途									番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
	電話ページング放送	タイマー放送	外部マイク放送	接点式RM放送	BGM放送	ローカル放送	接点式RMチャイム	緊急地震放送	緊急放送				
制御入力1										○	-	-	-
制御入力2										○	-	-	-
制御入力3										○	-	-	-
制御入力4										○	-	-	-
制御入力5										○	-	-	-
制御入力6										○	-	-	-
制御入力7										○	-	-	-
制御入力8										○	-	-	-
制御入力9										○	-	-	-
制御入力10										○	-	-	-
接点式RM1				○							-	無し	個別 1
接点式RM2				○							-	無し	個別 2
接点式RM3				○							-	無し	個別 3
接点式RM4				○							-	無し	個別 4
接点式RM5				○							-	無し	個別 5
接点式RM6				○							-	無し	個別 6
接点式RM7				○							-	無し	個別 7
接点式RM8				○							-	無し	個別 8
接点式RM9				○							-	無し	個別 9
接点式RM10				○							-	無し	個別 10
接点式RM一斉				○							-	無し	グループ 100
接点式RMチャイム1						○					3	-	-
接点式RMチャイム2										○	-	-	-
緊急地震放送入力							○				1	-	グループ 100
電話ページング入力	○										-	無し	グループ 100
タイマー入力		○									-	有り	グループ 100
外部マイク入力			○								-	無し	グループ 100

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定]

接点番号	用途											
	音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用
制御出力1	○											
制御出力2		○										
制御出力3			○									
制御出力4				○								
制御出力5					○							
制御出力6						○						
制御出力7							○					
制御出力8								○				
制御出力9									○			
制御出力10										○		
制御出力11											○	
制御出力12												○

● 非常放送設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定]

手動・発信機起動	発報 / 火災
感知器発報放送	連動 / 連動停止
発報放送回数	2 回
発報放送繰返し設定	無し / 繰返し / 継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	日本語 / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定]

火災放送移行タイマー	2 分 0 秒
一斉移行機能	有り / 無し
一斉移行タイマー	2 分 0 秒

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定]

自火報選択連動	連動 / 一斉
手動階放送連動	階別 / 連動
二度押し復旧	禁止 / 許可

◎ 階メッセージ設定 (1-4-4)

[階メッセージ設定]

EL端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1	1	非常系統1	6	1階
2	2	非常系統2	7	2階
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
75	75	非常系統75	80	新館エレベーター
76	76	非常系統76	—	未使用
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
160	160	非常系統160	—	未使用

◎ 出火階連動動作設定 (1-4-5)

[出火階連動系統設定]

		連動系統									
		1	2	3	・	・	・	159	160		
出火系統	1	◎	○								
	2		◎	○							
	3			◎	○						
	・				◎	○					
	・					◎	○				
	・						◎	○			
	159							◎	○		
160									◎		

☒ ☒ 「◎」は出火系統、「○」は連動系統を表します。

● 業務放送設定 (1-5)

◎ 業務放送動作設定 (1-5-1)

[業務放送動作設定]

業務放送	BGM制御設定					チャイム連動設定											
	アナキーパ	ボイススイッチ	ミュート	カット	制御なし	起動チャイム					終了チャイム						
						1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用		
本体放送		○									○						○
非常RM1放送		○									○						○
非常RM2放送		○									○						○
非常RM3放送		○									○						○
非常RM4放送		○									○						○
非常RM5放送		○									○						○
非常RM6放送		○									○						○
非常RM7放送		○									○						○
非常RM8放送		○									○						○
非常RM9放送		○									○						○
非常RM10放送		○									○						○
非常RM11放送		○									○						○
非常RM12放送		○									○						○
非常RM13放送		○									○						○
非常RM14放送		○									○						○
非常RM15放送		○									○						○
非常RM16放送		○									○						○
業務RM1放送	○										○						○
業務RM2放送	○										○						○
業務RM3放送	○										○						○
業務RM4放送	○										○						○
接点式RM放送					○						○						○
タイマー放送					○						○						○
電話ページング放送					○						○						○
外部マイク放送					○						○						○

○ ボイススイッチ設定 (1-5-1-1)

[ボイススイッチ設定]

種類	感度	BGM 減衰量	ホールド時間	BGM 復帰時間	減衰開始時間	減衰時間	復帰開始感度
本体放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM1 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM2 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM3 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM4 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM5 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM6 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM7 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM8 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM9 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM10 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM11 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM12 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM13 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM14 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM15 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
非常 RM16 放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB
外部マイク放送	-30 dB	-40 dB	2 秒	1 秒	0 秒	0 秒	-40 dB

○ 優先度設定 (1-5-2)

[優先度設定]

種類	優先度 (1 ~ 20)
本体放送	2
非常 RM1 放送	3
非常 RM2 放送	4
非常 RM3 放送	5
非常 RM4 放送	6
非常 RM5 放送	6
非常 RM6 放送	6
非常 RM7 放送	6
非常 RM8 放送	6
非常 RM9 放送	6
非常 RM10 放送	6
非常 RM11 放送	6
非常 RM12 放送	6
非常 RM13 放送	6
非常 RM14 放送	6
非常 RM15 放送	6
非常 RM16 放送	6
業務 RM1 放送	7
業務 RM2 放送	8
業務 RM3 放送	9
業務 RM4 放送	10
接点式 RM 放送	11
タイマー放送	1
電話ページング放送	12
外部マイク放送	13
緊急放送 1	1
緊急放送 2	1
緊急放送 3	1
緊急放送 4	1

○ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

[非常断 24V 出力設定]

非常断 24V 出力端子	業務放送時動作
# 1	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> カット / 緊急カット
# 2	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> カット / 緊急カット

○ 同一優先度動作設定 (1-5-3)

[同一優先度動作設定]

優先度	同一優先度動作
1	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
2	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
3	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
4	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
5	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
6	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
7	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
8	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
9	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
10	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
11	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
12	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
13	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
14	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
15	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
16	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
17	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
18	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
19	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り
20	先取り / <input checked="" type="radio"/> 後取り

○ 音量設定 (1-5-5)

[音量設定]

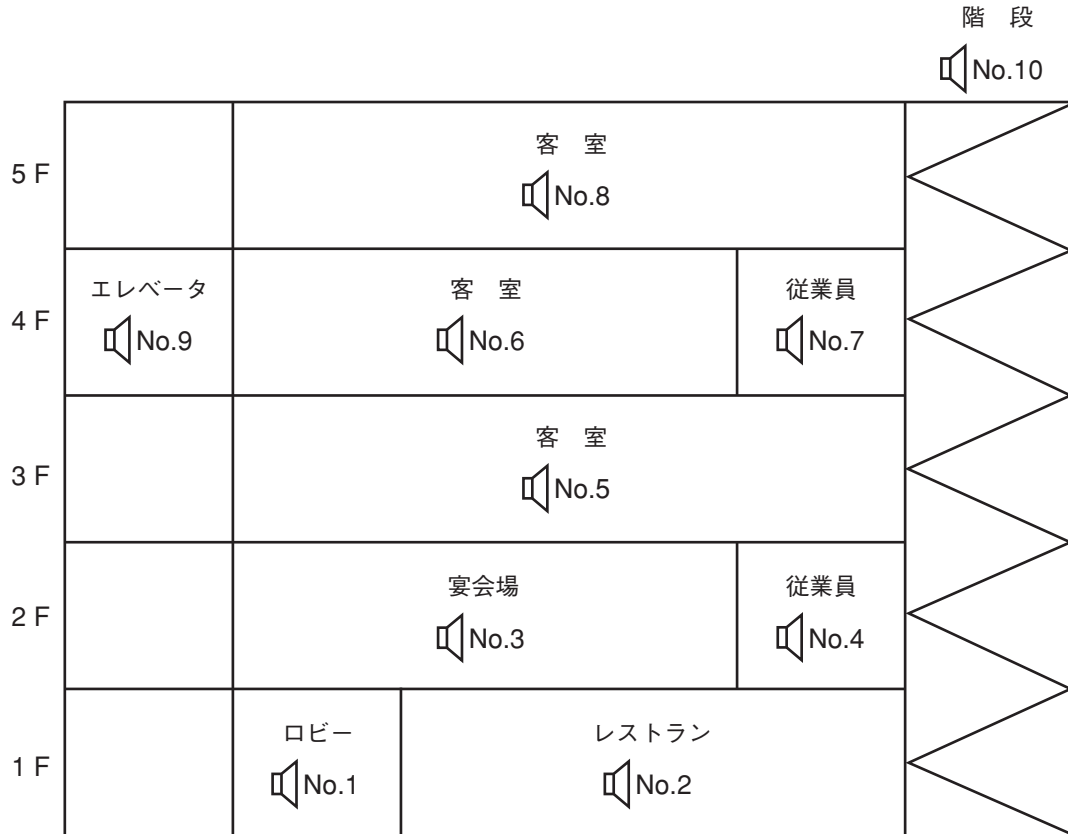
種別	音源番号	音量
緊急放送 チャイム	1 ~ 10	0 dB
	1	-10 dB
	2	-10 dB
	3	-10 dB
点検音源	4	-10 dB
	1	-10 dB
	2	-20 dB

# 設定表の記入方法

## ■ スピーカー回線の構成例

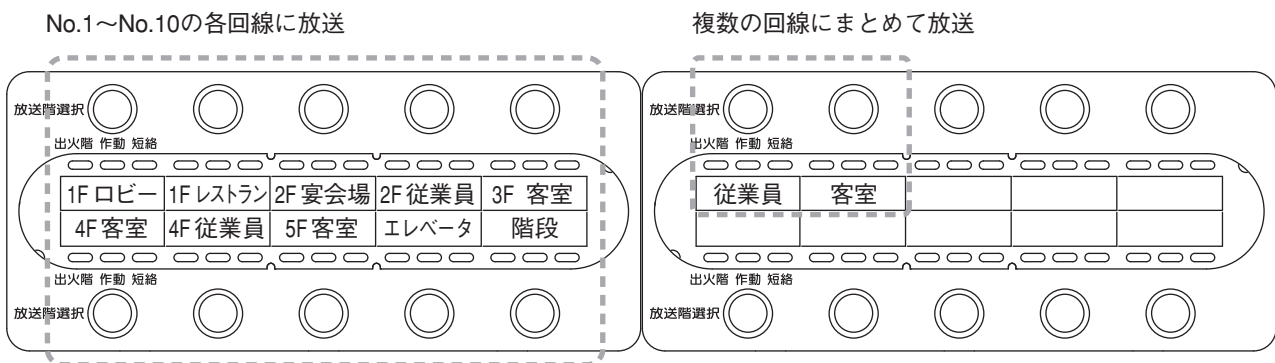
本章では、以下のようなホテルを例にあげて、設定表の記入方法を説明します。

[建物の構成]



※ No.1 ~ No.10 はスピーカー回線の番号です。

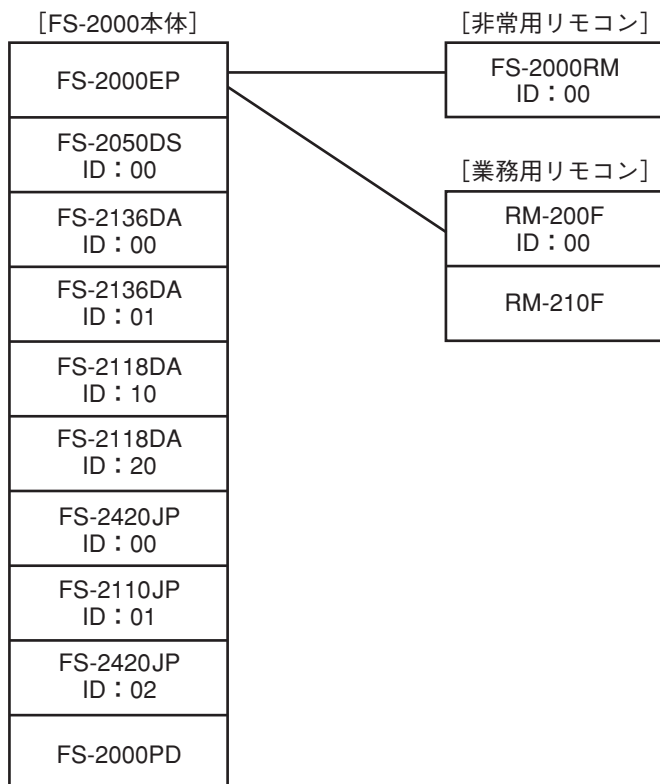
[放送階選択スイッチへの割り当て]



## ■ 設定表の記入例

- システム設定を始める前に、設定表に設定内容を記入してください。設定した内容の保存や、設定を容易にするために必ず記入をしてください。
- 本書の最後にある設定表をコピーしてお使いください。
- 決められた機器の仕様に従って記入してください。
- 設定内容についての詳細は、P. 12「システム設定のしかた」をお読みください。

[システム例]



以下の設定表の記入例は、上図のシステム構成のように設置した場合です。

### ● 機器構成設定 (1-2)

#### ◎ 本体設定 (1-2-1)

[本体設定] (参照 P. 16 「FS-2000 本体の設定」)

増設操作パネル	局 / <del>無し</del>
非常用リモコン	1台 / 無し
業務用リモコン	1台 / 無し
業務停電放送	有効 / <del>無効</del>
電源パネル	1台

#### ◎ 非常 RM 設定 (1-2-2)

[非常 RM 設定] (参照 P. 19 「非常用リモコンの設定」)

No.	ID	増設操作パネル	電源パネル
1	00	局 / <del>無し</del>	台 / <del>無し</del>
2	01	局 / 無し	台 / 無し

※ 非常用リモコンを使用しないときは、この表は記入不要です。

### ◎ 業務 RM 設定 (1-2-3)

[業務 RM 設定] (参照 P. 21 「業務用リモコンの設定」)

No.	機種	ID	拡張ユニット
1	RM-200F	00	10 局 / 無し
2		01	局 / 無し

※ 業務用リモコンを使用しないときは、この表は記入不要です。

### ◎ 本体電源パネル設定 (1-2-4)

[本体電源パネル設定]

No.	機種	ID
1	FS-2050DS	00

× モ

- FS-2006DS は「FS-2006DS (非常)」 「FS-2006DS (業務)」のように、非常電源用途か業務電源用途かを区別して記入してください。
- FS-2006DS の用途によって、業務停電放送設定スイッチの設定が異なります。  
(参照 別冊の設置説明書「業務停電放送をするときの設定」)

### ◎ アンプ設定 (1-2-5)

[アンプ設定] (参照 P. 24 「アンプ設定」)

出力系統	機種 (×台数)	ID
1	FS-2136DA × 2	00
2	FS-2118DA	10
3	FS-2118DA	20
4		

- ※ 機種 (×台数) : パワーアンプパネルの機種と台数  
ID : パワーアンプパネルの ID (設定画面には、最初は表示されません。)

× モ

- パワーアンプ 2 台または 3 台をパラレル接続して使用するときは、「FS-2136DA × 2」 「FS-2136DA × 3」と記入してください。
- ID 欄は、設定後、アンプ設定画面に自動的に表示されますので、その表示に従って記入してください。

### ◎ ジャンクションパネル設定 (1-2-6)

[ジャンクションパネル設定] (参照 P. 25 「ジャンクションパネル設定」)

No.	機種	ID
1	FS-2420JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2420JP	02
4		

### ◎ 出力系統設定 (1-2-7)

[出力系統設定] (参照 P. 26 「出力系統設定」)

JP	機種	ID
1	FS-2420JP	00

回線番号

	1	6	11	16
	5	10	15	20
出力系統 1	●			
出力系統 2		●		
出力系統 3			●	●

JP	機種	ID
2	FS-2110JP	01

回線番号

	21
	30
出力系統 1	●
出力系統 2	
出力系統 3	

JP	機種	ID
3	FS-2420JP	02

回線番号

	41	46	51	56
	45	50	55	60
出力系統 1				
出力系統 2	●	●		
出力系統 3				



● 機器制御設定 (1-3)

◎ 回線グループ設定 (1-3-1)

[回線グループ設定] ( P. 28 「回線グループの設定」)

グループ 番号	名称	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5	回線6	回線7	回線8	回線9	回線10
1	全館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	従業員				○			○			
3	客室					○	○		○		
4											

◎ 本体 SW 設定 (1-3-2)

[一斉放送スイッチ・放送階選択スイッチ設定] ( P. 29 「放送階選択スイッチの設定」)

( P. 36 「通常・緊急一斉放送スイッチの設定」)

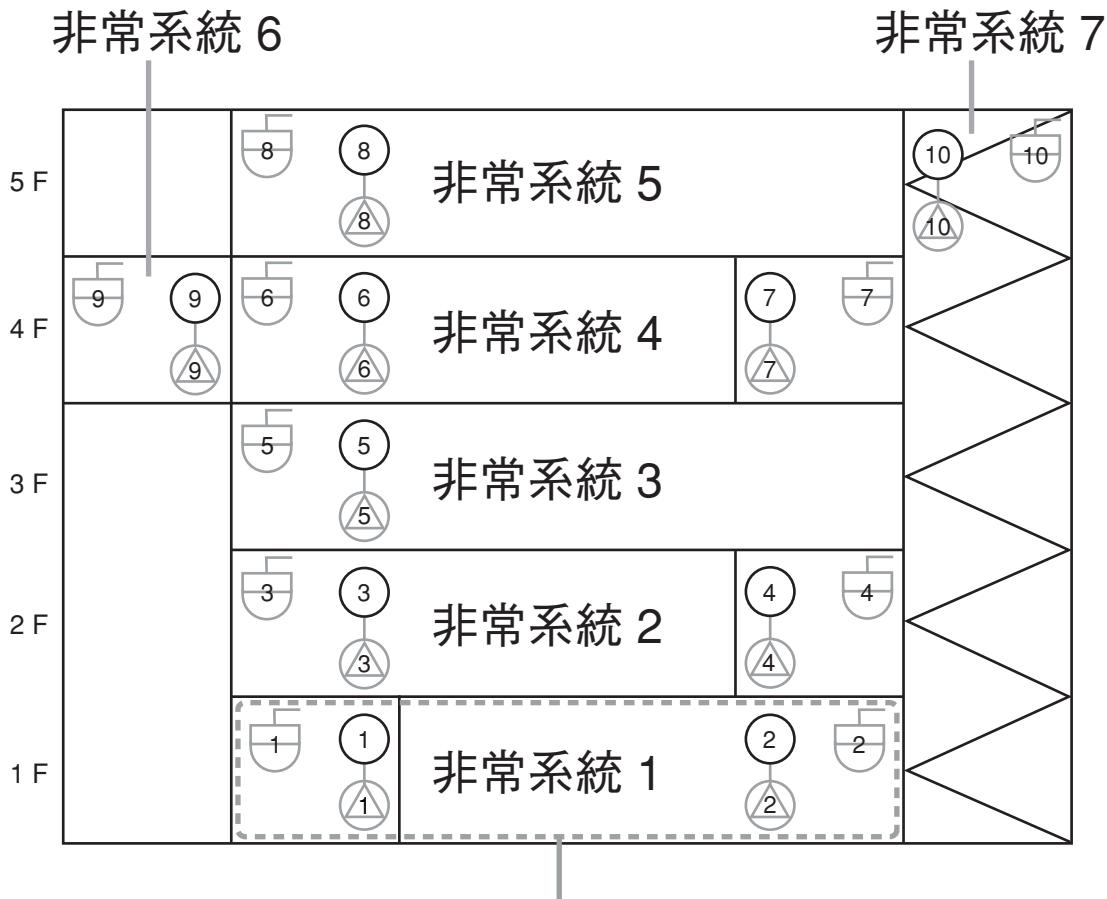
	名称	用途				緊急	個別 /グループ	回線/ グループ番号	非常系統 番号
		非常	業務	兼用	BGM 未使用				
通常一斉放送スイッチ	全館(通常)			-		無し	グループ	1	-
緊急一斉放送スイッチ	全館(緊急)			-		有り	グループ	1	-
放送階選択スイッチ 1	1Fロビー			○		無し	個別	1	1
2	1Fレストラン			○		無し	個別	2	1
3	2F 宴会場			○		無し	個別	3	2
4	2F 従業員			○		無し	個別	4	2
5	3F 客室			○		無し	個別	5	3
6	4F 客室			○		無し	個別	6	4
7	4F 従業員			○		無し	個別	7	4
8	5F 客室			○		無し	個別	8	5
9	エレベータ			○		無し	個別	9	6
10	階段			○		無し	個別	10	7
11	従業員		○			無し	グループ	2	-
12	客室		○			無し	グループ	3	-
13	未使用					-	-	-	-
14	未使用					-	-	-	-
15	未使用					-	-	-	-
16	未使用					-	-	-	-
17	未使用					-	-	-	-
18	未使用					-	-	-	-
19	未使用					-	-	-	-
20	未使用					-	-	-	-

× モ 表の ■ 部は記入不要です。

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-2000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

[非常系統の例]

前述の記入例では、放送階選択スイッチに対して以下のように非常系統を設定しています。



例：放送階選択スイッチ1および2で放送するエリアを非常系統1として設定する。

○：放送階選択スイッチ    △：スピーカー回線    〇：階別信号 (EL)

[チャイムスイッチ設定] (参照 P. 38 「放送階選択スイッチの設定」)

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1	○			
チャイムスイッチ2		○		

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-2000 本体と各非常用リモコンについて本シートを作成します。

◎ 非常 RM SW 設定 (1-3-3)

非常用リモコンを使用する場合、設定表の記入方法は本体 SW 設定と同様です。

◎ 業務 RM SW 設定 (1-3-4)

[業務RM動作設定] (参照 P. 46 「業務用リモコンの動作の設定」)

PTT/LOCK	PTT / <del>LOCK</del>
タイムアウト	分 / <del>連続</del>
チャイム音量	-6 dB
待ち時間	0 秒
AUX入力	使用する / <del>使用しない</del>

※ 業務用リモコンを複数台使用するときには、各リモコンについて本シートを作成します。

[一斉放送スイッチ・回線選択スイッチ設定] ( P. 56 「一斉放送キーの設定」)  
( P. 51 「回線選択キーの設定」)

	名称	用途		緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		業務	未使用			
一斉放送スイッチ	全館(通常)	○		無し	グループ	1
回線選択スイッチ1	1Fロビー	○		無し	個別	1
2	1Fレストラン	○		無し	個別	2
3	2F宴会場	○		無し	個別	3
4	2F従業員	○		無し	個別	4
5	3F客室	○		無し	個別	5
6	4F客室	○		無し	個別	6
7	4F従業員	○		無し	個別	7
8	5F客室	○		無し	個別	8
9	エレベータ	○		無し	個別	9
10	階段	○		無し	個別	10
11	従業員	○		無し	グループ	2
12	客室	○		無し	グループ	3
13	未使用		○	-	-	-
14	未使用		○	-	-	-
15	未使用		○	-	-	-
16	未使用		○	-	-	-
17	未使用		○	-	-	-
18	未使用		○	-	-	-
19	未使用		○	-	-	-
20	未使用		○	-	-	-

× モ 表の 部は記入不要です。

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて本シートを作成します。

[チャイムスイッチ設定] ( P. 58 「チャイムキーの設定」)

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1	○			
チャイムスイッチ2		○		

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて本シートを作成します。

### ◎ 緊急放送 SW 設定 (1-3-5)

[緊急放送SW設定] ( P. 59 「緊急放送スイッチの設定」)

	名称	用途			音源番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ1	火災訓練	○			2	有り	グループ	1
2	地震訓練	○			3	有り	グループ	1
3	防犯(一般)	○			6	有り	グループ	1
4	地震放送停止		○		-	-	-	-

※ 緊急放送 SW 設定は、FS-2000 本体と非常用リモコンで共通です。

× モ 表の 部は記入不要です。

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

[制御入力設定] ( P. 64 「制御入力の設定」)

接点入力端子	接点名称	用途										番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号	
		電話ページング放送	タイマー放送	外部マイク放送	接点式RM放送	BGM放送	ローカル放送	接点式RMチャイム	緊急地震放送	緊急放送	緊急放送停止					未使用
制御入力1	ローカル入力						○						1	無し	グループ	1
制御入力2	未使用											○	-	-	-	-
制御入力3	未使用											○	-	-	-	-
制御入力4	未使用											○	-	-	-	-
制御入力5	未使用											○	-	-	-	-
制御入力6	未使用											○	-	-	-	-
制御入力7	未使用											○	-	-	-	-
制御入力8	未使用											○	-	-	-	-
制御入力9	未使用											○	-	-	-	-
制御入力10	未使用											○	-	-	-	-
接点式RM1	接点式RM 選択SW1				○								-	無し	個別	1
接点式RM2	接点式RM 選択SW2				○								-	無し	個別	2
接点式RM3	接点式RM 選択SW3				○								-	無し	個別	3
接点式RM4	接点式RM 選択SW4				○								-	無し	個別	4
接点式RM5	接点式RM 選択SW5				○								-	無し	個別	5
接点式RM6	接点式RM 選択SW6				○								-	無し	個別	6
接点式RM7	接点式RM 選択SW7				○								-	無し	個別	7
接点式RM8	接点式RM 選択SW8				○								-	無し	個別	8
接点式RM9	接点式RM 選択SW9				○								-	無し	個別	9
接点式RM10	接点式RM 選択SW10				○								-	無し	個別	10
接点式RM一斉	接点式RM 一斉放送SW				○								-	無し	グループ	1
接点式RMチャイム1	接点式RM チャイムSW						○						3	-	-	-
接点式RMチャイム2	未使用											○	-	-	-	-
緊急地震放送入力	緊急地震放送							○					1	-	グループ	1
電話ページング入力	電話ページング	○											-	無し	グループ	1
タイマー入力	タイマー		○										-	有り	グループ	1
外部マイク入力	外部マイク			○									-	無し	グループ	1

× 表の 部は記入不要です。

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定] ( P. 71 「制御出力の設定」)

接点番号	接点名称	用途												
		音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用	
制御出力1	音声警報出力中	○												
制御出力2	発報放送中		○											
制御出力3	火災放送中			○										
制御出力4	非火災放送中				○									
制御出力5	火災一斉移行					○								
制御出力6	非常マイク放送中						○							
制御出力7	地震放送中							○						
制御出力8	業務放送中								○					
制御出力9	業務緊急放送中									○				
制御出力10	保守点検中										○			
制御出力11	異常発生中											○		
制御出力12	未使用													○

● 非常放送設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定] ( P. 74 「音声警報の設定」)

手動・発信機起動	発報 / 火災
感知器発報放送	連動 / 連動停止
発報放送回数	2 回
発報放送繰返し設定	無し / 繰返し / 継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	日本語 / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定] ( P. 78 「非常タイマーの設定」)

火災放送移行タイマー	2 分 0 秒
一斉移行機能	有り / 無し
一斉移行タイマー	2 分 0 秒

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定] ( P. 80 「放送階の選択方法の設定」)

自火報選択連動	連動 / 一斉
手動階放送連動	階別 / 連動
二度押し復旧	禁止 / 許可

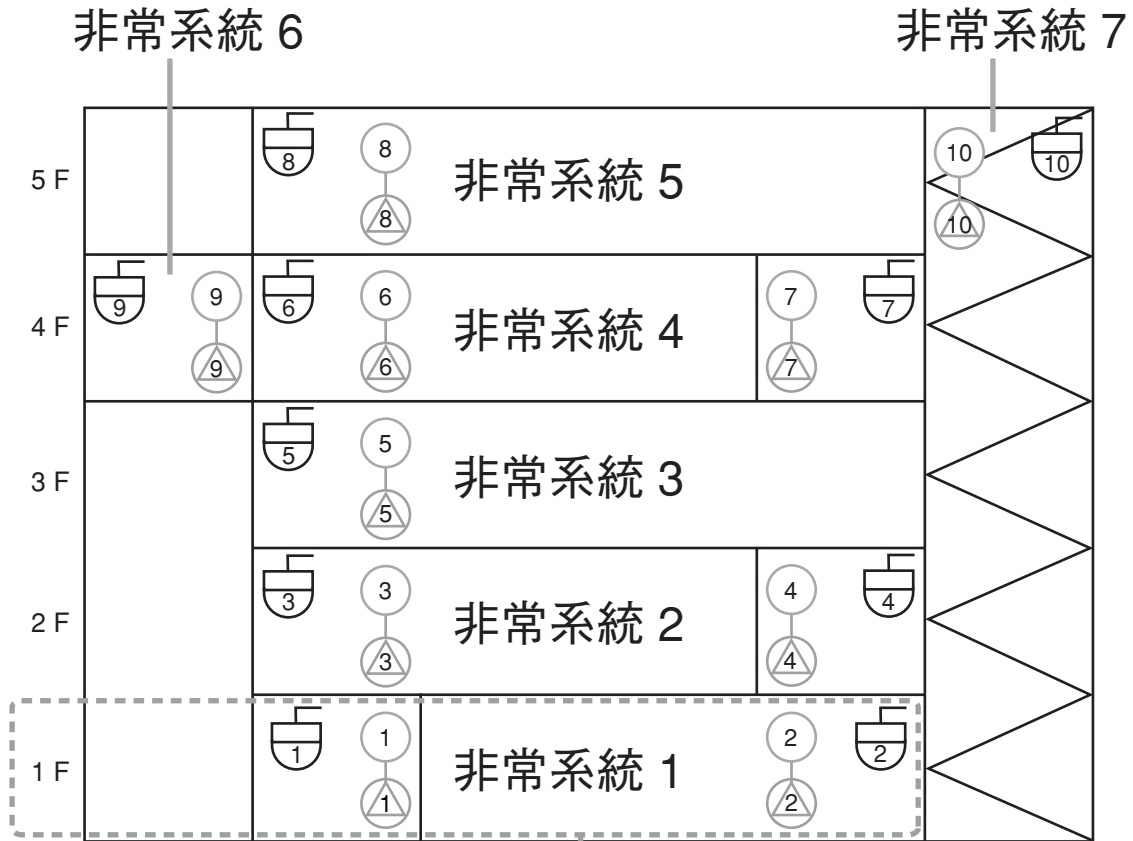
◎ 階メッセージ設定 (1-4-4)

[階メッセージ設定] ( P. 83 「階メッセージの設定」)

EL端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1	1	1F	6	1階
2	1	〃	6	〃
3	2	2F	7	2階
4	2	〃	7	〃
5	3	3F	8	3階
6	4	4F	9	4階
7	4	〃	9	〃
8	5	5F	10	5階
9	6	エレベータ	54	エレベータ
10	7	階段	46	階段

[非常系統の例]

上記の記入例では、EL端子に対して以下のように非常系統・階名称を設定しています。



例：EL端子1および2を、非常系統1・階名称「1階」として設定する。

○：放送階選択スイッチ    △：スピーカー回線    ◡：階別信号 (EL)

◎ 出火階連動系統設定 (1-4-5)

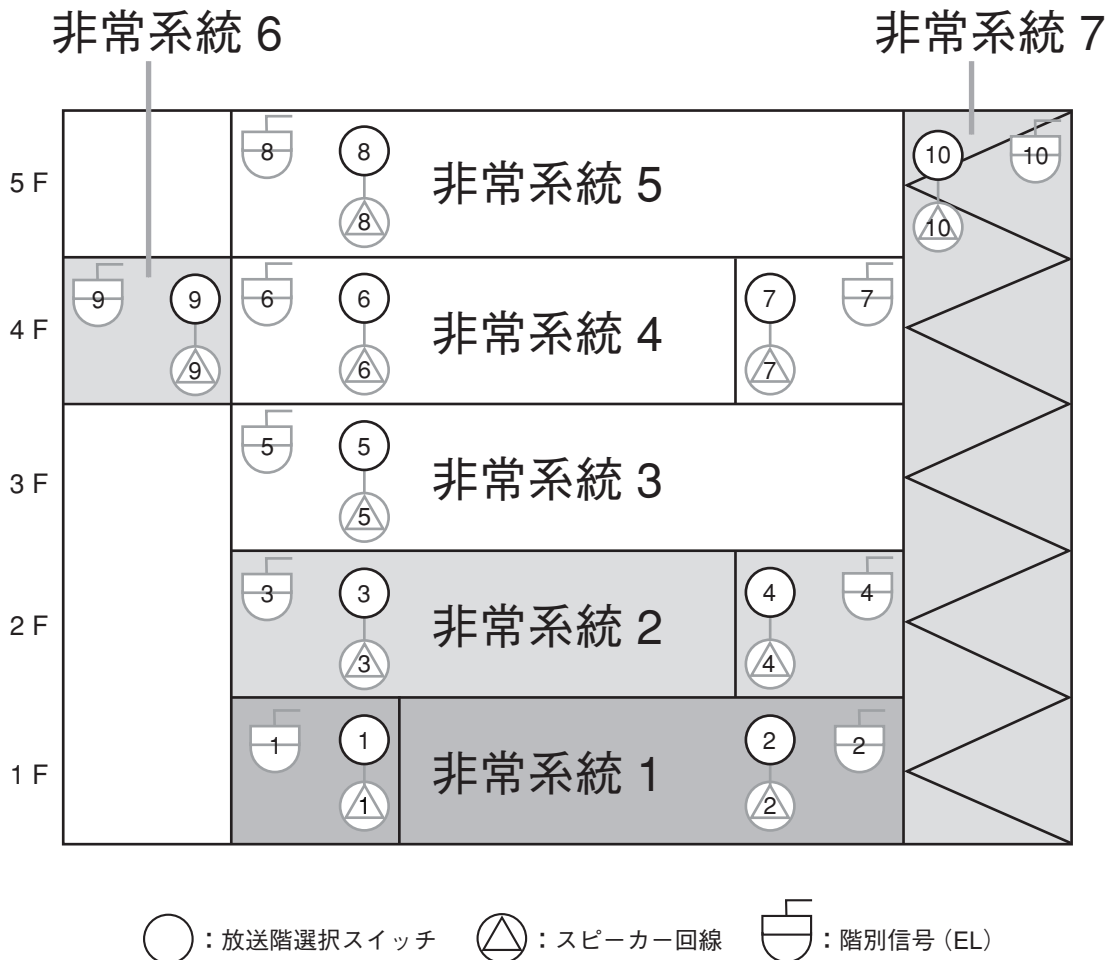
[出火階連動系統設定] ( P. 85 「出火階連動系統の設定」)

		連動系統						
		1	2	3	4	5	6	7
		1F	2F	3F	4F	5F	エレベータ	階段
出火系統	1	1F	◎	○			○	○
	2	2F		◎	○		○	○
	3	3F			◎	○	○	○
	4	4F				◎	○	○
	5	5F					◎	○
	6	エレベータ						◎
	7	階段						○

× 毛 「◎」 は出火系統、「○」 は連動系統を表します。

[非常系統の例]

上記の記入例では、非常系統 1 が出火した場合、非常系統 2、6、7 の放送階が連動して選択されます。



● 業務放送設定 (1-5)

◎ 業務放送動作設定 (1-5-1)

[業務放送動作設定] ( P. 86 「業務放送動作の設定」)

業務放送	BGM制御設定					チャイム連動設定												
	アナキーパ	ボイススイッチ	ミュート	カット	制御なし	起動チャイム					終了チャイム							
						1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用			
本体放送		○									○							○
非常RM1放送		○									○							○
非常RM2放送											○							○
非常RM3放送											○							○
非常RM4放送											○							○
非常RM5放送											○							○
非常RM6放送											○							○
非常RM7放送											○							○
非常RM8放送											○							○
非常RM9放送											○							○
非常RM10放送											○							○
非常RM11放送											○							○
非常RM12放送											○							○
非常RM13放送											○							○
非常RM14放送											○							○
非常RM15放送											○							○
非常RM16放送											○							○
業務RM1放送	○										○							○
業務RM2放送											○							○
業務RM3放送											○							○
業務RM4放送											○							○
接点式RM放送					○						○							○
タイマー放送					○						○							○
電話ページング放送					○						○							○
外部マイク放送					○						○							○

※ 使用しない放送については記入不要です。

メ モ 表の 部は設定不可能です。

◎ 優先度設定 (1-5-2)

[優先度設定] ( P. 92 「優先度設定」)

種類	優先度 (1 ~ 20)
本体放送	2
非常 RM1 放送	3
非常 RM2 放送	
非常 RM3 放送	
非常 RM4 放送	
非常 RM5 放送	
非常 RM6 放送	
非常 RM7 放送	
非常 RM8 放送	
非常 RM9 放送	
非常 RM10 放送	
非常 RM11 放送	
非常 RM12 放送	
非常 RM13 放送	
非常 RM14 放送	
非常 RM15 放送	
非常 RM16 放送	
業務 RM1 放送	7
業務 RM2 放送	
業務 RM3 放送	
業務 RM4 放送	
接点式 RM 放送	11
タイマー放送	1
電話ページング放送	12
外部マイク放送	13
緊急放送 1	1
緊急放送 2	1
緊急放送 3	1
緊急放送 4	1

◎ 同一優先度動作設定 (1-5-3)

[同一優先度動作設定] ( P. 93 「同一優先度動作設定」)

優先度	同一優先度動作
1	先取り / (後取り)
2	先取り / (後取り)
3	先取り / (後取り)
4	先取り / (後取り)
5	先取り / (後取り)
6	先取り / (後取り)
7	先取り / (後取り)
8	先取り / (後取り)
9	先取り / (後取り)
10	先取り / (後取り)
11	先取り / (後取り)
12	先取り / (後取り)
13	先取り / (後取り)
14	先取り / (後取り)
15	先取り / (後取り)
16	先取り / (後取り)
17	先取り / (後取り)
18	先取り / (後取り)
19	先取り / (後取り)
20	先取り / (後取り)

◎ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

[非常断 24V 出力設定] ( P. 94 「非常断 24 V 出力設定」)

非常断 24V 出力端子	業務放送時動作
# 1	(継続) カット / 緊急カット
# 2	(継続) カット / 緊急カット

※ 使用しない放送については記入不要です。



# 設定表

## ● 機器構成設定 (1-2)

### ◎ 本体設定 (1-2-1)

[本体設定]

増設操作パネル	局 / 無し
非常用リモコン	台 / 無し
業務用リモコン	有効 / 無効
業務停電放送	
電源パネル	台

### ◎ 非常 RM 設定 (1-2-2)

[非常 RM 設定]

No.	ID	増設操作パネル	電源パネル
1	00	局 / 無し	台 / 無し
2	01	局 / 無し	台 / 無し
3	02	局 / 無し	台 / 無し
4	03	局 / 無し	台 / 無し
5	04	局 / 無し	台 / 無し
6	05	局 / 無し	台 / 無し
7	06	局 / 無し	台 / 無し
8	07	局 / 無し	台 / 無し
9	08	局 / 無し	台 / 無し
10	09	局 / 無し	台 / 無し
11	10	局 / 無し	台 / 無し
12	11	局 / 無し	台 / 無し
13	12	局 / 無し	台 / 無し
14	13	局 / 無し	台 / 無し
15	14	局 / 無し	台 / 無し
16	15	局 / 無し	台 / 無し

### ◎ 業務 RM 設定 (1-2-3)

[業務 RM 設定]

No.	機種	ID	拡張ユニット
1		00	局 / 無し
2		01	局 / 無し
3		02	局 / 無し
4		03	局 / 無し

### ◎ アンプ設定 (1-2-5)

[アンプ設定]

出力系統	機種 (×台数)	ID
1		
2		
3		
4		

### ◎ 本体電源パネル設定 (1-2-4)

[本体電源設定]

No.	機種	ID
		00
		01
		02
		03
		04
		05
		06
		07
		08
		09
		10
		11
		12
		13
		14
		15

◎ ジャンクションパネル設定 (1-2-6)、出力系統設定 (1-2-7)

JP	機種	ID
1		00

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
2		01

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
3		02

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
4		03

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
5		04

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
6		05

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
7		06

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

JP	機種	ID
8		07

回線番号

出力系統 1				
出力系統 2				
出力系統 3				
出力系統 4				

● 機器制御設定 (1-3)

◎ 回線グループ設定 (1-3-1)

[回線グループ設定] ( P. 154)

◎ 本体 SW 設定 (1-3-2)

[放送階選択 SW 設定/通常・緊急一斉 SW 設定] ( P. 155)

[チャイムSW設定]

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1				
チャイムスイッチ2				

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-2000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 非常 RM SW 設定 (1-3-3)

非常用リモコンを使用するときは、本体 SW 設定で使用するシートを非常用リモコンの台数分作成します。

◎ 業務 RM SW 設定 (1-3-4)

[業務RM動作設定]

PTT/LOCK	PTT / LOCK
タイムアウト	分 / 連続
チャイム音量	dB
待ち時間	秒
AUX入力	使用する / 使用しない

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

[回線選択 SW 設定/一斉 SW 設定] ( P. 156)

[チャイムSW設定]

	音源番号			
	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング
チャイムスイッチ1				
チャイムスイッチ2				

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

◎ 緊急放送 SW 設定 (1-3-5)

[緊急放送SW設定]

	名称	用途			音源番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		緊急放送	地震放送停止	未使用				
緊急放送スイッチ1								
2								
3								
4								

※ 緊急放送 SW 設定は、FS-2000 本体と非常用リモコンで共通です。

モ 表の 部は記入不要です。

◎ 制御入力設定 (1-3-6)

[制御入力設定]

接点入力端子	接点名称	用途										番号	緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号	
		電話ページング放送	タイマー放送	外部マイク放送	接点式RM放送	BGM放送	ローカル放送	接点式RMチャイム	緊急地震放送	緊急放送	緊急放送停止 未使用					
制御入力1	ローカル入力															
制御入力2	未使用															
制御入力3	未使用															
制御入力4	未使用															
制御入力5	未使用															
制御入力6	未使用															
制御入力7	未使用															
制御入力8	未使用															
制御入力9	未使用															
制御入力10	未使用															
接点式RM1	接点式RM 選択SW1															
接点式RM2	接点式RM 選択SW2															
接点式RM3	接点式RM 選択SW3															
接点式RM4	接点式RM 選択SW4															
接点式RM5	接点式RM 選択SW5															
接点式RM6	接点式RM 選択SW6															
接点式RM7	接点式RM 選択SW7															
接点式RM8	接点式RM 選択SW8															
接点式RM9	接点式RM 選択SW9															
接点式RM10	接点式RM 選択SW10															
接点式RM一斉	接点式RM 一斉放送SW															
接点式RMチャイム1	接点式RM チャイムSW															
接点式RMチャイム2	未使用															
緊急地震放送入力	緊急地震放送															
電話ページング入力	電話ページング															
タイマー入力	タイマー															
外部マイク入力	外部マイク															

× モ 表の  部は記入不要です。

◎ 制御出力設定 (1-3-7)

[制御出力設定]

接点番号	接点名称	用途											
		音声警報出力中	発報放送中	火災放送中	非火災放送中	火災一斉移行	非常マイク放送中	緊急地震放送中	業務放送中	業務緊急放送中	保守点検中	異常発生中	未使用
制御出力1													
制御出力2													
制御出力3													
制御出力4													
制御出力5													
制御出力6													
制御出力7													
制御出力8													
制御出力9													
制御出力10													
制御出力11													
制御出力12													

● 非常放送設定 (1-4)

◎ 音声警報設定 (1-4-1)

[音声警報設定]

手動・発信機起動	発報 / 火災
感知器発報放送	連動 / 連動停止
発報放送回数	回
発報放送繰返し設定	無し / 繰返し / 継続
発報放送間隔	分 秒
警報言語	日本語 / 二ヶ国語 / 三ヶ国語 / 四ヶ国語

◎ 非常タイマー設定 (1-4-2)

[非常タイマー設定]

火災放送移行タイマー	分 秒
一斉移行機能	有り / 無し
一斉移行タイマー	分 秒

◎ 放送階選択方法設定 (1-4-3)

[放送階選択方法設定]

自火報選択連動	連動 / 一斉
手動階放送連動	階別 / 連動
二度押し復旧	禁止 / 許可

◎ 階メッセージ設定 (1-4-4) ( P. 157)

◎ 出火階連動系統設定 (1-4-5) ( P. 158)

## ● 業務放送設定 (1-5)

### ○ 業務放送動作設定 (1-5-1)

[業務放送動作設定]

業務放送	BGM制御設定					チャイム連動設定													
	アナ キーパ	ボイス スイッチ	ミュート	カット	制御 なし	起動チャイム					終了チャイム								
						1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用	1:上り4音	2:下り4音	3:2音	4:ゴング	未使用				
本体放送																			
非常RM1放送																			
非常RM2放送																			
非常RM3放送																			
非常RM4放送																			
非常RM5放送																			
非常RM6放送																			
非常RM7放送																			
非常RM8放送																			
非常RM9放送																			
非常RM10放送																			
非常RM10放送																			
非常RM12放送																			
非常RM13放送																			
非常RM14放送																			
非常RM15放送																			
非常RM16放送																			
業務RM1放送																			
業務RM2放送																			
業務RM3放送																			
業務RM4放送																			
接点式RM放送																			
タイマー放送																			
電話ページング放送																			
外部マイク放送																			

※ 使用しない放送については記入不要です。

メ モ 表の ■ 部は記入不要です。

### ○ ボイススイッチ設定 (1-5-1-1)

[ボイススイッチ設定]

種類	感度	BGM 減衰量	ホールド時間	BGM 復帰時間	減衰開始時間	減衰時間	復帰開始感度
本体放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM1 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM2 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM3 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM4 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM5 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM6 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM7 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM8 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM9 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM10 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM11 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM12 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM13 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM14 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM15 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
非常 RM16 放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB
外部マイク放送	dB	dB	秒	秒	秒	秒	dB

◎ 優先度設定 (1-5-2)

[優先度設定]

種類	優先度 (1 ~ 20)
本体放送	
非常 RM1 放送	
非常 RM2 放送	
非常 RM3 放送	
非常 RM4 放送	
非常 RM5 放送	
非常 RM6 放送	
非常 RM7 放送	
非常 RM8 放送	
非常 RM9 放送	
非常 RM10 放送	
非常 RM11 放送	
非常 RM12 放送	
非常 RM13 放送	
非常 RM14 放送	
非常 RM15 放送	
非常 RM16 放送	
業務 RM1 放送	
業務 RM2 放送	
業務 RM3 放送	
業務 RM4 放送	
接点式 RM 放送	
タイマー放送	
電話ページング放送	
外部マイク放送	
緊急放送 1	
緊急放送 2	
緊急放送 3	
緊急放送 4	

※ 使用しない放送については記入不要です。

◎ 同一優先度動作設定 (1-5-3)

[同一優先度動作設定]

優先度	同一優先度動作
1	先取り / 後取り
2	先取り / 後取り
3	先取り / 後取り
4	先取り / 後取り
5	先取り / 後取り
6	先取り / 後取り
7	先取り / 後取り
8	先取り / 後取り
9	先取り / 後取り
10	先取り / 後取り
11	先取り / 後取り
12	先取り / 後取り
13	先取り / 後取り
14	先取り / 後取り
15	先取り / 後取り
16	先取り / 後取り
17	先取り / 後取り
18	先取り / 後取り
19	先取り / 後取り
20	先取り / 後取り

◎ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

[非常断 24V 出力設定]

非常断 24V 出力端子	業務放送時動作
# 1	継続 / カット / 緊急カット
# 2	継続 / カット / 緊急カット

◎ 音量設定 (1-5-5)

[音量設定]

種別	音源番号	音量
緊急放送	1	dB
	2	dB
	3	dB
	4	dB
	5	dB
	6	dB
	7	dB
	8	dB
	9	dB
	10	dB
チャイム	1	dB
	2	dB
	3	dB
	4	dB
点検音源	1	dB
	2	dB

[回線グループ設定]

グループ 番号	名称	回線 1	回線 2	回線 3	回線 4	回線 5	回線 6	回線 7	回線 8	回線 9	回線 10	回線 11	回線 12	回線 13	回線 14	回線 15	回線 16	回線 17	回線 18	回線 19	回線 20	回線 21	回線 22	回線 23	回線 24	回線 25	回線 26	回線 27	回線 28	回線 29	回線 30
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															
23																															
24																															
25																															
26																															
27																															
28																															
29																															
30																															



[放送階選択 SW 設定／通常・緊急一斉 SW 設定]

	名称	用途					緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号	非常系統 番号
		非常	業務	兼用	BGM	未使用				
	通常一斉放送スイッチ			-			-	グループ		
	緊急一斉放送スイッチ			-			○	グループ		
	放送階選択スイッチ 1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									

※ 非常用リモコンを使用するときは、FS-2000 本体と各非常用リモコンについて、本シートを作成します。

メモ 表の  部は記入不要です。

[回線選択 SW 設定／一斉 SW 設定]

	名称	用途		緊急	個別 /グループ	回線 /グループ番号
		業務	未使用			
一斉放送スイッチ					グループ	
回線選択スイッチ 1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

※ 業務用リモコンを複数台使用するときは、各リモコンについて、本シートを作成します。

メモ 表の  部は記入不要です。

[階メッセージ設定]

EL端子	非常系統		階情報	
	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階名称
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

[出火階連動系統設定]

		連動系統																														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
出火系統	1	○																														
	2		○																													
	3			○																												
	4				○																											
	5					○																										
	6						○																									
	7							○																								
	8								○																							
	9									○																						
	10										○																					
	11											○																				
	12												○																			
	13													○																		
	14														○																	
	15															○																
	16																○															
	17																	○														
	18																		○													
	19																			○												
	20																				○											
	21																					○										
	22																						○									
	23																							○								
	24																								○							
	25																									○						
	26																										○					
	27																											○				
	28																												○			
	29																													○		
	30																														○	

× モ「○」は出火系統を表します。

# 付録：設定についての補足

パワーアンプパネルの設定（1-2-5）およびジャンクションパネルの設定（1-2-6）について、システムで自動的に入力または削除される部分があります。

出力系統設定（1-2-7）については、設定の決まりがあります。

以下にその条件を記載しますので、参考にしてください。

## ■ パワーアンプパネルの設定（1-2-5）

### ● 入力するとき

ID は決定後自動的に表示されます。

[画面例]

出力系統	機種(x台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	----	--
3	----	--
4	----	--

### ● 機種を追加するとき

FS-2110JP/2120JP のみ設定する場合、出力系統数と FS-2120JP および FS-2110JP の合計台数が一致するようジャンクションパネル設定の一番下に自動的に FS-2120JP が入力されます。

[例：出力系統3に機種を追加する]

① アンプ設定画面で機種を追加する。

出力系統	機種(x台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	FS-2136DAx3	10
3	FS-2118DA	--
4	----	--

追加する。

② ジャンクションパネル設定画面に、該当する機種が自動的に入力される。

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	----	--

自動的に入力される。

## ● 機種を削除するとき

FS-2110JP の台数が出力系統数を上回った場合、FS-2110JP の台数と出力系統数が同数になるまでジャンクションパネル設定の一番下から機種が削除されます。

この場合、削除されたジャンクションパネルに該当する出力系統設定のページが削除されます。

[例：出力系統3の機種を削除する]

① アンプ設定画面で機種を削除する。

1-2-5 アンプ設定		
出力系統	機種(x台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	FS-2136DAx3	10
3	FS-2118DA	20
4	----	--



削除する。

1-2-5 アンプ設定		
出力系統	機種(x台数)	ID
1	FS-2136DA	00
2	FS-2136DAx3	10
3	----	--
4	----	--

② ジャンクションパネルの該当する機種が自動的に削除される。

FS-2110JP を3台設定していたときの画面例

1-2-6 ジャンクションパネル設定		
No.	機種	ID
1	FS-2110JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	FS-2110JP	03



自動的に削除される。

1-2-6 ジャンクションパネル設定		
No.	機種	ID
1	FS-2110JP	00
2	FS-2110JP	01
3	----	--
4	----	--

左の例のように削除し、出力系統数が2になると、FS-2110JP が2台になるよう、1番下からジャンクションパネルの機種が削除される。

## ■ ジャンクションパネルの設定 (1-2-6)

### ● 入力するとき

● ジャンクションパネルに入力可能な系統数の合計は、パワーアンプ出力系統数の合計以上になるように構成します。

※ 詳細は別冊の設置説明書「付録 パワーアンプパネル、ジャンクションパネルの接続・設定について」をお読みください。

● ID は No. 1 から「00」、「01」、「02」…と自動的に設定されます。

[例]

1-2-6 ジャンクションパネル設定		
No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	----	--

## ● 機種を追加するとき

ジャンクションパネル設定画面で機種を追加すると、出力系統設定画面に「JP」が追加されます。

[例:ジャンクションパネル No. 3 に機種を追加する]

- ① ジャンクションパネル設定画面で機種を追加する。
- ② 出力系統設定画面に、「JP3」の設定画面が追加される。

**1-2-6 ジャンクションパネル設定**

No.	機種	ID
1	FS-2120JP	00
2	FS-2110JP	01
3	FS-2120JP	02
4	----	--

追加する。

**1-2-7 出力系統設定**

◀JP3▶ 回線番号

	41   60
出力系統1	●
出力系統2	
出力系統3	
----	

## ● 機種を変更するとき

ジャンクションパネル設定画面で機種を変更すると、機種に応じて出力系統設定画面の設定内容が変更されます。

FS-2120JP → FS-2110JP、または FS-2110JP → FS-2120JP へ変更する場合

同出力系統に引き継ぎます。

[例]    • FS-2120JP                      • FS-2110JP

	1   20
出力系統 1	
出力系統 2	●
出力系統 3	
----	

↔

	1   10
出力系統 1	
出力系統 2	●
出力系統 3	
----	

FS-2120JP → FS-2420JP、または FS-2110JP → FS-2420JP へ変更する場合

全回線とも同出力系統に引き継ぎます。

[例]

	1   20
出力系統 1	
出力系統 2	●
出力系統 3	
----	

→

	1   10
出力系統 1	
出力系統 2	●
出力系統 3	
----	

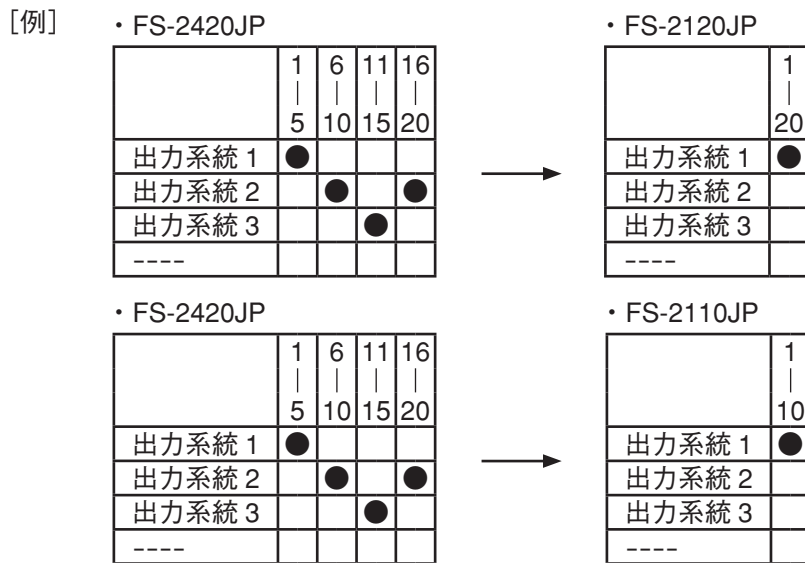
→

	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統 1				
出力系統 2	●	●	●	●
出力系統 3				
----				

	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統 1				
出力系統 2	●	●	●	●
出力系統 3				
----				

FS-2420JP → FS-2120JP、または FS-2420JP → FS-2110JP へ変更する場合

一番左側の回線の「●」を引き継ぎます。



● 機種を削除するとき

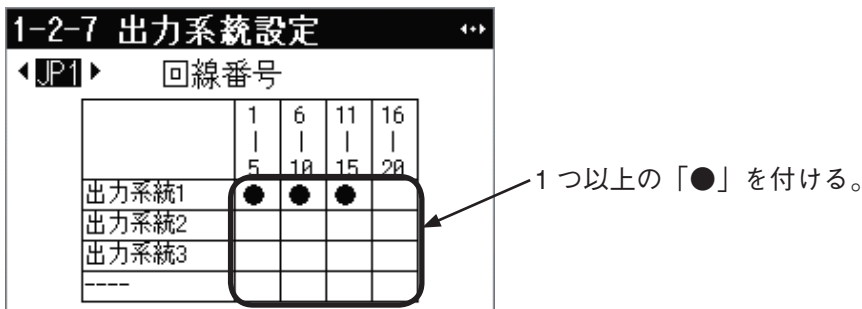
該当する出力系統設定のページが削除されます。

## ■ 出力系統の設定 (1-2-7)

● 入力するとき

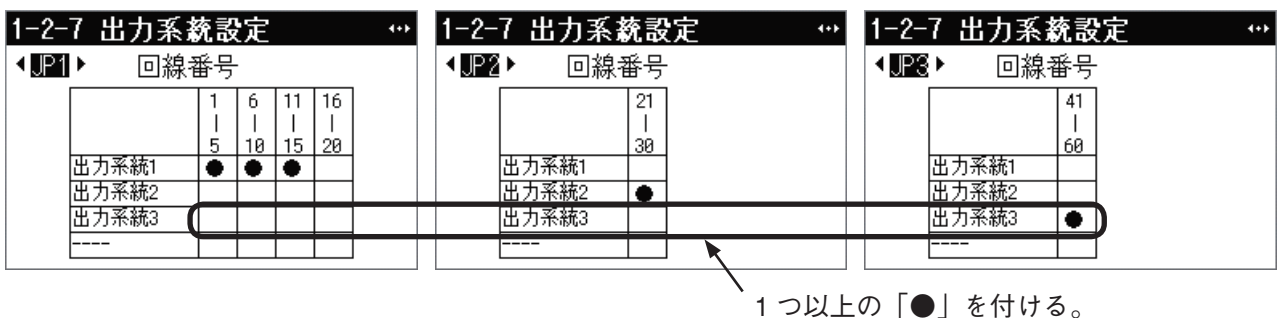
- 「JP」 1つの画面ごとに必ず1つ以上の「●」を付けてください。

[例]



- 各出力系統に必ず1つ以上の「●」を付けてください。

[例]





- FS-2110JP は出力系統の最後尾にしか接続できません。

[例]

JP1 : FS-2420JP

1-2-7 出力系統設定				
◀JP1▶ 回線番号				
	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統1	●	●	●	
出力系統2				
出力系統3				
----				

JP2 : FS-2110JP

1-2-7 出力系統設定	
◀JP2▶ 回線番号	
	21   30
出力系統1	
出力系統2	●
出力系統3	
----	

FS-2110JP が接続されているので、出力系統2がここが最後尾。

JP3 : FS-2120JP

1-2-7 出力系統設定	
◀JP3▶ 回線番号	
	41   60
出力系統1	
出力系統2	○
出力系統3	●
----	

FS-2110JP より後ろには接続できないので、ここに「●」を付けることはできない。

- 各回線には1つの出力系統しか接続できません。

[例]

1-2-7 出力系統設定				
◀JP1▶ 回線番号				
	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統1	●	●	●	
出力系統2				
出力系統3				
----				

2つ以上の「●」を付けることはできない。

- ある回線上に「●」が付いている場合、その回線上の別の出力系統のセルを選択して確定キーを押すと、自動的に「●」が移動します。

[例]

1-2-7 出力系統設定				
◀JP1▶ 回線番号				
	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統1	●	●	●	●
出力系統2				
出力系統3				
----				

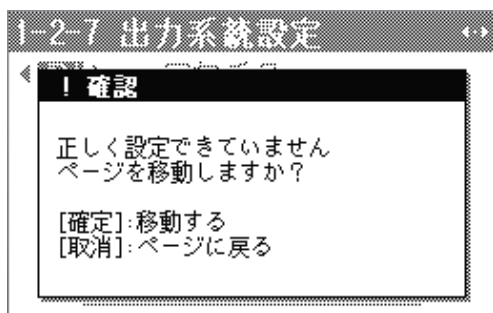
ここを選択して確定キーを押す。

1-2-7 出力系統設定				
◀JP1▶ 回線番号				
	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統1	●	●	●	
出力系統2				●
出力系統3				
----				

出力系統2に「●」が付き、出力系統1の「●」は自動的に消える。

# 付録：エラーダイアログ表示時の対処

以下のエラーダイアログが表示されたときは、設定が漏れている可能性があります。



以下の点をご確認ください。

① 出力系統設定で「●」が付いていない「JP」はありませんか？

[例]

1-2-7 出力系統設定

◀JP1▶ 回線番号

	1	6	11	16
	5	10	15	20
出力系統1				
出力系統2				
出力系統3				
----				

この中でどこかの枠に「●」を付けてください。

1-2-7 出力系統設定

◀JP2▶ 回線番号

	21
	30
出力系統1	
出力系統2	
出力系統3	
----	

この中でどこかの枠に「●」を付けてください。

1-2-7 出力系統設定

◀JP3▶ 回線番号

	41
	60
出力系統1	
出力系統2	
出力系統3	
----	

この中でどこかの枠に「●」を付けてください。

② 出力系統設定で「●」が付いていない「出力系統」はありませんか？

[例]

1-2-7 出力系統設定

◀JP1▶ 回線番号

	1	6	11	16
	5	10	15	20
出力系統1	●			
出力系統2		●		
出力系統3				
----				

1-2-7 出力系統設定

◀JP2▶ 回線番号

	21
	30
出力系統1	
出力系統2	●
出力系統3	
----	

この中でどこかの枠に「●」を付けてください。

③ 出力系統設定で最後尾以外に接続されている FS-2110JP はありますか？

[例]

1-2-7 出力系統設定				
◀JP1▶	回線番号			
	1   5	6   10	11   15	16   20
出力系統1	●	●	●	
出力系統2				
出力系統3				
---				

1-2-7 出力系統設定	
◀JP2▶	回線番号
	21   30
出力系統1	
出力系統2	●
出力系統3	
---	

1-2-7 出力系統設定	
◀JP3▶	回線番号
	41   60
出力系統1	
出力系統2	●
出力系統3	
---	

「JP3」の出力系統2に「●」が付いているため、「JP2」に FS-2110JP を使用することはできません。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b>	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	カタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

**TOA 株式会社**

133-02-00038-06